

第5次枚方市総合計画 第1期実行計画 及び
枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略
総括評価報告書

令和元年 12 月

枚方市

目 次

1. はじめに	1
1 総合計画の概要.....	1
2 実行計画の概要.....	1
3 実行計画の進行管理.....	1
(1) 施策評価制度の概要.....	1
(2) 評価方法.....	1
2. 第1期実行計画の総括評価	5
1 実施事業の実績.....	5
2 客観的指標に係る効果検証.....	5
3 主観的指標に係る効果検証.....	6
(1) 枚方市の印象（まちへの愛着・永住意識）.....	6
(2) 施策の重要度・満足度に係る評価.....	6
3. 第1期枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価	10
1 政策指標の推移.....	10
2 3つの基本目標に関する指標の推移.....	10
3 各施策目標に対する重要業績評価指標（K P I）の推移.....	12
【参考】	
実行計画事業と総合戦略事業の関係表.....	13
総括評価シート.....	21

1. はじめに

1. 総合計画の概要

本市では、平成 28 年度にめざすまちの姿を「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方」として、平成 28 年度に第 5 次総合計画を策定し、計画期間を無期限とする基本構想と、計画期間を 12 年間（平成 28 年度～令和 9 年度）とする基本計画の 2 段階で構成しています。

2. 実行計画の概要

第 5 次総合計画基本計画（以下、「基本計画」という。）を推進するために、基本計画の具体的な実現計画として、実行計画を作成しています。実行計画は、4 年間で取り組む事業を定めたもので、現在約 200 事業で構成されています。

3. 実行計画の進行管理

（1）施策評価制度の概要

本市では、基本計画の施策推進にあたり、市民参加による市政運営を目指して、平成 22 年度から評価・検証機能を強化した都市経営サイクル（行政運営における P D C A サイクルのシステム化）を運用しています。

施策評価は、市民による評価を政策につなげていくことを目的に実施するもので、評価のプロセスを公表し、市民への説明責任を果たすとともに、学識経験者や市民などの枚方市施策評価員（以下、「評価員」という。）による評価も取り入れながら、市政運営の透明性と市民の市政への関心を高めることを目指すものです。

（2）評価方法

①毎年度の検証・評価

第 1 期実行計画に掲載されている事業ごとに、施策指標（客観的指標）の推移に係る分析や、実施事業の実績に基づく課題抽出や今後の対応、さらに事業の達成状況を記載した「実行計画管理シート」を活用することで、毎年度、検証・評価を行うとともに、評価結果を評価員や市民に公表し、いただいた意見を踏まえながら、次年度の事業の改善や見直しにつなげています。

②4 年ごとの検証・評価

実行計画管理シートで毎年度確認した事業実績、施策指標の推移、評価員による主な評価結果等について、総括評価シートを活用し施策目標ごとに取りまとめ、実行計画 4 年間の総括を行います。

総括評価においては、施策目標の取組みの成果として、市民がどのように感じているか把握する主観的指標（満足度及び重要度）を活用するとともに、評価員の意見・提案もいただきながら、基本計画の検証・評価につなげていきます。

■「施策指標」による進捗管理

28 の施策目標及び 4 つの計画推進ごとに、市民の評価により進捗を測る「主観的指標」と客観的な数値により進捗を測る「客観的指標」を組み合わせ、「施策指標」を設定しています。この施策指標の推移を把握することで、計画の進捗管理を行います。

施策指標	主観的指標	<p>●目標に向けた取り組みの成果を、市民がどのように感じているか把握する指標（4年ごとに市民意識調査により把握する）</p> <p>※指標例：「防災体制が整っていると感じている市民の割合」、「防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合」など</p> <p>（市民の割合とは、市民意識調査の6つの回答区分【感じている、やや感じている、どちらともいえない、あまり感じていない、感じていない、わからない】のうち、「感じている」、「やや感じている」の回答率）</p>
	客観的指標	<p>●目標に向けた取り組みの成果を、客観的数値により定量的に把握する指標（原則、毎年度、実績数値を把握する）</p> <p>※指標例：「重要物資備蓄目標達成率」、「自主防災組織が年1回以上の訓練を実施した割合」など</p>

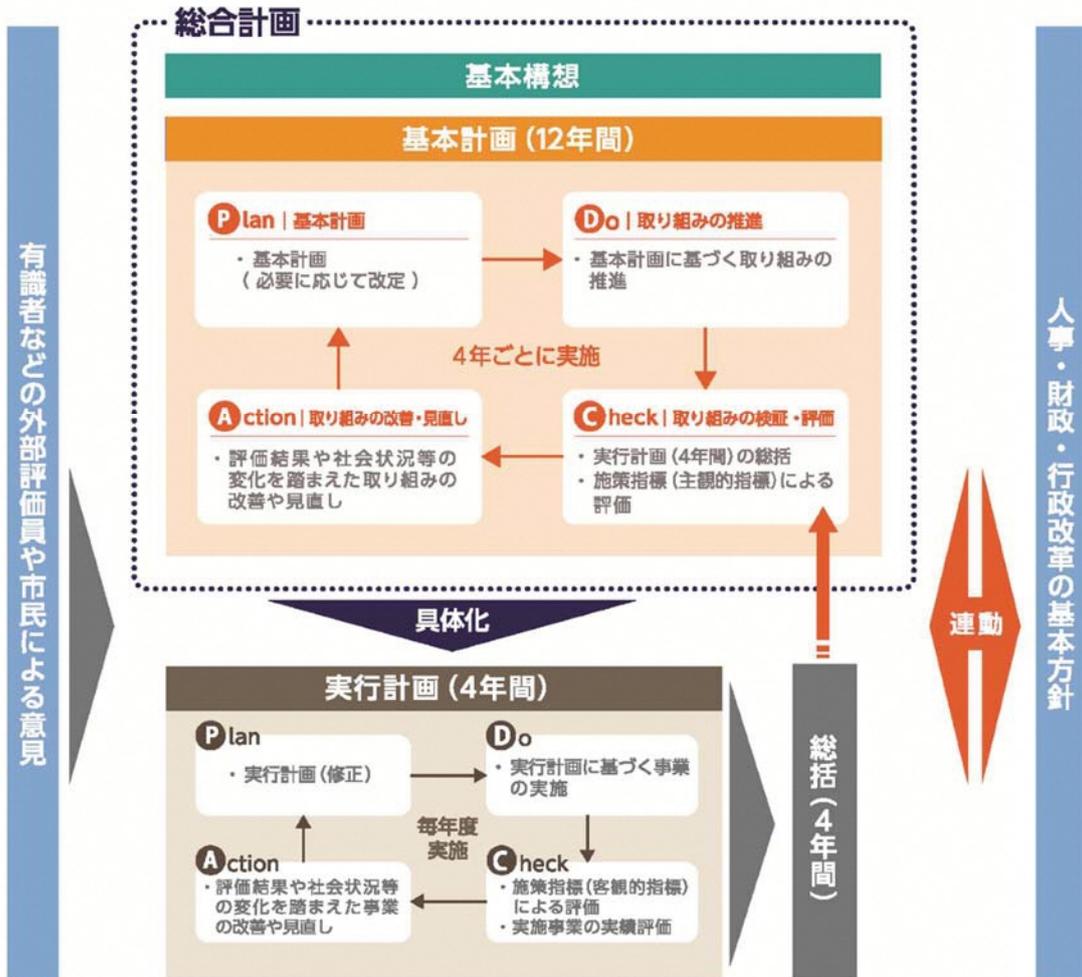
※施策指標については、社会状況の変化などを踏まえ、必要に応じてより適切な指標への改善を図ります。

■「実施事業の実績」による進捗管理

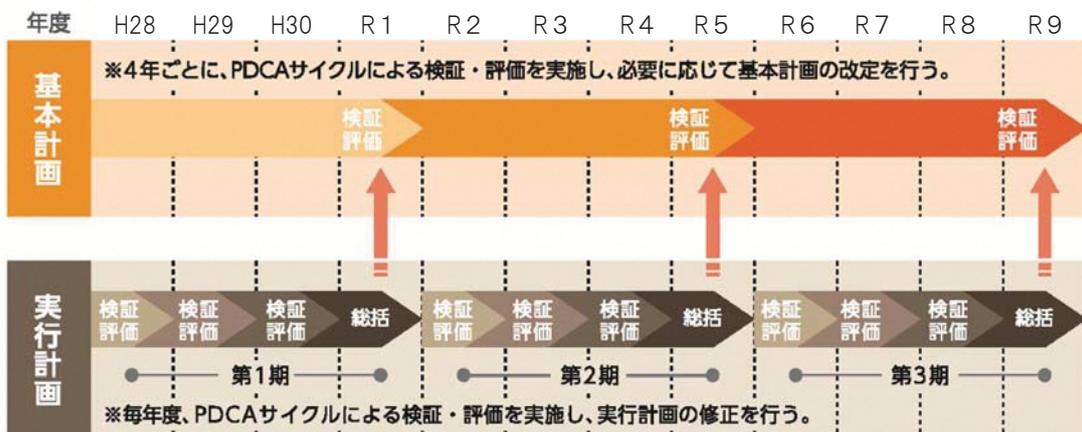
毎年度、前年度に実施した各事業について、実施に係るコストや人員とともに、目標達成に向けた実績度（有効度）を把握することで、実行計画の進捗管理を行います。

なお、基本計画及び実行計画の検証・評価についても、評価員や市民により、計画が適切な内部評価をもとに効率的・効果的に推進しているかなどについて意見をいただきながら行います。さらに、次頁のような評価サイクルを人事・財政・行政改革の基本方針と連動させることで、計画の実行性を高めていきます。

■ 総合計画の進め方のイメージ



■ 基本計画と実行計画の検証・評価、推進の流れ



【第5次枚方市総合計画基本計画 4つの重点的に進める施策】

重点的に進める施策	主な関連施策目標等
1. 市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる	計画推進 1・2
2. 安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる	施策目標 14・15・16
3. 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる	施策目標 6・7・8・9
4. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる	施策目標 4・5・18・20・21

【第5次枚方市総合計画基本計画 部門別の取り組みの施策体系】

基本構想	基本計画	
5つの基本目標	NO.	施策目標
安全で、利便性の高いまち	1	災害に対する備えができているまち
	2	災害時に、迅速・確に対応できるまち
	3	暮らしに身近な安全が確保されたまち
	4	安全で快適な交通環境が整うまち
	5	快適で暮らしやすい環境を備えたまち
健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	6	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち
	7	公衆衛生や健康危機管理が充実したまち
	8	安心して適切な医療が受けられるまち
	9	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち
	10	障害者が自立し、社会参加ができるまち
	11	すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち
	12	男女がともに参画し、個性を発揮できるまち
	13	平和の大切さを後世に伝えるまち
一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	14	安心して妊娠・出産できる環境が整うまち
	15	子どもたちが健やかに育つことができるまち
	16	子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち
	17	誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち
地域資源を生かし、人々が集い活力みなぎるまち	18	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
	19	地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち
	20	いきいきと働くことのできるまち
	21	地域産業が活発に展開されるまち
	22	農を守り、生かすまち
自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	23	豊かな自然環境を大切にするまち
	24	まちなかのみどりを育てるまち
	25	ごみを減らし、資源の循環が進むまち
	26	安全で良好な生活環境が確保されたまち
	27	地球温暖化対策に取り組むまち
	28	美しく魅力あるまち並みが育まれるまち
計画の推進に向けた基盤づくり	NO.	計画推進
市民等がまちづくりに参画しやすい環境づくりの推進	1	市民との情報の共有化を進めます
	2	市民による活発なまちづくり活動を支援します
効率的・効果的な市政運営	3	持続可能な行財政運営を進めます
広域的な連携と地方分権の推進	4	自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります

2. 第1期実行計画の総括評価

1. 実施事業の実績

別添の総括評価シートにおいて、施策目標ごとに取り組んだ事業の主な実績を記載しています。

2. 客観的指標に係る効果検証

各施策目標に対する客観的指標の推移については、指標全体のうち74.8%が、策定時の値を上回っており、指標全体のうち42.2%が、目標値を達成しています。一方で、23.8%の指標については策定時の値を下回っています。

【施策指標（客観的指標）の達成状況一覧】

	①目標値を達成したものの	②目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの	③策定時の値を下回っているもの	施策目標ごとの施策指標数(分類困難なものを含む)
01 災害に対する備えができているまち	3	2	0	5
02 災害時に、迅速・的確に対応できるまち	0	4	0	4
03 暮らしに身近な安全が確保されたまち	1	1	1	3
04 安全で快適な交通環境が整うまち	2	3	1	7
05 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	2	2	0	4
06 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	1	5	3	9
07 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	1	2	0	3
08 安心して適切な医療が受けられるまち	2	0	3	5
09 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	4	1	0	5
10 障害者が自立し、社会参加ができるまち	1	0	1	2
11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	0	3	2	5
12 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	1	2	0	3
13 平和の大切さを後世に伝えるまち	0	1	0	1
14 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	1	0	0	1
15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	2	7	2	11
16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	6	10	2	18
17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	2	1	2	5
18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	1	1	0	2
19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	1	2	1	4
20 いきいきと働くことのできるまち	0	0	2	2
21 地域産業が活発に展開されるまち	2	1	3	6
22 農を守り、生かすまち	1	0	4	5
23 豊かな自然環境を大切にすまち	1	2	1	4
24 まちなかのみどりを育てるまち	1	1	2	4
25 ごみを減らし、資源の循環が進むまち	1	0	1	3
26 安全で良好な生活環境が確保されたまち	3	4	0	7
27 地球温暖化対策に取り組むまち	0	1	1	2
28 美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	1	2	0	3
29 市民との情報の共有化を進めます	2	2	0	4
30 市民による活発なまちづくり活動を支援します	1	1	1	3
31 持続可能な行財政運営を進めます	2	1	2	5
32 自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります	2	0	0	2
合計	48	62	35	147

3. 主観的指標に係る効果検証

本市の市民意識調査では、枚方市の印象等に関するアンケートとともに、各施策に対する市民の重要度・満足度に関するアンケートを実施しました。

(1) 枚方市の印象（まちへの愛着・永住意識）

	H27	H31	H31-H27
本市への定住意向を示す市民の割合	87.1	89.2	2.1
本市を住みよいと感じる市民の割合	78.5	80.1	1.6

本市への定住意向を示す市民の割合、本市を住みよいと感じる市民の割合のいずれも平成27年度の値を上回っており、引き続き取組みの推進を図ります。

(2) 施策の重要度・満足度に係る評価

施策目標（満足度の目標については、重点施策（網掛け）は5%アップ、それ以外は3%アップ）

評価：①目標値を達成したもの ②目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの ③策定時の値を下回っているもの

	施策目標	施策指標	満足度				重要度		
			H27	H31	H31-H27	評価	H27	H31	H31-H27
1	災害に対する備えができていますまち	防災体制が整っていると感じている市民の割合	37.2	36.6	-0.6	③	66.7	67.1	0.4
2	災害時に、迅速・的確に対応できるまち						69.7	70.1	0.4
3	暮らしに身近な安全が確保されたまち	防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合	30.7	35.4	4.7	①	67.5	67.2	-0.3
4	安全で快適な交通環境が整うまち	安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	27.6	30.2	2.6	②	67.4	66.3	-1.1
5	快適で暮らしやすい環境を備えたまち	公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	37.8	41.9	4.1	②	63.4	62.7	-0.7
6	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	52.4	56.1	3.7	②	66.3	64.9	-1.4
7	公衆衛生や健康危機管理が充実したまち						59.0	61.0	2.0
8	安心して適切な医療が受けられるまち	安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	62.5	49.6	-12.9	③	74.3	74.9	0.6
9	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	27.5	30.0	2.5	②	65.1	63.3	-1.8
10	障害者が自立し、社会参加ができるまち	障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	23.9	23.9	0	②	59.6	57.4	-2.2
11	すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	一人ひとりが人権を尊重し合っていると感じている市民の割合	19.3	20.2	0.9	②	51.3	50.4	-0.9
12	男女がともに参画し、個性を發揮できるまち	男女共同参画社会が実現していると感じている市民の割合	14.2	16.9	2.7	②	41.9	43.5	1.6
13	平和の大切さを後世に伝えるまち	平和の大切さが継承されていると感じている市民の割合	34.3	42.9	8.6	①	53.3	55.6	2.3
14	安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	37.3	38.5	1.2	②	65.4	66.1	0.7
15	子どもたちが健やかに育つことができるまち	安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	37.9	44.5	6.6	①	72.9	73.1	0.2
16	子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	35.3	39.4	4.1	②	69.7	70.8	1.1
		子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じている市民の割合	43.8	46.8	3.0	②			

	施策目標	施策指標	満足度				重要度		
			H27	H31	H31-H27	評価	H27	H31	H31-H27
17	誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合	28.5	29.6	1.1	②	54.5	56.5	2.0
		文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合	17.3	26.6	9.3	①			
		気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合	28.7	31.6	2.9	②			
18	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	22.0	42.6	20.6	①	55.0	54.4	-0.6
19	地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	20.8	21.2	0.4	②	45.8	44.6	-1.2
20	いきいきと働くことのできるまち	市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	18.3	20.7	2.4	②	62.4	59.1	-3.3
21	地域産業が活発に展開されるまち					②	57.4	55.2	-2.2
22	農を守り、生かすまち	農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じている市民の割合	21.6	23.6	2.0	②	51.4	51.8	0.4
23	豊かな自然環境を大切にすまち	里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合	40.2	32.8	-7.4	③	60.9	62.2	1.3
24	まちなかのみどりを育てるまち	普段の生活の中でみどりとふれあえると感じている市民の割合	48.4	48.3	-0.1	③	63.6	65.8	2.2
25	ごみを減らし、資源の循環が進むまち	ごみ減量や資源循環が進んでいると感じている市民の割合	45.5	46.8	1.3	②	67.9	70.9	3.0
26	安全で良好な生活環境が確保されたまち	安全で良好な生活環境が確保されていると感じている市民の割合	42.5	36.8	-5.7	③	72.5	73.4	0.9
27	地球温暖化対策に取り組むまち	地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じている市民の割合	16.2	26.0	9.8	①	53.3	56.8	3.5
28	美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	まちの美化が進んでいると感じている市民の割合	38.9	39.6	0.7	②	62.2	62.4	0.2

計画推進

1	市民との情報の共有化を進めます	行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合	32.9	29.8	-3.1	③	49.5	48.5	-1.0
		行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合	9.8	13.8	4.0	②			
2	市民による活発なまちづくり活動を支援します	市民によるまちづくり活動が活発であると感じている市民の割合	19.4	21.1	1.7	②	43.9	45.2	1.3
3	持続可能な行財政運営を進めます	—	—	—	—	60.5	61.3	0.8	
4	自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります	—	—	—	—	51.0	50.3	-0.7	

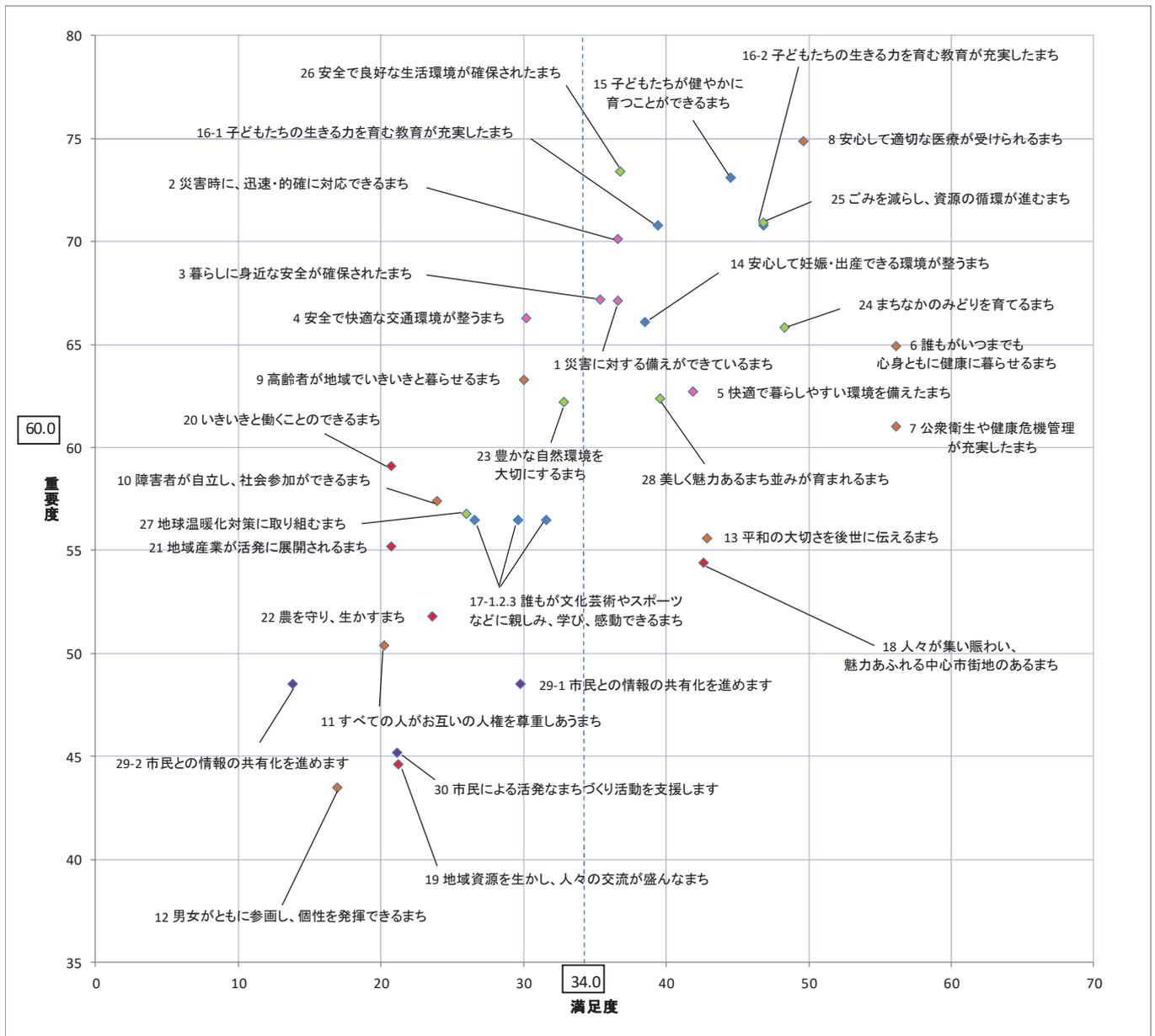
重要度については、さらなる魅力向上を図り、より一層市民が住みたい、市外の人に住みたいと思えるまちに発展し続けるために設定した重点的に進める施策（以下、「重点施策」という。）においては概ね平均値を上回る数値を示しており、市民が重要と考える施策と本市の重点施策が一致しています。また、満足度についても、重点施策の数値が前回と比較して上昇していることから、めざすまちの姿の実現に向けておおむね順調に進んでいると考えられます。

（１）、（２）の結果より、今後も引き続きめざすまちの姿「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方」の実現に向け、これまでの方向性を維持しつつ、より効果的な取り組みは当然のことながら、本市が抱える課題や時代の変化に留意し、特色ある施策展開を行っていく必要があります。

【参考】満足度及び重要度の前回比較に基づいた分類

	施策目標（網掛けは重点施策）
満足度が上昇し、重要度も上昇したもの	<p>7 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち</p> <p>12 男女がともに参画し、個性を發揮できるまち</p> <p>13 平和の大切さを後世に伝えるまち</p> <p>14 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち</p> <p>15 子どもたちが健やかに育つことができるまち</p> <p>16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち</p> <p>17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち</p> <p>22 農を守り、生かすまち</p> <p>25 ごみを減らし、資源の循環が進むまち</p> <p>27 地球温暖化対策に取り組むまち</p> <p>28 美しく魅力あるまち並みが育まれるまち</p> <p>30 市民による活発なまちづくり活動を支援します</p>
満足度が上昇し、重要度が下降したもの	<p>3 暮らしに身近な安全が確保されたまち</p> <p>4 安全で快適な交通環境が整うまち</p> <p>5 快適で暮らしやすい環境を備えたまち</p> <p>6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち</p> <p>9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち</p> <p>10 障害者が自立し、社会参加ができるまち</p> <p>11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち</p> <p>18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち</p> <p>19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち</p> <p>20 いきいきと働くことのできるまち</p> <p>21 地域産業が活発に展開されるまち</p> <p>29 市民との情報の共有化を進めます（行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合）</p>
満足度が下降し、重要度が上昇したもの	<p>1 災害に対する備えができていくまち</p> <p>2 災害時に、迅速・的確に対応できるまち</p> <p>8 安心して適切な医療が受けられるまち</p> <p>23 豊かな自然環境を大切にするまち</p> <p>24 まちなかのみどりを育てるまち</p> <p>26 安全で良好な生活環境が確保されたまち</p>
満足度が下降し、重要度も下降したもの	<p>29 市民との情報の共有化を進めます（行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合）</p>

【参考】施策目標ごとの重要度と満足度の散布図



3. 枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口ビジョンで示した将来展望の推計に近づけるため、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）までの 5 か年を期間として、2 つの政策指標を掲げるとともに、3 つの基本目標を定め、取り組みを進めてきました。（平成 30 年 3 月には、総合戦略をより実行性のあるものとし、総合戦略が目指す方向性や基本目標を実現していくため、これまでの定住促進・人口誘導対策に係る取り組みや、平成 29 年度の施策評価の結果を踏まえた改訂を行いました。）

1. 政策指標の推移

総合戦略では、市民の定住や市外からの人口誘導を促進するため、本市への定住意向や住みよさの向上を政策指標として設定しました。これまでの推移は次のとおりです。

※政策指標の値は、平成 27 年及び平成 31 年に実施した市民意識調査によるものです。

評価については、政策指標の推移を踏まえ、①…目標値を達成したものの、②…目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの、③…策定時の値を下回っているものの 3 段階で評価しています。

政策指標の推移	策定時（H27） の値	H31	目標値	評価
政策指標 1：本市への定住意向を示す市民の割合	87.1	89.2	90.1	②
政策指標 2：本市を住みよいと感じる市民の割合	78.5	80.1	81.5	②

政策指標については、ともに目標値には達していないものの、平成 27 年の策定時の値を上回っています。

2. 3 つの基本目標に関する指標の推移

政策指標の達成に向け、国や大阪府の総合戦略の政策分野を勘案しながら、人口減少に対応するための効果的な取り組みを集中的に実施していく観点から、一定のまとまりの政策分野ごとに基本目標を定め、基本目標の実現に向けた主観的成果指標を設定しました。これまでの推移は次のとおりです。

※主観的成果指標の値は、平成 27 年及び平成 31 年に実施した市民意識調査によるものです。

評価については、主観的成果指標の推移を踏まえ、①…目標値を達成したものの、②…目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの、③…策定時の値を下回っているものの 3 段階で評価しています。

基本目標 1 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

	施策目標	主観的成果指標	策定時 (H27) の値	H31	目標値	評価
1	地域産業が活発に展開されるまち	市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	18.3	20.7	23.3	②
2	いきいきと働くことのできるまち					
3	安全で快適な交通環境が整うまち	安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	27.6	30.2	32.6	②
4	快適で暮らしやすい環境を備えたまち	公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	37.8	41.9	42.8	②
5	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	22	42.6	27	①
6	地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	20.8	21.2	23.8	②

基本目標 1 については、施策目標 5 「人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち」に関する指標が目標を大きく上回りました。その他の指標については目標値には達していないものの、平成 27 年の策定時の値を上回っています。

基本目標 2 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

	施策目標	主観的成果指標	策定時 (H27) の値	H31	目標値	評価
1	安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	37.3	38.5	42.3	②
2	子どもたちが健やかに育つことができるまち	安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	37.9	44.5	42.9	①
3	子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	35.3	39.4	40.3	②

基本目標 2 については、施策目標 2 「子どもたちが健やかに育つことができるまち」に関する指標「安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合」が目標を上回りました。その他の指標については目標値には達していないものの、平成 27 年の策定時の値を上回っています。

基本目標 3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

	施策目標	主観的成果指標	策定時 (H27) の値	H31	目標値	評価
1	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	52.4	56.1	57.4	②
2	健康危機管理が充実したまち					
3	安心して適切な医療が受けられるまち	安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	62.5	49.6	67.5	③
4	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	27.5	30	32.5	②

基本目標3については、施策目標3「安心して適切な医療が受けられるまち」に関する指標「安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合」が策定時の値を下回る結果となり、その他の指標については目標値には達していないものの、平成27年の策定時の値を上回っています。

3. 各施策目標に対する重要業績評価指標（KPI）の推移

各施策目標に対する重要業績評価指標（KPI）の推移については、全体の78.7%の指標が策定時の値を上回っており、うち37.3%が目標値を達成しています。一方で、21.3%の指標については策定時の値を下回っています。

1～3のことから、総合戦略の政策指標、基本目標に係る施策指標、各KPIについては、当初目標の達成には至っていないものの、概ね目指すべき目標に向けて推移しているところです。

国や大阪府の動向を見ますと、国の基本方針や大阪府の第2期総合戦略骨子（案）においては、人口減少への対応にかかるこれらの取り組みについては、効果が短期間で現れるものではないと総括され、現行の枠組みを引き続き維持するとされていることとされています。

これらのことを踏まえ、本市においても、政策指標及び各基本目標の指標について概ね策定時の値を上回る傾向が見られることから、引き続きPDCAサイクルによる改善により、取り組みを進めることが必要であると判断し、令和2年3月に策定を予定している第2期「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、より適切なKPIの追加等を検討しながら、継続した取り組みを進めていきます。

(参考) 実行計画事業と総合戦略事業の関係表

※「総合戦略における位置づけ」は、総合戦略において位置づけられた事業である場合に、「★」が記載されています。

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
01 災害に対する備えができていますまち	1	防災体制強化事業	
	2	防災啓発事業	
	3	自主防災組織強化支援事業	
	4	災害時要援護者避難支援事業	
	5	土砂災害特別警戒区域内建築物に対する支援事業	
	6	住宅・建築物耐震化促進補助事業	★
	7	被災建物修繕・安全対策補助事業	
	8	枚方市道路長寿命化計画事業	★
	9	主要道路修繕事業	★
	10	橋梁の修繕・耐震化事業	★
	11	水道施設更新・耐震化事業	★
	12	水道管路更新・耐震化事業	★
	13	下水道施設維持管理事業	★
	14	浸水対策推進事業	★
02 災害時に、迅速・的確に対応できるまち	15	非常時通信体制強化事業	
	16	公衆無線LAN環境整備事業	
	17	災害医療体制整備事業	
	18	健康危機管理体制構築事業	
	3	【再掲】 自主防災組織強化支援事業	
03 暮らしに身近な安全が確保されたまち	19	防犯環境整備事業	★
	20	地域防犯力向上事業	
	21	消費者被害対策推進事業	
	22	個人情報適正管理事業	
	23	情報セキュリティ対策事業	
04 安全で快適な交通環境が整うまち	24	幹線道路整備事業	★
	25	京阪本線連続立体交差事業	★
	26	京阪本線連続立体交差事業関連光善寺駅周辺まちづくり事業	★
	27	京阪電鉄樟葉駅前ロータリー渋滞解消整備計画策定・推進事業	★
	28	道路施設維持管理事業	★

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
04 安全で快適な交通環境が整うまち	29	新名神高速道路等整備促進事業	★
	30	牧野高槻線等整備促進事業	★
	31	自転車通行空間・歩行空間整備事業	★
	32	歩道フラット化整備事業	★
	33	交通安全啓発事業	★
05 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	34	公共交通環境整備事業	★
	27	【再掲】京阪電鉄樟葉駅前ロータリー渋滞解消整備計画策定・推進事業	★
	35	公共交通利用促進啓発事業	★
	36	都市計画マスタープラン改定・推進及び立地適正化計画作成・推進事業	★
	37	土地区画整理事業支援事業	★
	38	空き家・空き地対策推進事業	★
06 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	39	三世代家族・定住促進事業	★
	40	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業	★
	41	健康づくり推進事業	★
	42	市民の健康を支える地域拠点整備事業	★
	43	健康・医療電話相談事業	★
	44	糖尿病性腎症重症化予防事業	★
	45	ヘルシーメニューの開発支援など飲食店を通じた健康づくり推進事業	★
	46	総合スポーツセンター駐車場拡張事業	★
	47	枚方市スポーツ推進事業	★
	48	各種スポーツ大会・レクリエーション開催事業	★
	49	特定健康診査・特定保健指導推進事業	★
	50	スマホ等の活用による特定健診早期介入保健指導事業	★
	51	住民健康診査事業	★
	52	各種がん検診推進事業	★
	53	歯科口腔保健推進事業	★
	54	新生児聴覚検査事業	★
	55	食育推進事業	★
56	こころの健康相談事業	★	
57	自殺予防対策事業	★	
58	難病対策事業	★	
59	薬物乱用防止啓発事業		

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
07 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	60	感染症対策事業	★
	61	食品・生活衛生指導事業	★
	62	狂犬病予防・動物愛護事業	
08 安心して適切な医療が受けられるまち	40	【再掲】「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業	★
	63	地域医療連携システム構築事業	★
	64	救急医療体制・応急救護体制充実事業	★
	65	初期救急医療体制再構築事業	★
	66	医療通訳士登録派遣事業	★
	67	保健・医療・介護・福祉等連携強化事業	★
09 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	67	【再掲】保健・医療・介護・福祉等連携強化事業	★
	68	認知症総合支援事業	★
	69	市民後見推進事業	★
	70	高齢者在宅生活援助事業	★
	71	介護予防・生活支援サービス事業	★
	72	広域型老人福祉施設等整備事業	★
	73	公的介護保険施設等基盤整備補助事業	★
	74	介護予防事業	★
	75	高齢者居場所づくり助成事業	★
	76	高齢者外出支援事業	
	77	高齢者お出かけ推進事業	★
	78	認知症予防プログラム推進事業	★
	79	高齢者社会参加促進事業	★
	80	保育所(園)・幼稚園における世代間交流事業	★
81	高齢者等在宅生活環境整備連携事業		
10 障害者が自立し、社会参加ができるまち	82	障害者社会参加促進事業	
	83	障害者就労支援事業	★
	84	日中一時支援事業	
	85	重症心身障害者宿泊訓練事業	
	86	重度障害者コミュニケーション支援事業	
	87	視覚障害者に対する同行援護事業	
	88	障害者歯科診療充実事業	
	89	障害者理解促進・地域生活支援事業	

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	90	人権啓発推進事業	
	91	配偶者暴力相談支援事業	
	92	高齢者虐待防止事業	
	93	障害者虐待防止事業	
12 男女がともに参画し、個性を發揮できるまち	94	男女共同参画啓発・相談事業	
	95	政策等の意思決定等における男女共同参画推進事業	
	96	ワーク・ライフ・バランス推進事業	★
13 平和の大切さを後世に伝えるまち	97	平和啓発事業	
14 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	98	母子健康づくり推進事業	★
	42	【再掲】市民の健康を支える地域拠点整備事業	★
	99	結婚新生活支援事業	★
15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	100	乳幼児健康診査事業	★
	54	【再掲】新生児聴覚検査事業	★
	101	子ども医療費助成事業	★
	102	多子世帯医療費助成事業	★
	103	保育サービスの充実	★
	104	幼稚園保育料の軽減	★
	105	待機児童対策推進事業	★
	106	公立幼稚園における3歳児保育実施事業	★
	107	放課後児童対策事業	★
	108	全児童を対象とする放課後対策事業<放課後子ども教室事業>	★
	39	【再掲】三世代家族・定住促進事業	★
	109	新児童発達支援センター整備事業	★
	110	放課後等デイサービス事業	★
	111	身体障害児及び長期療養児等療育指導事業	★
	112	地域子育て相談・支援事業	★
	113	枚方子どもいきいき広場事業	★
	114	児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業	★
115	子ども・若者育成支援事業	★	
116	生活困窮者自立支援制度に係る子どもの学習支援事業	★	
117	ひとり親家庭等自立支援事業	★	
16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	118	小中一貫教育推進事業	★

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	119	読書活動推進事業	★
	120	英語教育推進事業	★
	121	小中学校教育用 I C T 機器等整備事業	★
	122	未来学習研究事業	★
	123	学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	★
	124	枚方市立中学校部活動指導協力者派遣事業	★
	125	教職員育成事業	★
	126	子どもの健康増進事業	★
	127	野外活動センター活性化事業	★
	113	【再掲】枚方子どもいきいき広場事業	★
	128	生徒指導充実事業	★
	129	不登校等対策事業	★
	130	コミュニティ・スクール推進事業	★
	131	学校安全監視事業	★
	132	通学路等安全対策事業	★
	19	【再掲】防犯環境整備事業	★
	133	学校施設更新整備事業	★
	134	枚方小学校少人数教室等整備事業	★
	135	津田南小学校少人数教室等整備事業	★
	136	学校規模等適正化推進事業	★
	137	香里小学校施設整備に伴う学校給食調理場改修事業	★
138	単独調理場の活用による第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	★	
139	小学校給食単独調理場整備事業	★	
140	学校給食充実事業	★	
141	支援教育充実事業	★	
17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	142	生涯学習支援事業	
	143	香里ヶ丘図書館建替え事業	★
	144	図書館機能充実事業	
	145	子どもに本を届ける事業	
	146	生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業	
	147	総合文化施設整備事業	★
	148	若手芸術家支援事業	★

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	149	子どもの文化芸術の体験を促進する事業	
	46	【再掲】総合スポーツセンター駐車場拡張事業	★
	47	【再掲】枚方市スポーツ推進事業	★
	48	【再掲】各種スポーツ大会・レクリエーション開催事業	★
	127	【再掲】野外活動センター活性化事業	★
18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	150	枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業	★
	151	枚方市駅周辺賑わい創出事業	★
19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	152	特別史跡百済寺跡再整備事業	
	153	楠葉台場跡保存事業	
	154	文化財保存活用促進事業	
	155	観光まちづくり推進事業	★
	156	観光資源発信事業	★
	127	【再掲】野外活動センター活性化事業	★
	157	市内大学連携・交流事業	★
	158	産学公連携事業	
20 いきいきと働くことのできるまち	159	雇用対策・就労支援事業	★
	160	市内企業若者雇用推進事業	★
	161	生活保護受給者等就労支援事業	★
	162	生活困窮者自立支援制度に係る家計改善支援事業	★
21 地域産業が活発に展開されるまち	163	地域産業基盤強化事業	★
	164	住工共生環境対策支援事業	★
	165	中小企業経営安定化支援事業	★
	166	創業支援事業	★
	155	【再掲】観光まちづくり推進事業	★
	167	名物開発・発信事業	★
	168	枚方市産業活性化支援事業	★
	169	枚方市商店街等活性化促進事業	★
22 農を守り、生かすまち	170	地産地消推進事業	
	171	エコ農産物普及促進事業	
	172	農業被害対策事業	
	173	新規就農者育成事業	
	174	農業体験拡充事業	

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
23 豊かな自然環境を大切に するまち	175	森林ボランティア育成事業	
	176	里山保全推進事業	
	177	自然保護啓発事業	
24 まちなかのみどりを育 てるまち	178	プレーパーク推進事業	★
	179	市道緑化推進事業	
	180	公園整備事業	
24 まちなかのみどりを育 てるまち	181	香里ヶ丘中央公園改修事業	★
	182	みどりのプラットフォーム設置・運営事業	
	183	緑化推進事業	
25 ごみを減らし、資源の 循環が進むまち	184	ごみ減量化対策事業	
	185	ごみ資源化事業	
	186	ごみ置場適正管理推進事業	
	187	新ごみ処理施設整備事業	
26 安全で良好な生活環境 が確保されたまち	188	大気汚染等環境監視・指導事業	
	189	産業廃棄物適正処理推進事業	
	11	【再掲】水道施設更新・耐震化事業	★
	12	【再掲】水道管路更新・耐震化事業	★
	190	公共下水道（汚水）整備事業	
	191	淀川衛生工場し尿処理施設整備事業	
27 地球温暖化対策に取り 組むまち	192	再生可能エネルギー導入等推進事業	
	193	環境教育・学習推進事業	
	194	道路照明灯LED化事業	
28 美しく魅力あるまち並 みが育まれるまち	195	まち美化啓発事業	
	196	公共場所のアダプトプログラム事業	
	197	良好なまちなみ形成事業	
29 市民との情報の共有化 を進めます	198	予算編成過程等の公表	
	199	情報発信力強化事業	
	200	シティプロモーション推進事業	★
	201	電子自治体推進事業<オープンデータ利活用の促進等>	
	16	【再掲】公衆無線LAN環境整備事業	
	202	広聴機能充実事業	
	203	コールセンター事業	

施策目標	No.	実行計画事業名	総合戦略における位置づけ
29 市民との情報の共有化を進めます	204	期日前投票所環境整備事業	
30 市民による活発なまちづくり活動を支援します	205	ひらかたポイント事業	★
	206	協働によるまちづくりの推進	
	207	校区コミュニティ活動補助金交付事業	
	208	NPO活動応援事業	
31 持続可能な行財政運営を進めます	209	行政改革推進事業	
	210	健全な財政運営推進事業	
	211	ふるさと寄附金推進事業	★
	8	【再掲】枚方市道路長寿命化計画事業	
	9	【再掲】主要道路修繕事業	★
	10	【再掲】橋梁の修繕・耐震化事業	★
	212	公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新事業	
	11	【再掲】水道施設更新・耐震化事業	★
	12	【再掲】水道管路更新・耐震化事業	★
	13	【再掲】下水道施設維持管理事業	★
	213	市有建築物計画保全事業	
	214	公共施設等総合管理事業	
	215	組織体制充実事業	
	22	【再掲】個人情報適正管理事業	
23	【再掲】情報セキュリティ対策事業		
216	人材育成推進事業		
32 自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります	217	広域連携推進事業	
	167	【再掲】名物開発・発信事業	★
	218	地方分権推進事業	

総括評価シート

◆総括評価シートの見方

施策体系、取り組みの方向など

「**基本目標**」には、第5次枚方市総合計画の基本構想に掲げる5つの基本目標もしくは基本構想を実現するための方針を記載しています。「**施策目標**」には、28の施策目標もしくは施策目標の実現に向けたまちづくりの基盤となる取り組みを記載しています。「**4つの重点的に進める施策との関係**」には、基本計画12年間における重点的に進める施策として設定された施策を記載しています。その他、その施策を推進していくための「**取り組みの方向**」を記載しています。また、右側の欄には、各施策の実行計画事業の「**所管部**」を記載しています。

総括評価シート

基本目標	安全で、利便性の高いまち	所管部 環境部 都市整備部 土木部
施策目標	5. 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	
4つの重点的に進める施策との関係	4. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる	
取り組みの方向	5-① 市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図るため、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進します。利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正に配置し、効率的・効果的な都市整備を進めます。 5-② 今後、増加することが見込まれる管理不良な空き家・空き地の発生抑制などを図るため、空き家・空き地の適正管理及び活用を促進します。 5-③	

施策の推進に要したすべての費用

各実行計画事業の平成28年度から平成30年度までの3年間の事業費総額を「**施策の推進に要したすべての費用**」として載せています。

施策の推進に要したすべての費用 約1億5675.5万円

実行計画の事業実績 (平成28～30年度)

平成28年度から平成30年度までの間に、各施策の取り組みの方向に沿って実施した「**実行計画の事業実績**」を記載しています。

実行計画の事業実績(平成28～30年度)			事業費(千円)
5-①	公共交通環境整備事業	交通事業者とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策の推進に向けた「枚方市総合交通計画」を策定。バリアフリー基本構想に基づいた事業を実施。また、公共交通利用促進のイベントや出前講座等で、枚方ポイント制度とも連携し、ICカード利用についてPRを実施	69,217
5-①	【再掲】京阪電鉄樟葉駅前ロータリー渋滞解消整備計画策定・推進事業	朝夕の通勤、通学の時間帯の樟葉駅前ロータリー内で発生する交通渋滞によって、路線バスの運行に支障が出ている状況であるため、現地調査結果をもとにソフト面、ハード面の双方から対策を検証し、基本設計案のとりまとめを実施	10,751
5-①	公共交通利用促進啓発事業	市内の交通渋滞解消を図るため、市民や事業者等とともに公共交通の利用促進に向けた啓発を実施	4,207
5-②	都市計画マスタープラン改定・推進及び立地適正化計画作成・推進事業	人口減少や土地利用状況の変化など社会情勢の変化に対応したまちづくりを進めるため、都市計画マスタープランを改定。都市機能の集約化等に向けた立地適正化計画を作成。計画に基づく取り組みを推進	14,873
5-②	土地区画整理事業支援事業	土地区画整理事業に関する専門的・技術的な事項に関する助言・指導を行い、事業の認可及び認可の為の調査、事業工程等に関する協議・調整を実施	61
5-③	空き家・空き地対策推進事業	空き家・空き地の適正管理及び活用を促進するため、老朽化し危険な状態になっている特定空家等に対する措置を実施。枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例の制定。空き家の活用を含めた「枚方市空家等対策計画」を策定	20,422
5-③	三世大家族・定住促進事業	親世帯と子育て世帯や若年夫婦世帯が市内で同(近)居することに対して、住宅リフォームや購入費用を助成するとともに、マイホーム借上げ制度の普及に向けた市民向け説明会や個別相談会を実施	37,505

施策指標の推移 (主観的指標)	【満足度】 公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合				【重要度】 快適で暮らしやすい環境を備えるための施策が重要だと思う市民の割合			
	単位	実績		目標	単位	実績		
		H27	R1(H31)	R1(H31)		H27	R1(H31)	
%	37.8	→	41.9	42.8	%	63.4	→	62.7

施策指標の推移(主観的指標)

各施策に対する市民の満足度及び重要度についてアンケートを行った市民意識調査の結果を「**施策指標(主観的指標)の推移**」として記載しています。
満足度の目標値については、前回数より重点施策については5%アップ、それ以外は3%アップで設定しています。

施策指標の推移(客観的指標)

施策ごとに、その達成度を客観的かつ定量的に把握するために設定した「**施策指標(客観的指標)の推移**」について、実績数値をグラフ化し、示しています。

5-① 公共交通利用促進啓発イベントの参加者数		5-① 京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合【社会指標】									
指標の説明	鉄道やバスなど公共交通の利用を促進する啓発イベントの参加者数(累計)	指標の説明	京阪バスの主要停留所(枚方市駅、樟葉駅、長尾駅)における乗降客数(日あたり)/市域人口								
単位	実績	目標	実績	めざすべき方向							
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
人	1,397	2,217	4,037	4,530	4,000	%	15.6	15.8	15.8	算定中	↗
5-② 鉄道駅利用者の市域人口に対する割合【社会指標】		5-③ 特定空家等に指定した空家等の改善率									
指標の説明	市内鉄道駅(京阪電鉄9駅、JR片町線3駅)の乗降客数(日あたり)/市域人口	指標の説明	周囲への危険性が高いと市が判断して「特定空家等」と認めた物件のうち、危険が取り除かれ指定の解除に至った数/「特定空家等」と認めた物件の数								
単位	実績				めざすべき方向	実績				目標	
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
%	70.3	71.3	70.2	71.4	↗	%	-	-	0	100	100

・「めざすべき方向」欄の「↗」印については、現時点では、相談窓口の認知度を高め、相談を促す取り組みが必要なことから増加をめざすものの、将来的には減少をめざすことを示しています。

・「社会指標」は、社会状況の変動に大きく影響を受けるもので、取り組みの進捗を参考として把握する指標を示しています。

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して4.1ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については0.7ポイント下落しています。

・【公共交通機関の利用促進】として、公共交通環境整備事業や公共交通利用促進啓発事業などに取り組みました。施策指標「京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合」については、策定時の値(15.2%)と比較して0.6ポイント上昇しており、めざすべき方向に沿った推移をしています。また、公共交通利用促進啓発イベントの参加者数については、既に目標値を達成しています。

・【効率的・効果的な都市整備の推進】として、都市計画マスタープラン改定・推進及び立地適正化計画作成・推進事業や土地区画整理事業支援事業などに取り組みました。施策指標「鉄道駅利用者の市域人口に対する割合」については、策定時の値(69.3%)と比較して2.1ポイント上昇しており、めざすべき方向に沿った推移をしています。

・【空き家・空き地の適正管理及び活用促進】として、空き家・空き地対策推進事業や三世代家族・定住促進事業などに取り組みました。施策指標「特定空家等に指定した空家等の改善率」については、目標値を達成しています。

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

主観的指標の平成27年度との比較や、客観的指標の取り組みの方向ごとの推移をもとに、「**施策目標に対する主観的指標の推移、施策指標の推移と取り組みの方向における実績**」について記載しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、いずれも目標値を達成しており、また、社会指標についてもめざすべき方向に向かって推移していることから、施策の成果はあったと考えられます。主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇しています。一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みを行っていく必要があります。

また、施策評価員から「高齢化社会の進展などから、公共交通利用の必要性は更に高まると思われるが、一方でバスやタクシーのドライバーの人手不足など別の観点も考慮する必要がある」との意見をいただいております。今後は、自動運転等の次世代交通システムの構築に向けた検討を進めます。

課題や今後の対応

施策指標の推移からみた施策の成果や施策評価員による主な評価結果、その結果をもとに、「**課題や今後の対応**」について記載しています。

目 次

基本目標 安全で利便性の高いまち

(施策目標1) 災害に対する備えができているまち	1
(施策目標2) 災害時に、迅速・的確に対応できるまち	4
(施策目標3) 暮らしに身近な安全が確保されたまち	6
(施策目標4) 安全で快適な交通環境が整うまち	8
(施策目標5) 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	11

基本目標 健やかに、生きがいを持ってらせるまち

(施策目標6) 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	13
(施策目標7) 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	18
(施策目標8) 安心して適切な医療が受けられるまち	20
(施策目標9) 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	23
(施策目標10) 障害者が自立し、社会参加ができるまち	27
(施策目標11) すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	29
(施策目標12) 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	32
(施策目標13) 平和の大切さを後世に伝えるまち	34

基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

(施策目標14) 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	35
(施策目標15) 子どもたちが健やかに育つことができるまち	37
(施策目標16) 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	42
(施策目標17) 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	49

基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力みなぎるまち

(施策目標18) 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	53
(施策目標19) 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	55
(施策目標20) いきいきと働くことのできるまち	58
(施策目標21) 地域産業が活発に展開されるまち	60
(施策目標22) 農を守り、生かすまち	63

基本目標 自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち

(施策目標23) 豊かな自然環境を大切にすまち	65
(施策目標24) まちなかのみどりを育てるまち	67
(施策目標25) ごみを減らし、資源の循環が進むまち	69
(施策目標26) 安全で良好な生活環境が確保されたまち	71
(施策目標27) 地球温暖化対策に取り組むまち	74
(施策目標28) 美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	76

計画の推進に向けた基盤づくり

(計画推進1) 市民との情報の共有化を進めます	78
(計画推進2) 市民による活発なまちづくり活動を支援します	81
(計画推進3) 持続可能な行財政運営を進めます	83
(計画推進4) 自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります	86

総括評価シート

基本目標	安全で、利便性の高いまち	所 管 部	市民安全部 産業文化部 福祉部 都市整備部 土木部 上下水道事業部
施策目標	1. 災害に対する備えができています		
4つの重点的に進める施策との関係			
取り組みの方向	<p>1-① 市の防災体制の強化を図るとともに、市民一人ひとりが防災意識を高め、大規模災害の発生に備えます。</p> <p>1-② 市民、市民団体、事業者、行政がお互いに協力し合える関係をつくることで、地域における防災力の向上を図ります。</p> <p>1-③ 地震等の災害発生時に、被害を軽減できるよう、建築物の耐震化や、道路、橋梁、上下水道などの都市基盤の計画的な維持管理を図るなど、災害に強い、まちづくりを進めます。</p> <p>1-④ 公共下水道の雨水排水施設の適切な管理や計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図ります。</p>		

施策の推進に要したすべての費用	約184億5908.6万円
-----------------	---------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
1-① 防災体制強化事業	業務継続計画（BCP）に基づき、災害時の業務継続体制を確保。また、自然災害の発生に備え、地域防災計画に基づき重要物資等の防災備蓄品を選定し管理を実施。災害情報システムを活用した訓練を実施。大阪北部地震及び台風21号の災害対応の中で顕在化した課題の分析を踏まえ、初動マニュアルを策定	56,218
1-① 防災啓発事業	市民の防災意識を高めるため、防災啓発ブースを出展し、非常時持ち出し品の確保など防災知識の普及を図った他、主に地域自治会等を対象として防災出前講座を実施	14,135
1-② 自主防災組織強化支援事業	地域の防災力向上を図るため、自主防災訓練への支援や自主防災活動費の補助を行うとともに、校区の防災活動を推進する地域の人材である地域防災推進員の育成・継続的な支援を実施	73,649
1-② 災害時要援護者避難支援事業	災害発生時に高齢者や障害者等が逃げ遅れることのないよう、名簿への登録や地域での避難支援者の設定などにより避難支援体制を確保。災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向け、ボランティアへの研修やシミュレーションも実施	35,616
1-③ 土砂災害特別警戒区域内建築物に対する支援事業	土砂災害から市民の生命及び身体を保護するため、土砂災害特別警戒区域内の既存不適格住宅の移転及び補強対策に要する費用の一部を助成する制度の運用を開始し、併せて助成制度の周知を実施	0
1-③ 住宅・建築物耐震化促進補助事業	建物の耐震化を進めるため、「枚方市住宅・建築物耐震化促進計画（第Ⅱ期）」を策定し、一定の条件に該当する個人所有の住宅・建築物の耐震診断、耐震改修設計、工事及び除却に要する費用の一部補助を実施	196,180
1-③ 被災建物修繕・安全対策補助事業	平成30年6月に発生した大阪北部地震及び9月に発生した台風21号等により被災した、居住又は使用をしている建物の修繕やブロック塀等の撤去・フェンス等の新設を行った場合に、それに要する費用の一部補助を実施	312,011
1-③ 枚方市道路長寿命化計画事業	枚方市公共施設マネジメント推進計画において策定が位置づけられた「枚方市道路長寿命化計画」について、内容の検討を進めるとともに、当該計画事業に係る道路構造物などの現地調査を実施。また、効率的・効果的で持続可能な道路の維持管理を促進するため、「舗装長寿命化修繕計画」を策定	16,030

1-③ 主要道路修繕事業	道路の効率的な維持管理を図るため、市内の幹線道路12路線（牧野長尾線等）を選定し、路面損傷等の調査を行い補修方法を検討し、計画的にリフレッシュ整備を実施	272,440
1-③ 橋梁の修繕・耐震化事業	災害発生時の被害軽減や施設の維持補修等に係る財政負担の平準化を図るため、市内126橋を対象とした橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕工事・耐震化工事を実施	198,886
1-③ 水道施設更新・耐震化事業	水道水を安定的に供給するため、経年劣化が進む中宮浄水場について施設の更新事業に着手。また、災害発生時の市内各地の応急給水に対応するため、受・配水施設への緊急遮断弁の設置及び耐震化を推進	2,641,574
1-③ 水道管路更新・耐震化事業	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新・耐震化や鉛製給水管の取替え等を実施。水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に推進するために、「枚方市水道施設整備基本計画」を策定	5,494,403
1-③ 下水道施設維持管理事業	浸水被害対策等に備え、下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施するとともに、下水道長寿命化計画として、汚水管渠長寿命化工事を行い、ポンプ場遠方監視設備更新工事（雨水大ポンプ場）の長寿命化工事に着手。また、「枚方市下水道ストックマネジメント計画」を策定	2,140,320
1-④ 浸水対策推進事業	浸水被害の軽減に向け、雨水幹線管渠や水路、ポンプ場の整備を推進。また、近年の豪雨に対しては、蹠跎排水区及び楠葉排水区における下水道浸水被害軽減総合計画に基づき雨水貯留施設等を整備	7,007,624

（主観的指標の推移）	【満足度】 防災体制が整っていると感じている市民の割合	【重要度】 災害に備えるための施策が重要だと思う市民の割合							
	単位	実績	目標	単位	実績	-			
		H27	R1(H31)	R1(H31)	H27	R1(H31)	-		
	%	37.2	→	36.6	40.2	%	66.7	→	67.1

（客観的指標の推移）	1-① 重要物資備蓄目標達成率	1-② 自主防災組織が年1回以上の訓練を実施した割合									
	指標の説明	重要物資備蓄品のなかで特に重要であるアルファ化米と毛布の備蓄量/備蓄目標量	指標の説明	年1回以上の訓練を実施した自主防災組織の数/全自主防災組織の数							
	単位	実績	目標	単位	実績	目標					
	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
		106.3	148.5	149.2	131.2	100	77.8	88.9	86.7	88.9	93
	1-③ 民間木造住宅耐震改修戸数（累計）	1-④ 橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕率									
	指標の説明	「枚方市木造住宅耐震改修補助金交付要綱」に基づく木造住宅耐震改修補助等により改修・除却（解体）した戸数（累計）	指標の説明	橋梁長寿命化修繕計画に基づく整備済橋梁数/計画における整備予定橋梁数							
	単位	実績	目標	単位	実績	目標					
戸	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	320	474	534	595	700	18.8	18.8	37.5	47.9	62.5	

(客観的指標の推移)	1-④ 主要な雨水幹線管渠の整備率					
	指標の説明	主要な雨水幹線管渠の整備延長距離／計画延長距離				
	単位	実績				目標
	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)

単位	実績				目標
%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	44.5	44.5	45.4	45.6	45.5

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

- ・主観的指標「防災体制が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.6ポイント下落しており、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については平成27年度と比較して、0.4ポイント上昇しています。
- ・【大規模災害発生への備え】として、防災体制強化事業や防災啓発事業などに取り組みました。施策指標「重要物資備蓄目標達成率」については、既に目標値を達成しています。
- ・【地域における防災力の向上】として、自主防災組織強化支援事業や災害時要援護者避難支援事業などに取り組みました。施策指標「自主防災組織が年1回以上の訓練を行った割合」については、策定時の値(77.7%)と比較して11.2ポイント上昇しているものの、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【災害に強いまちづくりの推進】については、住宅・建築物耐震化促進補助事業や橋梁の修繕・耐震化事業などに取り組みました。施策指標「民間木造住宅耐震改修件数」については、平成29年度に目標値を達成したため、新たに目標値を設定し、引き続き取り組みを進めています(※当初目標値500戸)。また、「橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕率」についても、策定時の値(14.6%)と比較して33.3ポイント上昇しているものの、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【浸水被害の軽減】については、浸水対策推進事業などに取り組みました。施策指標「主要な雨水幹線管渠の整備率」については、策定時の値(44.5%)と比較して1.1ポイント上昇しており、平成30年度に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

5つの客観的指標のうち、3つについては既に目標値を達成しました。残りの2つについては、目標値には達していませんが、策定時の値は上回っていることから、施策として一定の成果はあったと考えられるものの、主観的指標の推移によると、満足度については平成27年度と比較して下落しています。一方で、重要度については平成27年度と比較して上昇していることから、その要因を分析し、市民の満足度を高めるために、重点的な取り組みを行っていく必要があります。

また施策評価員から、「近年の想定以上の自然災害を目の当たりにすると、市民に満足していただけるレベルも上がっていると思われるため、防災体制の強化が必要である」との意見をいただいております。今後は、行政や地域それぞれの役割の検討を進めるとともに、専門機関と連携しながら、事業者等との災害時応援や情報収集手段の充実を図ります。

総括評価シート

基本目標	安全で、利便性の高いまち	所 管 部	市民安全部 総務部 健康部
施策目標	2. 災害時に、迅速・的確に対応できるまち		
4つの重点的に進める 施策との関係			
取り組みの方向	2-① 災害情報などの緊急情報について、さまざまな情報発信手段を活用しながら、迅速かつ正確に地域に提供する体制を整えます。 2-② 災害発生時に迅速な医療の応急処置活動が行える体制を整備します。 2-③ 災害発生後から中長期間にわたり、地域に密着した継続的な公衆衛生活動が行える体制づくりを進めます。 2-④ 災害が発生した際には、市民、市民団体、事業者、行政がお互いに連携し、被害の軽減を図ります。		

施策の推進に要したすべての費用	約9928.8万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
2-① 非常時通信体制強化事業	災害時における避難勧告等の情報を迅速かつ正確に伝達するため、同報系防災行政無線やメールサービス等の情報通信手段による訓練の実施など非常時通信体制の強化を実施	24,917
2-① 公衆無線LAN環境整備事業	災害時における市民や来訪者の災害関連情報等の収集及び安否情報の発信手段を確保するため、市民交流センター、メセナひらかた会館、枚方公園青少年センター、サプリ村野の4拠点での公衆無線LANの運用を開始。大阪府北部地震等の災害時には、誰でも認証なしに使用できるよう、開放を実施	5,145
2-② 災害医療体制整備事業	災害時に迅速かつ適切な医療救護活動が展開できるよう、「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」を策定し、体制整備を図るとともに災害医療連携訓練の実施や医薬品の備蓄等を推進	4,620
2-③ 健康危機管理体制構築事業	災害時の迅速かつ適切な支援のため、「枚方市保健医療調整本部活動マニュアル」の整備や訓練の実施等により、健康危機管理に係る役割分担の明確化や、被災者の心身における健康面でのケア等の専門的な支援を図ることで、本市における健康危機管理体制を構築	433
2-④ 【再掲】 自主防災組織強化支援事業	地域の防災力向上を図るため、自主防災訓練への支援や自主防災活動費の補助を行うとともに、校区の防災活動を推進する地域の人材である地域防災推進員の育成・継続的な支援を実施	64,173

(施策 主観的 指標の 推移)	【満足度】 防災体制が整っていると感じている市民の割合				【重要度】 災害時に、迅速・的確に対応するための施策が重要だ と思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績		
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)
	%	37.2	→	36.6	40.2	%	69.7	→	70.1

(客観的指標の推移)	2-① 災害時の情報発信手段の整備件数						2-① ひらかた安全安心メール登録者数					
	指標の説明		防災行政無線、メール、ツイッターなど災害時の情報発信手段の整備件数				指標の説明		防災・防犯情報を携帯電話等を通じて迅速に配信する「ひらかた安全安心メール」の登録者数			
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	件	8	9	9	9	10	人	-	2,166	2,139	2,181	3,900
	2-④ 救急車の平均到着時間【社会指標】						2-④【再掲】 自主防災組織が年1回以上の訓練を実施した割合					
	指標の説明		救急車を呼んでから病院に到着するまでの平均所要時間				指標の説明		年1回以上の訓練を実施した自主防災組織の数／全自主防災組織の数			
	単位	実績				めざすべき方向	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
分	35.2	34.2	33.0	33.4	↘	%	77.8	88.9	86.7	88.9	93.0	

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

- ・主観的指標「防災体制が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.6ポイント下落しており、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については、平成27年度と比較して0.4ポイント上昇しています。
- ・【緊急情報を地域へ提供する体制の整備】として、非常時通信体制強化事業や公衆無線LAN環境整備事業などに取り組みました。施策指標「災害時の情報発信手段の整備件数」については、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。また、「ひらかた安全安心メール登録者数」については、策定時の値(1,570人)と比較して611人増加しているものの、目標値達に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【災害時に応急処置活動が行える体制の整備】として、災害医療体制整備事業などに取り組みました。
- ・【災害後、地域に密着した継続的な公衆衛生活動が行える体制づくり】として、健康危機管理体制構築事業などに取り組みました。
- ・【災害時に相互連携し災害の被害軽減を図る取り組み】として、自主防災組織強化支援事業などに取り組みました。施策指標「救急車の平均到着時間」については、策定時の値(38.3分)と比較して4.9分短縮しており、めざすべき方向に沿った推移をしています。

課題や今後の対応

4つの客観的指標のうち、3つについては、目標値には達していませんが、策定時の値は上回っています。また、残る1つの社会指標についても、めざすべき方向に向かって推移していることから、施策として一定の成果はあったと考えられるものの、主観的指標の推移によると、満足度については平成27年度と比較して下落しています。一方で、重要度については平成27年度と比較して上昇していることから、その要因を分析し、市民の満足度を高めるために、重点的な取り組みを行っていく必要があります。

また、施策評価員から「市民が災害時に情報を得る手段は、ホームページやSNSなど、インターネットによるものが増えているとはいえ、FM放送等のメディアも多いと思われる。特に若い方々や、新たに枚方市に転入された市民にも、各メディアは認知されているのか」との意見をいただいております。今後は、防災アプリの開発など、引き続き情報発信手段の整備を進めるとともに、平常時から各メディアに親しむ機会を設けることで、災害時の情報発信手段としての認識を深めていただくための取り組みを推進します。

総括評価シート

基本目標	安全で、利便性の高いまち	所管部 市民安全部 総務部
施策目標	3. 暮らしに身近な安全が確保されたまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	<p>3-① 警察・行政などの機関と地域が連携を強化しながら、防犯体制の整備を進めるとともに、地域の防犯意識を高め、支えあいによる防犯力の向上を図ります。</p> <p>3-② 消費者被害の未然防止や被害の回復を図るため、消費者の意識啓発や相談体制の充実を図ります。</p> <p>3-③ 個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な管理を図ります。</p>	

施策の推進に要したすべての費用	約6億37870.4万円
-----------------	--------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
3-① 防犯環境整備事業	防犯灯の新設・LED化に対して補助を実施し、防犯環境の整備を推進。街頭犯罪の未然防止と犯罪発生時の迅速な対応等を目的として、防犯カメラの設置、運用を実施	414,188
3-① 地域防犯力向上事業	地域の防犯力を強化するため、防犯キャンペーンや青色防犯パトロールなどを実施し、住民の防犯意識の向上を推進。また、ひらかた安全安心メールを配信し、防犯・防災等の情報の共有化を実施	18,371
3-② 消費者被害対策推進事業	複雑化・多様化する消費者問題に対し消費者が的確な対応ができるよう、消費生活相談員の増員や勤務日の拡大、それに伴った人材確保のための処遇改善等を実施し消費生活相談体制の充実を実施。月刊誌・季刊誌の作成・配布とともに、出前講座等を実施し消費者教育・啓発の取り組みを実施	16,185
3-③ 個人情報適正管理事業	個人情報の漏えい防止につなげるため、個人情報保護に関する職員の意識向上を目的とした啓発を行うとともに、個人情報保護条例に関する実務者研修など、各種研修を継続的に実施	0
3-③ 情報セキュリティ対策事業	国の方針に従い、業務用端末からインターネット環境を完全分離するセキュリティ対策の運用を開始。また、個人情報の漏えいやサイバー攻撃等の対策として、セキュリティ対策機器・ソフトウェア等の強化を進めるとともに、職員への研修や訓練を実施	189,960

（施策指標の推移）	【満足度】 防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じる市民の割合				【重要度】 暮らしに身近な安全を確保するための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27	R1(H31)	R1(H31)		H27	R1(H31)	-	
	%	30.7	→	35.4	33.7	%	67.5	→	67.2

(客観的指標の推移)	3-① 犯罪発生件数【社会指標】					3-② 消費者相談のうち解決済の割合						
	指標の説明		市内の刑法犯罪発生件数(1日あたり)			指標の説明		消費者相談解決済件数(あつせん不調・処理不能を除く) / 消費者相談件数(年度内処理済件数)				
	単位	実績				めざすべき方向	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	件	9.8	8.6	7.4	6.1	↘	%	97.9	98.0	97.3	96.9	98.3
3-③ 個人情報の保護等に関する研修等の実施回数												
指標の説明		個人情報の保護及び情報漏えい防止に関する市役所職員対象の研修等の実施回数										
単位	実績				目標							
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)							
回	3	5	7	6	3							

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じる市民の割合」については、平成27年度の値と比較して4.7ポイント上昇しており、目標値を達成しています。一方、重要度については、平成27年度と比較して0.3ポイント下落しています。

・【防犯体制の整備の推進と行政機関と地域の支えあいによる防犯力の向上】として、防犯環境整備事業や地域防犯力向上事業などに取り組みました。施策指標「犯罪発生件数」については、策定時の値(11.3件)と比較して5.2ポイント減少しており、めざすべき方向に沿った推移をしています。

・【消費者の意識啓発や相談体制の充実】として、消費者被害対策推進事業などに取り組みました。施策指標「消費生活相談のうち解決済の割合」については、平成29年度以降目標値と逆方向に推移しており、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

・【個人情報の適正な管理】として、個人情報適正管理事業や情報セキュリティ対策事業などに取り組みました。施策指標「個人情報の保護等に関する研修等の実施回数」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値と逆方向に推移した指標もあるものの、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇しています。一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めていくための取組が必要です。

また、施策評価員から「本施策目標は、市民が安心して暮らすために非常に重要なものであり、警察等との連携もより密にし、取り組みを進めていただきたい」との意見をいただいております。今後は、通学路等の危険箇所について、地域や警察と協議を重ねながら防犯カメラの増設を行うなど、犯罪発生件数の減少に向けた取り組みを進めます。

総括評価シート

基本目標	安全で、利便性の高いまち	所管部 都市整備部 土木部
施策目標	4. 安全で快適な交通環境が整うまち	
4つの重点的に進める施策との関係	4. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる	
取り組みの方向	4-① 交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。 4-② 交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。 4-③ 日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。	

施策の推進に要したすべての費用	約106億7668.3万円
-----------------	---------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
4-① 幹線道路整備事業	交通渋滞を緩和するとともに、安全な交通環境確保するため、市域中心部と東部地域を結ぶ枚方藤阪線や市域北部の東西幹線道路である牧野長尾線その他、御殿山駅と小倉東町地区を結ぶ御殿山小倉線等の整備を推進	3,077,078
4-① 京阪本線連続立体交差事業	交通渋滞を緩和するとともに、安全な交通環境を整えるため、枚方公園駅付近～香里園駅付近の連続立体交差化を進め、都市交通の円滑化と分断されていた市街地の一体化を図るため、用地取得を推進	5,401,922
京阪本線連続立体交差事業 4-① 関連光善寺駅周辺まちづくり事業	市街地再開発事業の実現に向け引続き技術的支援や補助金による財政的支援、交付金要望等の行政支援を行うとともに、市街地再開発組合の設立に向けた認可申請手続きを実施	96,017
4-① 京阪電鉄樟葉駅前ロータリー渋滞解消整備計画策定・推進事業	朝夕の通勤、通学の時間帯の樟葉駅前ロータリー内で発生する交通渋滞によって、路線バスの運行に支障が出ている状況であるため、現地調査結果をもとにソフト面、ハード面の双方から対策を検証し、基本設計案のとりまとめを実施	10,751
4-① 道路施設維持管理事業	道路利用者の安全で快適な通行を確保するため、道路パトロールや依頼・要望による補修箇所把握及び工事、街路樹等の除草清掃委託作業等、道路施設の維持補修を実施	1,583,502
4-② 新名神高速道路等整備促進事業	交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化等につなげるため、新名神高速道路及びそのアクセス道路となる内里高野道線などの整備に向けて、事業者であるNEXCO西日本や国、大阪府に対し働きかけを実施	0
4-② 牧野高槻線等整備促進事業	新名神高速道路の高槻ICへのアクセス強化や市内南西部の渋滞緩和、災害時における近隣市との連携及び交流機会の拡大が期待される淀川渡河橋の整備に向けて、高槻市などとの協議を行うとともに、関係機関への要望等を実施 平成29年度以降は、平成28年度に大阪府の都市整備中期計画(案)の個別事業として位置付けられた牧野高槻線(淀川渡河橋)の整備を促進するため、事業者である大阪府に早期完成を働きかけるとともに、大阪府と連携した取り組みを実施	0

4-③ 自転車通行空間・歩行空間整備事業	安全な自転車通行空間の確保を図るため、「枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」を策定し、市内主要駅において、拠点となる施設を結ぶ自転車通行空間のネットワーク化を図る路線を選定、整備を実施 幹線道路整備にあわせて歩行空間の整備を進めるとともに、生活道路において安全な歩行空間の確保を図るため、緊急性・必要性を考慮しながら歩道設置等を行い、交通安全対策を実施	257,343
4-③ 歩道フラット化整備事業	既に整備された歩道のうち、歩道改良が可能で整備効果が高い路線を選定。整備計画を作成し、歩道フラット化整備工事を実施。だれもが安全で安心して円滑に移動できる歩行空間を確保	17,640
4-③ 交通安全啓発事業	小学生を対象とした子どもの交通安全教室を民間へ委託し、全45小学校において自転車・歩行の安全教室を実施。また、中学生を対象としたスケアードストレート交通安全教室を民間へ委託し、試行開催、効果検証後、全市立中学校での開催を目指し本格実施	232,430

（主観的指標の推移）	【満足度】 安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	【重要度】 安全で快適な交通環境を整えるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績	目標	単位	実績	-
	%	H27 → R1(H31)	R1(H31)	%	H27 → R1(H31)	-
	27.6 → 30.2	32.6		67.4 → 66.3	-	

（客観的指標の推移）	4-① 幹線道路の整備率	4-③ 交通事故件数（車両）【社会指標】				
	指標の説明	国道、府道を含む幹線道路の整備延長距離／計画延長距離	指標の説明	市内で発生した車両が関わる交通事故件数		
	単位	実績	目標	単位	実績	めざすべき方向
	%	H27 H28 H29 H30	R1(H31)	件	H27 H28 H29 H30	R1(H31)
	60.6 60.6 60.6 60.2	64.1		1,601 1,584 1,500 1,340	↘	

（客観的指標の推移）	4-② 国道1号における交通量【社会指標】	4-③ 歩道の設置延長距離				
	指標の説明	国道1号における交通量（1日あたり・12時間調査）	指標の説明	市道における歩道設置延長距離		
	単位	実績	めざすべき方向	単位	実績	目標
	台	H27 H28 H29 H30	R1(H31)	km	H27 H28 H29 H30	R1(H31)
	45,841 44,286 44,651 45,066	↘		116.6 116.6 116.6 117.1	118	

(客観的指標の推移) 施策指標の推移	4-③ 交通事故件数（歩行者・自転車）【社会指標】					4-③ 交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数					
	指標の説明		市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数			指標の説明		自転車や歩行者などの交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数			
	単位	実績				めざすべき方向	単位	実績			
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	548	517	489	450	↘	人	20,788	22,848	24,597	23,411	20,000

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

- ・主観的指標「安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して2.6ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については、平成27年度と比較して1.1ポイント下落しています。
- ・【生活道路の改善】として、幹線道路整備事業や京阪本線連続立体交差事業などに取り組みました。施策指標「幹線道路の整備率」については、計画距離が延長されたことから、平成29年度と比較して0.4ポイント減少していますが、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進めていきます。
- ・【広域的な幹線道路等の整備】として、新名神高速道路等整備促進事業や牧野高槻線等整備促進事業などに取り組みました。施策指標「国道1号における交通量」については、策定時の値(46,910台)と比較して1,844台減少しており、めざすべき方向に沿った推移をしています。
- ・【自転車や歩行者の交通安全意識の向上】として、自転車通行空間・歩行空間整備事業や交通安全啓発事業などに取り組みました。施策指標「歩道の設置延長距離」については、平成27年度に目標値を達成したため、新たに目標値を設定し、引き続き取り組みを進めています(※当初目標値116km)。一方、「交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値と逆方向に推移した指標もあるものの、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇しています。一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みが必要です。

また、施策評価員から「交通網の整備に関する国の動向も視野に入れ、交通アクセスを整備していただきたい。また、交通渋滞の緩和は、環境にも良い影響が出ると思うので、引き続き取り組みを進めていただきたい」との意見をいただいております。今後は、新名神高速道路の開通に合わせて、アクセス道路の早期完成に向けた府や関係機関への働きかけを継続するとともに、市内の交通渋滞解消に向けた、都市計画道路の整備等を計画的に進めます。

総括評価シート

基本目標	安全で、利便性の高いまち	所管部 環境部 都市整備部 土木部
施策目標	5. 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	
4つの重点的に進める施策との関係	4. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる	
取り組みの方向	5-① 市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図るため、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進します。 5-② 利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正に配置し、効率的・効果的な都市整備を進めます。 5-③ 今後、増加することが見込まれる管理不良な空き家・空き地の発生抑制などを図るため、空き家・空き地の適正管理及び活用を促進します。	

施策の推進に要したすべての費用	約1億5675.5万円
-----------------	-------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
5-① 公共交通環境整備事業	交通事業者とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策の推進に向けた「枚方市総合交通計画」を策定。バリアフリー基本構想に基づいた事業を実施。また、公共交通利用促進のイベントや出前講座等で、枚方ポイント制度とも連携し、ICカード利用についてPRを実施	69,217
5-① 【再掲】 京阪電鉄樟葉駅前ロータリー渋滞解消整備計画策定・推進事業	朝夕の通勤、通学の時間帯の樟葉駅前ロータリー内で発生する交通渋滞によって、路線バスの運行に支障が出ている状況であるため、現地調査結果をもとにソフト面、ハード面の双方から対策を検証し、基本設計案のとりまとめを実施	10,751
5-① 公共交通利用促進啓発事業	市内の交通渋滞解消を図るため、市民や事業者等とともに公共交通の利用促進に向けた啓発を実施	4,207
5-② 都市計画マスタープラン改定・推進及び立地適正化計画作成・推進事業	人口減少や土地利用状況の変化など社会情勢の変化に対応したまちづくりを進めるため、都市計画マスタープランを改定。都市機能の集約化等に向けた立地適正化計画を作成。計画に基づく取り組みを推進	14,873
5-② 土地区画整理事業支援事業	土地区画整理事業に関する専門的・技術的な事項に関する助言・指導を行い、事業の認可及び認可の為の調査、事業工程等に関する協議・調整を実施	61
5-③ 空き家・空き地対策推進事業	空き家・空き地の適正管理及び活用を促進するため、老朽化し危険な状態になっている特定空家等に対する措置を実施。枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例の制定。空き家の活用を含めた「枚方市空家等対策計画」を策定	20,422
5-③ 三世代家族・定住促進事業	親世帯と子育て世帯や若年夫婦世帯が市内で同(近)居することに対して、住宅リフォームや購入費用を助成するとともに、マイホーム借上げ制度の普及に向けた市民向け説明会や個別相談会を実施	37,505

【主観的指標の推移】	【満足度】 公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合				【重要度】 快適で暮らしやすい環境を備えるための施策が重要だと思う市民の割合			
	単位	実績		目標	単位	実績		-
		H27		R1(H31)		H27		R1(H31)
	%	37.8	→	41.9	42.8	%	63.4	→

(客観的指標の推移)	5-① 公共交通利用促進啓発イベントの参加者数						5-① 京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合【社会指標】															
	指標の説明			鉄道やバスなど公共交通の利用を促進する啓発イベントの参加者数(累計)			指標の説明			京阪バスの主要停留所(枚方市駅、樟葉駅、長尾駅)における乗降客数(日あたり)/市域人口												
	単位		実績				目標		単位		実績				めざすべき方向							
			H27		H28		H29		H30		R1(H31)				H27		H28		H29		R1(H31)	
	人		1,397		2,217		4,037		4,530		4,000		%		15.6		15.8		15.8		算定中	↗
	5-② 鉄道駅利用者の市域人口に対する割合【社会指標】						5-③ 特定空家等に指定した空家等の改善率															
	指標の説明			市内鉄道駅(京阪電鉄9駅、JR片町線3駅)の乗降客数(日あたり)/市域人口			指標の説明			周囲への危険性が高いと市が判断して「特定空家等」と認めた物件のうち、危険が取り除かれ指定の解除に至った数/「特定空家等」と認めた物件の数												
	単位		実績				めざすべき方向		単位		実績				目標							
		H27		H28		H29		H30		R1(H31)				H27		H28		H29		H30		R1(H31)
%		70.3		71.3		70.2		71.4		↗		%		-		-		0		100		100

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して4.1ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については0.7ポイント下落しています。

・【公共交通機関の利用促進】として、公共交通環境整備事業や公共交通利用促進啓発事業などに取り組みました。施策指標「京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合」については、策定時の値(15.2%)と比較して0.6ポイント上昇しており、めざすべき方向に沿った推移をしています。また、公共交通利用促進啓発イベントの参加者数については、既に目標値を達成しています。

・【効率的・効果的な都市整備の推進】として、都市計画マスタープラン改定・推進及び立地適正化計画作成・推進事業や土地区画整理事業支援事業などに取り組みました。施策指標「鉄道駅利用者の市域人口に対する割合」については、策定時の値(69.3%)と比較して2.1ポイント上昇しており、めざすべき方向に沿った推移をしています。

・【空き家・空き地の適正管理及び活用促進】として、空き家・空き地対策推進事業や三世帯家族・定住促進事業などに取り組みました。施策指標「特定空家等に指定した空家等の改善率」については、目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、いずれも目標値を達成しており、また、社会指標についてもめざすべき方向に向かって推移していることから、施策の成果はあったと考えられます。主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇しています。一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みを行っていく必要があります。

また、施策評価員から「高齢化社会の進展などから、公共交通利用の必要性は更に高まると思われるが、一方でバスやタクシーのドライバーの人手不足など別の観点も考慮する必要がある」との意見をいただいております。今後は、自動運転等の次世代交通システムの構築に向けた検討を進めます。

総括評価シート

基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所管部 健康部 社会教育部
施策目標	6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	
4つの重点的に進める施策との関係	3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる	
取り組みの方向	6-① 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、多彩な連携事業の展開を通じて、市民の健康増進を図ります。 6-② 誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制の充実を図ります。 6-③ あらゆる世代の人が、いつでも気軽にスポーツなどの健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。 6-④ 各種健（検）診の受診者を増やす取り組みなどを通じて生活習慣病をはじめとする疾病の予防・早期発見を進めるとともに、食育や歯科口腔保健の推進を図ります。 6-⑤ こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みを進めます。 6-⑥ 難病に対する理解を深めるとともに、医療や介護、福祉の連携を図りながら、難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。 6-⑦ 薬物による健康被害を防ぐため、薬物乱用防止に向けた取り組みを進めます。	

施策の推進に要したすべての費用	約38億8658.4万円
-----------------	--------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
6-① 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業	三師会や市内の公的病院、医療系大学、行政などで構成する「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、講演会やイベント、研修等、多様な連携事業を実施	1,080
6-② 健康づくり推進事業	健康に関するイベントなどにより啓発を推進、家庭や地域に健康づくりの取り組みを広める健康づくりボランティアの養成などを実施。第2次枚方市健康増進計画の中間評価として、中間評価報告書を作成。	7,353
6-② 市民の健康を支える地域拠点整備事業	妊娠・出産から子育て期、さらには高齢期までの切れ目のない支援を提供する拠点（すこやか健康相談室 北部リーフ）を北部支所内に整備し、窓口相談、妊娠届出の他、家庭訪問や出前講座など、地域の実情に応じた支援を実施	12,511
6-② 健康・医療電話相談事業	健康・医療に関する電話相談窓口（医師・保健師・看護師等が24時間対応）を委託により設置。出前講座等での周知を実施。周知用のチラシやマグネットを配布	78,654
6-② 糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病重症化予防のため、対象者へ半年間の糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施。プログラム修了者へのフォローアップ支援を実施するとともに、利用されなかった方へ医療機関の受診継続促進通知等の送付を実施	15,002
6-② ヘルシーメニューの開発支援など飲食店を通じた健康づくり推進事業	枚方市独自の基準設定をしたヘルシーメニューを参加飲食店と開発し、提供を実施。ガイドブックを作成し、市民へ周知を実施。利用促進を目的にスタンプラリー等を実施	1,800
6-③ 総合スポーツセンター駐車場拡張事業	総合スポーツセンター駐車場の容量不足の解消を図るため、事業用地を買戻し、第2駐車場の整備工事を実施。第1・第2駐車場の有料化に向け、関係条例の改正を実施。駐車場管理運営業務を指定管理業務に含めて指定管理者を指定	1,418,349
6-③ 枚方市スポーツ推進事業	スポーツ推進に向けた取り組みの基本的な方向性を示す「枚方市スポーツ推進計画」を策定。スポーツ推進審議会点検・評価を実施しながら、目標達成に向けて関係部署と連携を図り事業を実施	6,853

6-③ 各種スポーツ大会・レクリエーション開催事業	市民の健康増進・体力向上を図り、スポーツ活動の普及・促進に取り組むため、各種競技大会、スポーツイベントや各種スポーツ教室を実施	117,791
6-④ 特定健康診査・特定保健指導推進事業	生活習慣病などの早期発見のため、40歳以上75歳未満の本市国民健康保険被保険者に対し、「特定健康診査」を行い、健診結果に応じて個別に生活指導を行う「特定保健指導」を実施。「第3期特定健康診査等実施計画・第2期データヘルス計画」の策定と計画の推進	839,308
6-④ スマホ等の活用による特定健診早期介入保健指導事業	40歳代の特定健診受診率向上を目的に、35歳～39歳の国保被保険者を対象にスマホ等を活用した検診の実施。受診者へ検査結果に応じた健康情報を配信するとともに、利用者のうち特定健康診査の対象者へメール等による受診勧奨を実施	9,202
6-④ 住民健康診査事業	保健センター直営で集団健診として実施している住民健康診査を、平成28年6月から枚方市医師会に委託し、市内の医療機関で個別健診として実施できるように拡充し、受診機会の拡大を推進。	27,747
6-④ 各種がん検診推進事業	がん検診の受診率向上を図るため、胃がん検診に内視鏡検査の導入を実施。対象者に肝炎ウイルスの検診無料クーポン券の郵送を実施	1,257,699
6-④ 歯科口腔保健推進事業	歯科口腔保健の取り組みを推進するため、「枚方市歯科口腔保健計画」に基づき、後期高齢者歯科検診検査の無料化や障害者（児）施設歯科健康診査等の実施	47,069
6-④ 新生児聴覚検査事業	新生児聴覚検査を委託医療機関で受診した場合に、検査の種類に応じた検査費用を助成。委託医療機関以外で受診した場合には、申請により償還を実施	4,595
6-④ 食育推進事業	食育の普及啓発を図るため、「第3次枚方市食育推進計画」を策定。枚方市食育推進ネットワーク会議における情報交換を推進するとともに、市民の食育への関心を高めるためイベント等を実施	5,300
6-⑤ こころの健康相談事業	こころの病気の早期発見・早期対応、精神的健康の保持増進をめざし、保健師や精神保健福祉士などによるこころの健康相談等を実施。関係機関と連携し自殺未遂者やその家族への早期支援を実施	7,960
6-⑤ 自殺予防対策事業	相談員による専用電話相談の実施や、市職員などを対象にゲートキーパー育成等のため養成研修を実施。街頭啓発キャンペーンを実施。「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）」の策定	10,285
6-⑥ 難病対策事業	難病患者に対する医療費助成の申請受理の他、医療・介護・福祉分野等の関係機関が連携して対策に取り組めるようネットワークの強化等を実施	15,801
6-⑦ 薬物乱用防止啓発事業	枚方市薬物乱用防止連絡会及び参画団体との連携による講演会、薬物乱用防止に向けた街頭キャンペーンや市民向け講座、大学での啓発活動を実施。市内全小学校に啓発書籍を寄贈。	2,225

(主観的指標の推移)	【満足度】 心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合					【重要度】 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らすための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績			-
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-
%	52.4	→	56.1	57.4	%	66.3	→	64.9	-	

(客観的指標の推移)	6-① コンソーシアム連携事業への参加人数					6-② 健康づくりに関する教室・講演会への参加者数					
	指標の説明		健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加人数(会議を除く研修会講習会への参加人数)			指標の説明		ウォーキングなど健康づくりに関する教室・講演会への参加者数			
単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	14,022	15,266	11,876	5,808	11,800	人	17,023	13,957	13,892	12,055	16,800

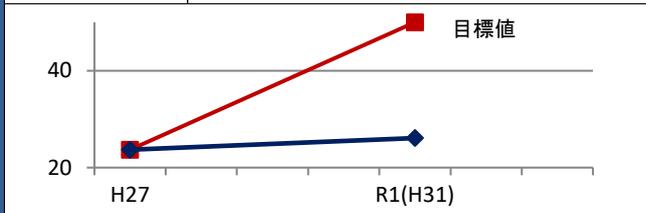
(客観的指標の推移)	6-③ スポーツイベントの参加者数					6-④ 特定健康診査受診率					
	指標の説明		各種スポーツ教室など地域におけるスポーツイベントの参加者数			指標の説明		高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受診者/対象者(国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者)			
単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	37,136	39,298	41,477	43,275	47,000	%	32.2	33.5	33.5	35.3	40

(客観的指標の推移)	6-④ 大腸がん検診受診率					6-⑤ こころの健康相談の相談件数					
	指標の説明		市が実施する大腸がん検診の受診者/対象者(40歳以上70歳未満の者)			指標の説明		うつ病などこころの病気について医療に係る相談を実施するこころの健康相談件数			
単位	実績				目標	単位	実績				めざすべき方向
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	9.0(旧基準: 22.4)	8.3(旧基準: 21.3)	7.7	7.7	40	件	3,840	4,736	4,659	6,471	↗

（客観的指標の推移）
施策指標の推移

6-⑤ こころの病気に関する相談窓口を知っている市民の割合

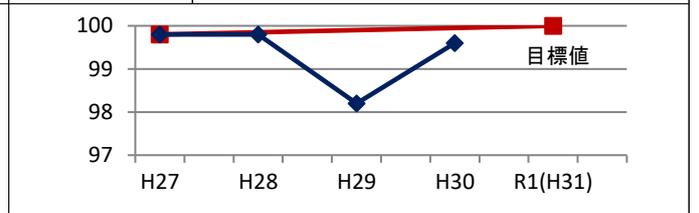
指標の説明 (市民意識調査により把握)



単位	実績			目標
	H27		R1(H31)	R1(H31)
%	23.7	→	26.1	50

6-⑥ 指定難病医療費助成制度更新申請者の療養状況把握

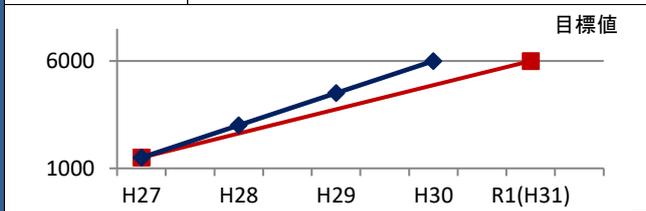
指標の説明 療養状況を把握できた者の数/指定難病医療費助成制度更新申請者数



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	99.8	99.8	98.2	99.6	100

6-⑦ 薬物乱用防止に向けた支援件数（累計）

指標の説明 薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配布数（累計）



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
枚	1,500	3,000	4,500	6,000	6,000

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

- ・主観的指標「心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して3.7ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については1.4ポイント下落しています。
- ・【市民の健康増進の推進】として、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業などに取り組みました。施策指標「コンソーシアム連携事業への参加人数」については、平成29年度に目標値を達成したものの、平成30年度は災害の影響でイベントが中止となり、参加者数が減少しました。
- ・【健康増進に関する情報提供や相談体制の充実】として、健康づくり推進事業や健康・医療電話相談事業などに取り組みました。施策指標「健康づくりに関する教室・講演会への参加者数」については、平成28年度以降目標値と逆方向に推移しており、引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【健康づくりに取り組むことができる環境づくり】として、枚方市スポーツ推進事業や各種スポーツ大会・レクリエーション開催事業などに取り組みました。施策指標「スポーツイベントの参加者数」については、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【疾病予防・早期発見の推進、食育や歯科口腔保健の推進】として、特定健康診査・特定保健指導推進事業や各種がん検診推進事業などに取り組みました。施策指標「特定健康診査受診率」については、平成27年度以降目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みの推進】については、こころの健康相談事業や自殺予防対策事業などに取り組みました。施策指標「こころの健康相談の相談件数」については、策定時の値(3,169件)と比較して3,302件増加しており、現時点でのめざすべき方向に沿った推移をしています。また、「こころの病気に関する相談窓口を知っている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して2.4ポイント上昇しています。
- ・【難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり】として、難病対策事業などに取り組みました。施策指標「指定難病医療費助成制度更新申請者の療養状況把握割合」については、平成29年度から平成30年度にかけて1.4ポイント上昇しており、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【薬物乱用に向けた取り組みの推進】として、薬物乱用防止啓発事業などに取り組みました。施策指標「薬物乱用防止に向けた支援件数」については、平成30年度に目標値を達成し、引き続き取り組みを進めています。

課題や今後の対応

9つある客観的指標のうち、6つについては、目標値等に向かって推移しています。また、1つについては、平成30年度は災害の影響で目標値を下回っていますが、平成29年度に目標値を達成しています。残り2つについては策定時の値を下回っていますが、施策全体として見れば、一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移によると、満足度については平成27年度と比較して上昇しています。一方で、平成27年度と比較して重要度は下落しており、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めていくための取り組みが必要です。

今後は引き続き、市民一人ひとりが健康に関する意識を持ち、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、医療機関や企業、スポーツ関係団体などと連携しながら、環境整備に努めます。

総括評価シート

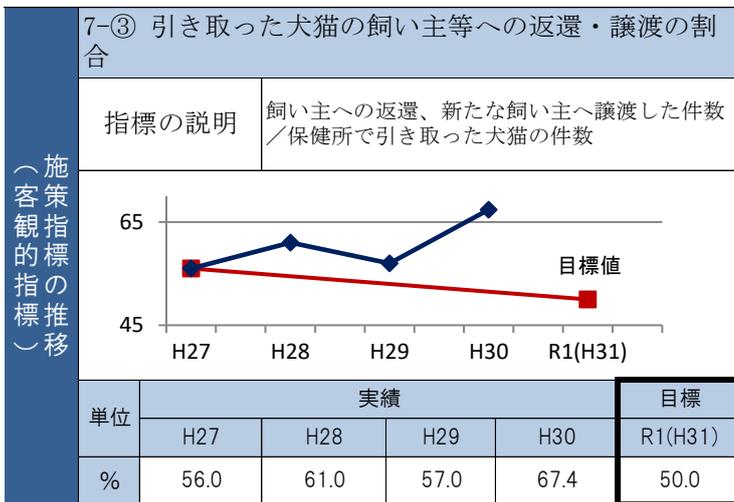
基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所管部 健康部
施策目標	7 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
4つの重点的に進める施策との関係	3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる	
取り組みの方向	7-① 感染症の予防や拡大防止対策などの強化により、健康に関する危機管理体制の充実を図ります。 7-② 安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。 7-③ 人と動物の共生を推進するため、動物の愛護・適正飼養の推進を図ります。また、殺処分される犬猫をゼロにすることをめざして、引き取り数の削減や譲渡の促進を図ります。	

施策の推進に要したすべての費用	約32億5971.6万円
-----------------	--------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
7-① 感染症対策事業	国・大阪府・関係機関と連携しながら新たな感染症対策のための体制を整備。また、結核予防に向けた取り組みや、その他感染症に対する定期予防接種の実施及び任意予防接種に対する費用助成等を実施	3,177,749
7-② 食品・生活衛生指導事業	「枚方市食品衛生監視指導計画」に基づき食品の取去を実施。生活衛生施設や食品営業施設において立入指導を実施。街頭キャンペーンや講習会等による市民及び事業者への啓発を実施	27,302
7-③ 狂犬病予防・動物愛護事業	動物の適正飼養の啓発・指導を実施。市のホームページ等での情報発信により犬・猫の譲渡を促進。動物愛護基金を設置し、猫不妊手術費用補助金交付等の動物愛護事業を拡充	54,665

(主観的指標の推移)	【満足度】 【再掲】心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	【重要度】 公衆衛生や健康危機管理を充実するための施策が重要だと思う市民の割合																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th colspan="3">実績</th> <th>目標</th> <th>単位</th> <th colspan="3">実績</th> <th>-</th> </tr> <tr> <td></td> <th>H27</th> <td></td> <th>R1(H31)</th> <th>R1(H31)</th> <td></td> <th>H27</th> <td></td> <th>R1(H31)</th> <th>-</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>52.4</td> <td>→</td> <td>56.1</td> <td>57.4</td> <td>%</td> <td>59.0</td> <td>→</td> <td>61.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	単位	実績			目標	単位	実績			-		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-	%	52.4	→	56.1	57.4	%	59.0	→	61.0	-	
	単位	実績			目標	単位	実績			-																						
	H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-																							
%	52.4	→	56.1	57.4	%	59.0	→	61.0	-																							

(客観的指標の推移)	7-① 1歳までにBCG接種を終了している者の割合	7-② 取去検査における違反・不適件数																																			
	指標の説明 結核を予防するBCGワクチンを1歳までに接種した児の数/0歳児の人口	指標の説明 食品衛生及び生活衛生に関する立入・取去検査において違反・不適であった件数																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th colspan="4">実績</th> <th>目標</th> <th>単位</th> <th colspan="4">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td></td> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1(H31)</th> <td></td> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1(H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>97.3</td> <td>97.2</td> <td>95.9</td> <td>97.5</td> <td>97.8</td> <td>件</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	単位	実績				目標	単位	実績				目標		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	%	97.3	97.2	95.9	97.5	97.8	件	2	5	1	2	0
単位	実績				目標	単位	実績				目標																										
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)																										
%	97.3	97.2	95.9	97.5	97.8	件	2	5	1	2	0																										



施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

- ・主観的指標「心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して3.7ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度についても平成27年度と比較して、2ポイント上昇しています。
- ・【健康に関する危機管理体制の充実】として、感染症対策事業などに取り組みました。施策指標「1歳までにBCG接種を終了している者の割合」については、平成29年度から平成30年度にかけて1.6ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【衛生水準を高める取り組みの推進】として、食品・生活衛生指導事業などに取り組みました。施策指標「収去検査における違反・不適件数」については、策定時の値(7件)と比較して減少しており、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【動物愛護・適正飼養の推進と犬猫の引き取り数の削減や譲渡の促進】として、狂犬病予防・動物愛護事業などに取り組みました。施策指標「引き取った犬猫の飼い主等への返還・譲渡の割合」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

3つの客観的指標のうち、1つについてはすでに目標値を達成しました。残り2つについては、目標値には達していませんが、策定時の値は上回っていることから、施策として一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度及び重要度共に平成27年度と比較して上昇していることから、必要に応じて取り組みの充実を図りながら、効率的な事業の執行を図る必要があります。

今後も引き続き、公衆衛生の向上を図り、市民が健康で安全安心なくらしができるための取り組みを推進します。

総括評価シート

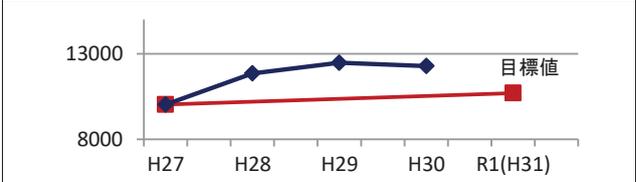
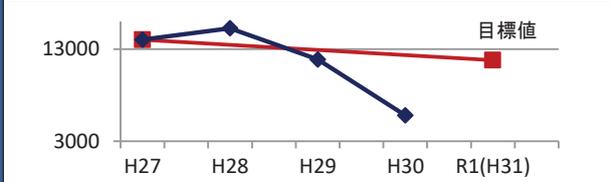
基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所 管 部 健康部 長寿社会部 市立病院
施策目標	8 安心して適切な医療が受けられるまち	
4つの重点的に進める施策との関係	3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる	
取り組みの方向	<p>8-① 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、地域医療の充実を図ります。</p> <p>8-② 地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域に必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制を構築します。</p> <p>8-③ 初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。</p> <p>8-④ 市立ひらかた病院は、地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携しながら、安全な医療の提供を進めます。</p> <p>8-⑤ 外国人や聴覚障害者など誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を進めます。</p> <p>8-⑥ 高齢者などが住み慣れた地域で、医療・介護が一体的に受けられる体制づくりを進めます。</p>	

施策の推進に要したすべての費用	約8億8129万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
8-① 【再掲】 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業	三師会や市内の公的病院、医療系大学、行政などで構成する「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、講演会や研修等、多様な連携事業を実施	1,080
8-② 地域医療連携システム構築事業	地域の病院・診療所との医療連携を強化するため、インターネット環境を利用した医療情報ネットワーク「地域医療連携システム」を構築し、患者情報や診療情報を共有化。	0
8-③ 救急医療体制・応急救護体制充実事業	救急医療体制・応急救護体制を維持するため、初期救急（北河内夜間救急センター等）から、二次救急（市立ひらかた病院等）、高度救急（関西医科大学附属病院）までの円滑な連携体制の確保に向けた取り組みと支援を実施。また、AEDを公共施設のほか、協力要請に応じた市内の24時間営業のコンビニエンスストアに設置。	806,189
8-③ 初期救急医療体制再構築事業	旧市立ひらかた病院跡地の有効活用について、初期救急医療や大規模災害時における医療救護活動の推進のため、枚方市医師会に有償譲渡する方針を定め、北河内夜間救急センターの新医師会館への移設に伴う手続き等について、庁内関係課及び医師会とそれぞれ協議を実施。	0
8-④ 【再掲】 地域医療連携システム構築事業	地域の病院・診療所との医療連携を強化するため、インターネット環境を利用した医療情報ネットワーク「地域医療連携システム」を構築し、患者情報や診療情報を共有化。	0
8-⑤ 医療通訳士登録派遣事業	外国人が安心して医療機関を利用できるように、医療通訳士を医療機関に派遣。また、医療通訳士要請講座を開催し、その一部を現任者のスキルアップ研修として実施。	12,429
8-⑥ 保健・医療・介護・福祉等連携強化事業	高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）を中心とした取り組みにより、地域ケア推進実務者連絡協議会や、自立支援型地域ケア会議（ケアマネジメントの質の向上を目的とした多職種による検討会議）を開催し、保健・医療・介護・福祉・地域住民等の円滑な相互連携の強化を推進	61,592

（主観的指標の推移）	【満足度】 安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると 感じている市民の割合				【重要度】 安心して適切な医療が受けるための施策が重要だと思 う市民の割合					
	単位	実績			目標	単位	実績			-
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-
	%	62.5	→	49.6	67.5	%	74.3	→	74.9	-

8-① 【再掲】 コンソーシアム連携事業への参加人数		8-②④ 地域医療機関から市立病院への紹介件数	
指標の説明	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加人数(会議を除く研修会講習会への参加人数)	指標の説明	地域医療機関から市立病院への患者の紹介件数

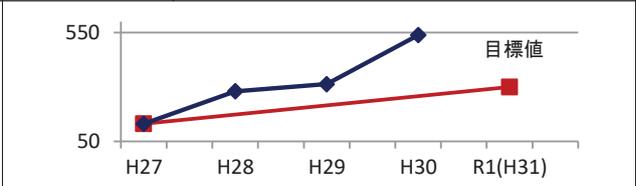
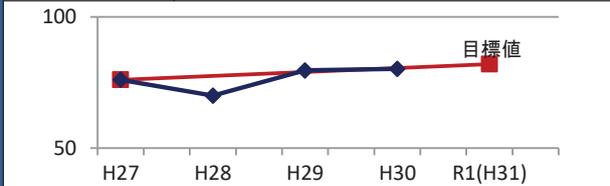


単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	14,022	15,266	11,876	5,808	11,800

単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	10,033	11,862	12,479	12,289	10,700

（客観的指標の推移）

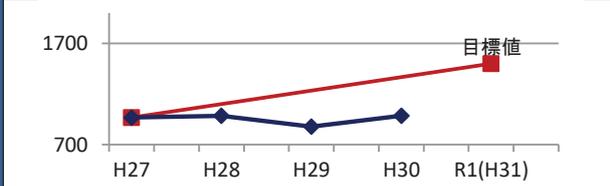
8-③ 北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率		8-⑤ 医療通訳士の利用件数	
指標の説明	入院に至った件数/夜間21～6時における北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送された患者数	指標の説明	外国人住民等が市内対象医療機関を受診する際の医療通訳士の利用件数



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	76.0	70.0	79.6	80.2	82.0

単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	131	280	313	538	300

8-⑤ 医療機関への手話通訳の派遣件数	
指標の説明	聴覚障害者が医療機関を利用する際の手話通訳の派遣件数



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	967	984	877	985	1,500

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して12.9ポイント下落しており、目標値には至りませんでした。一方、重要度については平成27年度と比較して0.6ポイント上昇しています。

・【地域医療の充実】として、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業などに取り組みました。施策指標「コンソーシアム連携事業への参加人数」については、平成29年度に目標値を達成したものの、平成30年度は災害の影響でイベントが中止となり、参加者数が減少しました。

・【市民の医療ニーズに対応した医療体制の構築】として、地域医療連携システム構築事業などに取り組みました。施策指標「地域医療機関から市立病院への紹介件数」については、目標値を達成しています。

・【応急救護体制の充実】として、救急医療体制・応急救護体制充実事業や初期救急医療体制再構築事業などに取り組みました。施策指標「北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率」については、策定時の値(80.8%)と比較して0.6ポイント下落しており、目標値の達成に向けて、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【地域の医療機関と連携した安全な医療の提供の推進】として、地域医療連携システム構築事業などに取り組みました。

・【誰もが安心して医療を受けることができる環境整備の推進】として、医療通訳士登録派遣事業などに取り組みました。施策指標「医療通訳士の利用件数」については、既に目標値を達成しています。一方、「医療機関への手話通訳の派遣件数」については、平成29年度から平成30年度にかけて108件増加したものの、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

・【住み慣れた地域で医療・介護が一体的に受けられる体制づくりの推進】として、保健・医療・介護・福祉等連携強化事業などに取り組みました。

課題や今後の対応

5つの客観的指標のうち、2つについては既に目標値を達成しました。残り3つについて、1つが平成30年度は災害の影響で目標値を下回っていますが、平成29年度に目標値を達成しています。また、2つは目標値の達成には至っていないものの、平成27年度の値と比較して上昇しており、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。

主観的指標の推移によると、満足度については平成27年度の値と比較して下落しています。一方で、重要度については平成27年度の値と比較して上昇していることから、その要因を分析し、市民の満足度を高めるために、重点的な取り組みを行っていく必要があります。

今後は、在宅医療と介護の連携強化により、高齢者が住み慣れた地域で自ら望む暮らしを続けることができるよう取り組むとともに、生涯にわたってアクティブに活躍ができるよう、市立ひらかた病院において、関節外科疾患に関する取り組みを進めます。

総括評価シート

基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所管部 健康部 長寿社会部 子ども青少年部
施策目標	9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	
4つの重点的に進める施策との関係	3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる	
取り組みの方向	<p>9-① 保健・医療・介護・福祉等の連携強化を図り、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備をめざします。</p> <p>9-② 認知症高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。</p> <p>9-③ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、生活支援サービスの充実を図ります。</p> <p>9-④ 介護が必要となった時に質の高い介護サービスが受けられるよう、介護保険施設等の基盤整備を進めます。</p> <p>9-⑤ 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。</p> <p>9-⑥ 高齢者が生きがいを持って生活できるよう、高齢者の技能・経験を生かせる活躍の場や若者との世代間交流の場の確保など社会参加を促進します。</p> <p>9-⑦ 大阪府の「スマートエイジング・シティ」構想との連携など、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。</p>	

施策の推進に要したすべての費用

約25億8718.9万円

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
【再掲】 9-① 保健・医療・介護・福祉等連携強化事業	高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）を中心とした取り組みにより、地域ケア推進実務者連絡協議会や、自立支援型地域ケア会議（ケアマネジメントの質の向上を目的とした多職種による検討会議）を開催し、保健・医療・介護・福祉・地域住民等の円滑な相互連携の強化を推進	61,592
9-② 認知症総合支援事業	認知症高齢者が地域の中で尊厳を保ち安心して暮らせるよう、認知症サポーターの養成、認知症ケアパスの配付、認知症初期集中支援チームによる支援を実施。また、「認知症カフェ」を設立する法人・個人に対し、カフェの立ち上げによるスタッフの研修・人材育成等に係る経費を補助	10,450
9-② 市民後見推進事業	認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加により、親族以外で後見業務を行う第三者後見人としての市民後見人を養成する講座を開催。また、市民後見バンクに登録された市民後見人に対する研修を行う等、円滑な市民後見活動を行うことができるよう継続した支援を実施	4,513
9-③ 高齢者在宅生活援助事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、ひとり暮らし等の在宅高齢者に対し緊急通報装置や日常生活用具の貸与、訪問理美容サービス等を実施	142,342
9-③ 介護予防・生活支援サービス事業	介護保険制度改正に伴い、要支援状態の維持・向上に向けた従来のサービスに加え、生活援助訪問事業、活動移動支援事業、通院等移動支援事業、教室型通所事業、リハ職訪問通所指導事業、リハ職行為評価事業、栄養士派遣指導事業等、市独自のサービスを実施	1,475,411
9-④ 広域型老人福祉施設等整備事業	老朽化した老人福祉施設等の建て替えや、既存の老人福祉施設等を増築する費用の一部を補助。「ひらかた高齢者保健福祉計画21」に基づき、既存広域型特別養護老人ホームの増築等（95床）を行う事業者の公募を行い、整備事業候補者を選定	219

9-④ 公的介護保険施設等基盤整備補助事業	「ひらかた高齢者保健福祉計画21」に基づき、地域密着型特別養護老人ホームなどの整備事業者を公募の上選定し、整備に係る補助金を交付	483,716
9-⑤ 介護予防事業	連続講座「生きがい創造学園」や、介護予防拠点での「エクサルク教室」、身近な場所での「元気はつらつ健康づくり事業」など、様々な講座や教室を開催。出前講座、体操マスター教室など、「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及啓発と身近な場所で体操を継続できる支援を実施	142,612
9-⑤ 高齢者居場所づくり助成事業	地域での交流・活動・介護予防の拠点となる居場所づくりの推進のため、初期費用の助成を実施	16,825
9-⑤ 高齢者外出支援事業	要介護状態への進行を予防し、高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、高齢者外出支援カードの配布や交通系ICカードの購入等費用の一部助成を実施	79,583
9-⑤ 高齢者お出かけ推進事業	平成31年度からの事業開始に向けて「高齢者お出かけ推進手帳」等を作成。65歳以上の市民を対象に『高齢者お出かけ推進手帳』を配付し、高齢者の外出支援につながる事業等に参加した市民に、「高齢者専用ポイント」を付与。	578
9-⑤ 認知症予防プログラム推進事業	認知症予防の方法を身近な地域において展開できるように、大阪精神医療センターと共同で枚方版認知症予防プログラムを推進し、教室や連続講座を開催	0
9-⑥ 高齢者社会参加促進事業	介護予防や生きがいづくりにつなげるため、住み慣れた地域で住民主体によりレクリエーション等の活動を行う「街かどデイハウス」の運営経費の一部を補助。高齢者が介護保険施設等で介護予防サポーター活動を行い、取得したポイントを商品券などと交換できる「ひらかた生き生きマイレージ」を実施	169,348
9-⑥ 保育所(園)・幼稚園における世代間交流事業	高齢者と保育所・幼稚園の子どもたちとの世代間交流を図るため、園行事への高齢者の招待や、「敬老のつどい」や「いきいきサロン」への園児の参加等の取り組みを実施	0
9-⑦ 高齢者等在宅生活環境整備連携事業	高齢者が住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らすことができるよう、大阪府の「スマートエイジング・シティ」構想との連携などの取り組みを進めるための情報収集	0

(主観的指標の推移)	【満足度】 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合					【重要度】 高齢者が地域でいきいきと暮らすための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績			-
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-
	%	27.5	→	30.0	32.5	%	65.1	→	63.3	-

(客観的指標の推移)	9-② 認知症サポーター養成講座の参加者数 (累計)					9-③ 介護保険給付に占める在宅サービスの割合						
	指標の説明	認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を学ぶ認知症サポーター養成講座の参加者数 (累計)				指標の説明	居宅サービス及び地域密着型サービス給付費合計 / 介護保険給付費					
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	15,788	18,738	21,126	22,897	25,700	%	69.5	70.7	71.3	71.0	71.9	

(客観的指標の推移)	9-④ 介護保険施設等の施設数					9-⑤ 介護予防教室等の参加率						
	指標の説明	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の施設数				指標の説明	介護予防教室等の参加者数 / 65歳以上の人口					
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
施設	81	81	83	85	89	%	24.8	22.9	20.9	22.8	16	

(客観的指標の推移)	9-⑥ ひらかた生き生きマイレージ (介護予防ポイント事業) による活動件数					
	指標の説明	ひらかた生き生きマイレージ事業において65歳以上の高齢者が介護保険施設等でサポーター活動を行う件数				
	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	2,553	3,778	4,504	4,079	3,900	

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

- ・主観的指標「高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して2.5ポイント上昇していますが、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度については、平成27年度と比較して1.8ポイント下落しています。
- ・【高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備】として、保健・医療・介護・福祉等連携強化事業などに取り組みました。
- ・【認知症高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくり】として、認知症総合支援事業や市民後見推進事業などに取り組みました。施策指標「認知症サポーター養成講座の参加者数」については、平成29年度に目標値を達成したため、新たに目標値を設定し、引き続き取り組みを進めています（※当初目標値20,300人）。
- ・【生活支援サービスの充実】として、高齢者在宅生活援助事業や介護予防・生活支援サービス事業などに取り組みました。施策指標「介護保険給付に占める在宅サービスの割合」については、平成29年度に目標値を達成したため、新たに目標値を設定し、引き続き取り組みを進めています（※当初目標値70.8%）。
- ・【介護保険施設等の基盤整備】として、広域型老人福祉施設等整備事業や公的介護保険施設等基盤整備補助事業などに取り組みました。施策指標「介護保険施設等の施設数」については、策定時の値(80施設)と比較して5ポイント上昇しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。
- ・【介護予防の推進】として、介護予防事業や高齢者居場所づくり助成事業などに取り組みました。施策指標「介護予防教室等の参加率」については、既に目標値を達成しています。
- ・【高齢者の社会参加の促進】として、高齢者社会参加促進事業や保育所(園)・幼稚園における世代間交流事業などに取り組みました。施策指標「ひらかた生き生きマイレージ(介護予防ポイント事業)による活動件数」については、既に目標値を達成しています。
- ・【安心して暮らせる環境づくりの推進】として、高齢者等在宅生活環境整備連携事業などに取り組みました。

課題や今後の対応

5つの客観的指標のうち、3つは目標値の達成には至っていないものの、策定時の値と比較して上昇しています。また、残り2つについても、既に目標値を達成していることから、施策として一定の成果があったと考えられます。主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度の値と比較して上昇しています。一方で、重要度については平成27年度の値と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みが必要です。

また、施策評価員から「高齢者を対象とした事業の実施にあたっては、手続等のさらなる簡素化を図っていただきたい。また、高齢者の外出支援なども推進する必要がある」との意見をいただいております。今後は、外出機会を増やすためのきっかけづくりや健康づくりに資する活動の場の提供にさらに取り組むなど、健康寿命の延伸や介護予防、認知症対策などの取り組みを引き続き進めます。

総括評価シート

基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所 管 部 福祉部
施策目標	10 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
4つの重点的に進める 施策との関係		
取り組みの方向	10- 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。 ① 10- 障害者が地域で安心して暮らせる環境をつくるため、障害への理解の促進や地域との交流の場の提供を図ります。 ②	

施策の推進に要したすべての費用	約4億8426.8万円
-----------------	-------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
10- ① 障害者社会参加促進事業	障害者の社会参加の促進を図るため、屋外での移動が困難な障害者に対するガイドヘルパーの派遣、日中活動系の障害福祉サービス事業者に対する運営補助を実施。また、グループホームの新規開設・定員増に加え、既存施設へのスプリンクラー等の整備補助を実施	34,233
10- ① 障害者就労支援事業	一般就労を希望する障害者に対し、地域の就労支援関係機関と連携しながら、就労マッチングから職場定着までの支援を実施。またハローワークや枚方市障害者就業・生活支援センターと協力し、障害者合同就職面接会（エル・フェスタinひらかた）を開催	7,940
10- ① 日中一時支援事業	障害者（児）を介護する方の一時的な休息等を主たる目的として、1日から短時間、障害者（児）及び難病患者等の排せつ、食事の介護、放課後等の見守りを実施。平成29年度からは制度拡充を行い、利用者が増加	94,796
10- ① 重症心身障害者宿泊訓練事業	在宅で暮らす重症心身障害者の介護を主に担っている保護者（親等）の高齢化を見据え、自宅以外で過ごせる場（グループホーム等）が確保され、その利用に慣れることができるよう、重症心身障害者を対象に宿泊訓練を実施する障害福祉サービス事業者に対し、補助を実施	1,077
10- ① 重度障害者コミュニケーション支援事業	コミュニケーションを円滑に図ることができない重度障害者が入院した際に、障害者本人を日頃から介護している事業者を派遣することにより、医療機関とのコミュニケーションを円滑に実施	14
10- ① 視覚障害者に対する同行援護事業	介護保険サービスでは受けることのできない代読・代筆等の院内支援を、障害福祉サービスである同行援護の利用で、視覚障害のある要介護・要支援認定者等の通院の利便性を向上	316,647
10- ① 障害者歯科診療充実事業	枚方市歯科医師会により実施されている「障害者（児）歯科診療」（毎週木曜日午後1時～5時）について補助を実施。平成30年10月より、土曜日（月2回）にも診療日が拡充されたことから、補助額を増額し、障害者（児）歯科診療の受診機会を確保	29,296
10- ② 障害者理解促進・地域生活支援事業	障害のある人が地域でいきいきと活動できる社会実現を目指すイベント「ほっこりひらかた」を実施。また、地域活動支援センターを拠点に、創作・生産活動の機会の提供のほか、相談支援等のサービスを実施	265

（主観的指標の推移）	【満足度】 障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合					【重要度】 障害者が自立し、社会参加ができるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績			-
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-
	%	23.9	→	23.9	26.9	%	59.6	→	57.4	-

（客観的指標の推移）	10-① 障害者のグループホーム利用者数					10-② 地域活動支援センター事業の利用者数					
	指標の説明	障害者が地域で共同生活するグループホームの実利用者数（月あたり）				指標の説明	障害者の日中活動や地域との交流の場である地域活動支援センターの利用者数				
	単位	実績				目標	単位	実績			
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	310	332	338	366	349	人	44,230	42,632	40,611	39,081	43,653

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して変化はないものの、目標値を3.0ポイント下回っています。また、重要度についても、平成27年度と比較して2.2ポイント下落しています。

・【障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進】として、障害者社会参加促進事業や日中一時支援事業などに取り組みました。施策指標「障害者のグループホーム利用者数」については、すでに目標値を達成しています。

・【障害者が地域で安心して暮らせる環境づくり】として、障害者理解促進・地域生活支援事業などに取り組みました。施策指標「地域活動支援センター事業の利用者数」については、目標値と逆方向に推移しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、2つのうち1つは目標値と逆方向に推移している一方で、1つは既に目標値を達成しました。また、主観的指標の推移によると、平成27年度の値と比較して満足度に変化はないものの、重要度については下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みを行っていく必要があります。

今後は、障害者が地域社会でその人らしく生活を継続できるよう、情報収集や意思疎通を図る上での課題を解消する取り組みを進めていきます。

総括評価シート

基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所 管 部 市長公室 長寿社会部 福祉部
施策目標	11 すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
4つの重点的に進める 施策との関係		
取り組みの方向	<p>11- 全ての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人</p> <p>① ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう人権教育・啓発の推進を図ります。</p> <p>11- 配偶者等からの暴力（DV）や、高齢者、障害者等へのさまざまな人権侵害に対し、関</p> <p>② 係機関が連携しながら支援の充実を図ります。</p>	

施策の推進に要したすべての費用	約4437.5万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
11- ① 人権啓発推進事業	人権が尊重されるまちづくりをめざして、人権問題を学ぶ連続講座や人権文化セミナーを開催。また人権週間等には、パネル展、講演会及び街頭啓発を実施	19,913
11- ② 配偶者暴力相談支援事業	枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において専門相談員を配置し、DV被害者に対し相談から法的な手続きまで継続的な支援を実施。また、子どもたちの予防教育として、「DV予防教育プログラム」を実施。その他、臨床心理士を講師とした被害者相互支援プログラム「DV被害者心のケア事業」を実施	24,133
11- ② 高齢者虐待防止事業	市内の高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）などにおいて、地域住民への広報・啓発や、虐待に関する相談支援を実施するとともに、枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議などによる関係機関・団体との連携強化を実施	0
11- ① 障害者虐待防止事業	障害者に対する虐待の未然防止を図るため、「枚方市障害者虐待防止センター」において、虐待に関する通報・相談等に対応するとともに、枚方市障害者虐待防止関係機関会議などによる関係機関との連携強化を実施	329

（主観的指標の推移）	【満足度】 一人ひとりが人権を尊重し合えていると感じている市民の割合				【重要度】 すべての人がお互いの人権を尊重しあうための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27		R1(H31)	R1(H31)	H27		R1(H31)	-
%	19.3	→	20.2	22.3	%	51.3	→	50.4	-

(客観的指標の推移)	11-① 人権啓発事業の参加者数					11-② DV被害に関する相談件数						
	指標の説明		人権に関する講座など人権啓発事業の参加者数			指標の説明		配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」におけるDV被害に関する相談件数				
	単位	実績				目標	単位	実績				めざすべき方向
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	人	750	1,424	683	576	919	件	1,165	1,600	1,384	1,420	
	11-② DV被害に関する相談窓口を知っている市民の割合					11-② 高齢者虐待に関する相談件数						
	指標の説明		(市民意識調査により把握)			指標の説明		高齢者虐待に関する市への相談件数				
	単位	実績		目標		単位	実績				めざすべき方向	
	H27		R1(H31)	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		
%	25.6	→	25.1	50	件	117	119	103	115			
11-② 障害者虐待に関する相談件数												
指標の説明		「障害者虐待防止センター」における障害者虐待に関する相談件数										
単位	実績				めざすべき方向							
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)							
件	42	72	86	63								

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「一人ひとりが人権を尊重し合っていると感じている市民の割合」については、平成27年度と比較して0.9ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については、平成27年度と比較して0.9ポイント下落しています。

・【人権教育・啓発の推進】として、人権啓発推進事業などに取り組みました。施策指標「人権啓発事業の参加者数」については、平成29年度以降下落傾向にあり、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

・【さまざまな人権侵害への支援の充実】として、配偶者暴力相談支援事業や障害者虐待防止事業などに取り組みました。施策指標「DV被害に関する相談件数」や「障害者虐待に関する相談件数」については、めざすべき方向に沿った推移をしています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値と逆方向に推移した指標もあるものの、めざすべき方向に沿った推移をしている指標もあり、施策全体としては一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇しています。一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みが必要です。

今後も引き続き、人権教育・啓発の推進を図るとともに、虐待など様々な人権侵害に対する支援を行います。また、LGBTなど性的マイノリティの支援についても、さらなる取り組みを推進します。

総括評価シート

基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所管部 市長公室 総務部 学校教育部
施策目標	12 男女がともに参画し、個性を發揮できるまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	12- ① 固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、男女共同参画意識の向上に取り組むとともに、女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るなど、男女がともに活躍できる場の拡大を図ります。 12- ② 男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。	

施策の推進に要したすべての費用	約3133.2万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
12- ① 男女共同参画啓発・相談事業	男女共同参画に関する講座の開催など啓発に取り組むとともに、女性のための各種相談支援を実施。また、「市民参画型男女共同参画啓発事業」として、女性の活躍推進を応援するイベントや、男性や子どもが男女共同参画を主体的に考えられる講座等を開催し、幅広い市民の参加を促進。	31,332
12- ① 政策等の意思決定等における男女共同参画推進事業	市の審議会等における女性委員の参画拡大や、女性職員の管理職への登用を推進	0
12- ② ワーク・ライフ・バランス推進事業	市内の事業所に啓発リーフレットを配布。また、男女共同参画週間事業において、講座を開催。本市においては、ノー残業デーに対する取り組みを継続するとともに、長時間労働の縮減に向け、時間外勤務の上限について条例改正を実施。	0

（主観的指標の推移）	【満足度】 男女共同参画社会が実現していると感じている市民の割合	【重要度】 男女がともに参画し、個性を發揮できるための施策が重要だと思う市民の割合							
	単位	単位							
	実績	実績							
	目標	目標							
	H27	→	R1(H31)	R1(H31)	H27	→	R1(H31)	-	-
%	14.2		16.9	17.2	%	41.9		43.5	-

（客観的指標の推移）	12-① 審議会等への女性委員登用率					12-① 管理職に占める女性の割合						
	指標の説明	女性委員比率が35%を達成している審議会等/全審議会等				指標の説明	市役所における女性管理職/全管理職					
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	52.5	50.8	51.7	51.6	100		21.6	23.0	24.9	24.3	30	

12-② 育児休業を取得した男性職員数（累計）					
（客観的指標の推移）	指標の説明		市役所における育児休業を取得した男性職員数（累計）		
	単位	実績			
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	13	17	22	29	29

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「男女共同参画社会が実現していると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して2.7ポイント上昇していますが、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度についても1.6ポイント上昇しています。

・【男女がともに活躍できる場の拡大の推進】として、男女共同参画啓発・相談事業や政策等の意思決定等における男女共同参画推進事業などに取り組みました。施策指標「審議会等への女性委員登用率」については、策定時の値(50%)と比較して1.6ポイント上昇しているものの、目標値の達成は厳しい状況です。一方、「育児休業を取得した男性職員数」については、平成30年度に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

3つの客観的指標のうち、1つは既に目標値を達成しました。残り2つについても、目標値は達成していないものの、策定時の値と比較して上昇しており、施策として一定の効果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、必要に応じて取り組みの充実を図りながら、効率的な事業の執行を図る必要があります。

今後は、男女共同参画に向けた取り組みを引き続き推進するとともに、市職員の業務に対する意識改革・生産性向上をめざし、働き方改革の取り組みを進めることで、ワークライフバランスの推進に努めます。

総括評価シート

基本目標	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	所管部 市長公室
施策目標	13 平和の大切さを後世に伝えるまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	13-① 平和な社会の実現に向けて、平和意識の向上を図り、戦争の悲惨さを後世に伝える取り組みを進めます。	

施策の推進に要したすべての費用	約1893.2万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
13-① 平和啓発事業	市民一人ひとりの平和に対する意識の醸成を図るため、「平和の燈火(あかり)」をはじめ、市内の戦争遺跡の見学会、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組んだ。	18,932

(主観的指標の推移)	【満足度】 平和の大切さが継承されていると感じている市民の割合				【重要度】 平和の大切さを後世に伝えるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績		
		H27		R1(H31)			R1(H31)	H27	
%	34.3	→	42.9	37.3	%	53.3	→	55.6	-

(客観的指標の推移)	13-① 平和に関するイベントの参加者数				
	指標の説明	3月1日の「枚方市平和の日」などに開催する平和に関するイベントの参加者数			
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	5,613	7,536	7,141	5,733	6,350

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績
<p>・主観的指標「平和の大切さが継承されていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して8.6ポイント上昇しており、目標を達成しています。また、重要度についても平成27年度と比較して2.3ポイント上昇しています。</p> <p>・【戦争の悲惨さを後世に伝える取り組みの推進】として、平和啓発事業などに取り組みました。施策指標「平和に関するイベントの参加者数」については、平成29年度に目標値を達成したものの、平成30年度は災害の影響で参加者数は減少しました。</p>

課題や今後の対応
<p>客観的指標の推移については、目標値の達成に至っていないものの、策定時の値と比較して上昇しており、施策として一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、必要に応じて取り組みの充実を図りながら、効率的な事業の執行を図る必要があります。</p> <p>今後は、戦争体験者が減少する中、平和の大切さを次世代に継承するため、若い世代が参画、参加しやすいよう効果的な取り組みを進めます。</p>

総括評価シート

基本目標	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	所 管 部 健康部 子ども青少年部
施策目標	14 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	
4つの重点的に進める施策との関係	2 安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる	
取り組みの方向	14- ① 妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てることができるよう、母と子の心身の健康づくりを進めます。	

施策の推進に要したすべての費用	約13億2074.5万円
-----------------	--------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
14- ① 母子健康づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健康診査の助成や妊娠・育児に関する知識の普及、産後ケア事業、相談支援、不妊症・不育症治療の支援など母子の健康づくりを推進 ・市内9カ所（本庁、支所等）で受付けている妊娠届出を保健所、保健センターの2カ所に集約し、保健師等による全妊婦への面接相談等を実施。また、妊娠届出時に妊娠や出産、子育てに関する相談先が一目でわかるマグネットを配付。さらに、利用者数が増加傾向にある産後ケア事業への対応等のため、母子保健コーディネーターの日数を週2日から週4日に拡充 ・産後うつ予防などを図る観点から、産婦健康診査の費用助成を実施 	1,215,435
14- ① 【再掲】市民の健康を支える地域拠点整備事業	妊娠・出産から子育て期、さらには高齢期までの切れ目のない支援を提供する拠点（すこやか健康相談室 北部リーフ）を北部支所内に整備し、窓口相談、妊娠届出の他、家庭訪問や出前講座など、地域の実情に応じた支援を実施	12,511
14- ① 結婚新生活支援事業	結婚に伴い新たに生活を始める新婚世帯（所得制限あり）に対し、結婚に伴う住居の賃借・購入費用や引越費用を補助（平成29年度は30万円、平成30年度は40万円を限度に補助）	92,799

（主観的指標の推移）	【満足度】 安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合				【重要度】 安心して妊娠・出産できる環境を整えるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27	R1(H31)	R1(H31)		H27	R1(H31)	-	
%	37.3	→	38.5	42.3	%	65.4	→	66.1	-

（客観的指標の推移）	14-① 妊娠11週以下での妊娠の届出率					
	指標の説明	妊娠11週以下での妊娠の届出数/全届出数				
	単位	実績				目標
	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して1.2ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度については、平成27年度の値と比較して0.7ポイント上昇しています。

・【母と子の心身の健康づくりの推進】として、母子健康づくり推進事業や結婚新生の活支援事業などに取り組みました。施策指標「妊娠11週以下での妊娠の届出率」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、目標値を達成しており、施策の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、施策の効果は一定あったと認められますが、引き続き取り組みを推進する必要があります。

今後は、妊娠・出産を望むすべての人が安心して子どもを産み育てられるよう、特定不妊治療や不育症治療への費用助成、産後ケア事業など育児不安に対する様々な取り組みについて、さらなる周知を図るとともに、結婚新生活支援事業について、より効果的な制度となるよう取り組みます。

総括評価シート

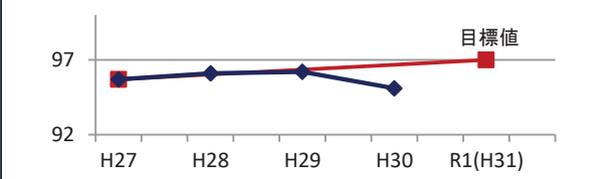
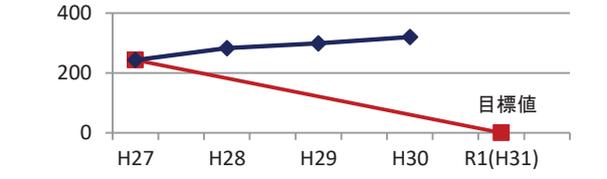
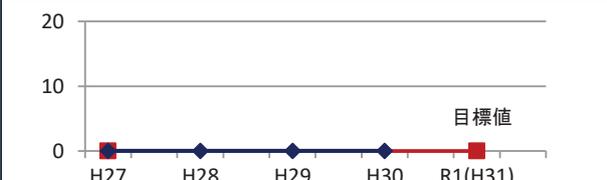
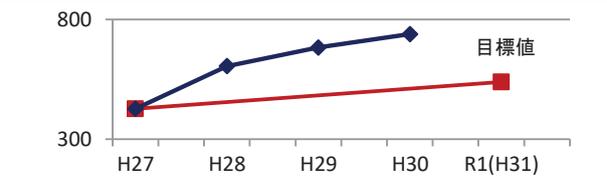
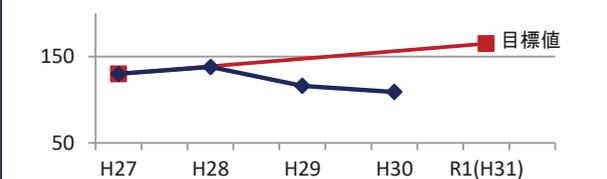
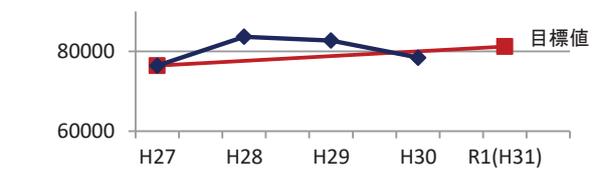
基本目標	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	所管部 健康部 福祉部 子ども青少年部 都市整備部 総合教育部 社会教育部
施策目標	15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	
4つの重点的に進める施策との関係	2 安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる	
取り組みの方向	<p>15-① 子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、疾病等の予防・早期発見・早期対応の取り組みを進めます。</p> <p>15-② 保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。</p> <p>15-③ 障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。</p> <p>15-④ 子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。</p> <p>15-⑤ 子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防・早期発見・早期対応の取り組みを進めます。</p> <p>15-⑥ ひきこもりや若年無業者（ニート）の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。</p> <p>15-⑦ 子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。</p>	

施策の推進に要したすべての費用	約146億6993.8万円
-----------------	---------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
15-① 乳幼児健康診査事業	乳幼児の疾病・障害の早期発見・早期対応や育児不安の軽減を図るため、乳幼児に対する個別及び集団での健康診査の実施、未受診児への家庭訪問や事後指導等の実施	160,822
15-【再掲】 ① 新生児聴覚検査事業	新生児聴覚検査を委託医療機関で受診した場合に、検査の種類に応じた検査費用を助成。委託医療機関以外で受診した場合には、申請により償還を実施	4,595
15-① 子ども医療費助成事業	子どもの健やかな育成を図るため、通院・入院にかかる医療費について、中学校卒業まで費用の一部を助成し、子育て世代の経済的負担を軽減	4,069,856
15-① 多子世帯医療費助成事業	子ども医療費助成およびひとり親家庭医療費助成受給者の自己負担月上限額を、多子世帯およびひとり親世帯においても1人分の自己負担月上限額とすることで、医療費負担の軽減を図り、多子世帯の子育て支援を実施	17,088
15-② 保育サービスの充実	延長保育や障害児保育、休日・夜間保育を実施するとともに、枚方市病児保育室利用の受付時間を延長、国の制度に基づく第2子の保育料半額、第3子以降の無料化等の実施、子育て世代への情報提供の充実に向けた「子育て応援アプリ」の開発及び運用	94,434
15-② 幼稚園保育料の軽減	市立幼稚園の保育料について、第2子の保育料半額、第3子以降の保育料無料化等を実施するとともに、私立幼稚園設置者への補助を通じて、在園児の保護者に対する負担軽減を実施	23,711
15-② 待機児童対策推進事業	公立保育所の民営化、私立保育所の増改築等で平成28年度に150人、平成29年度に132人、平成30年度に148人、合計430人の定員増を実施	1,571,859

15- 公立幼稚園における3歳児保育 ② 育実施事業	公立幼稚園において、平成31年度から新たに3歳児保育を実施。そのうち、現在、待機児童対策の一環で1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園（枚方・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）については、同時に3～5歳児の教育時間の前後に預かり保育を実施し、小規模保育事業と同様に開園（7時～19時）することで、在園児に対して切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として開設	21,773
15- 放課後児童対策事業 ②	放課後の保育が必要な小学1年生から6年生までの児童に豊かで安全な生活を確保し、保護者が働くための環境整備に資するため45小学校に留守家庭児童会室を開室・運営。あわせて、保育環境の充実のため、留守家庭児童会室の施設整備や学校施設の活用等を実施	3,482,999
15- 全児童を対象とする放課後対策事業<放課後子ども教室事業> ②	全ての就学児童のための「放課後子ども教室」事業について、利用者（児童・保護者）ニーズの実態や事業効果、実施に係る課題及び経費見込み等を分析・検証するため、複数の小学校において試行的にモデル事業を実施。	11,534
15- 【再掲】 ② 三世代家族・定住促進事業	親世帯と子育て世帯や若年夫婦世帯が市内で同（近）居することに対して、住宅リフォームや購入費用を助成するとともに、マイホーム借上げ制度の普及に向けた市民向け説明会や個別相談会を実施	37,505
15- 新児童発達支援センター整備 ③ 備事業	肢体不自由児通園施設「幼児療育園」と、知的障害児通園施設「すぎの木園」の老朽化対策や施設機能の充実などを図るため、両施設の機能を統合した新児童発達支援センターを整備	1,482,508
15- 放課後等デイサービス事業 ③	障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを進めるため、利用を希望する小学校から高等学校在学の障害のある児童・生徒に対し、放課後や長期休暇中に、放課後等デイサービスを提供	3,205,794
15- 身体障害児及び長期療養児 ③ 等療育指導事業	身体障害児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする長期療養児に対し、日常生活における健康の保持増進を図るため、専門相談や訪問指導を実施	2,233
15- 地域子育て相談・支援事業 ④	市内13ヵ所での地域子育て支援拠点の開設や、保育所（園）ふれあい体験及び枚方版ブックスタート、親支援講座等の実施に加え、「枚方市ファミリーサポートセンター」事業においては、2歳までの乳幼児の保護者を対象に、無料体験の機会を提供	250,816
15- 枚方子どもいきいき広場事業 ④ 業	小学校休業日の土曜日などに児童健全育成事業（子どもいきいき広場）を実施する地域団体等に対する支援・助成の実施	95,424
15- 児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業 ⑤	保護者への相談体制の強化や職員の資質向上を図る虐待対応専門研修の実施、子どもの自尊感情や社会性を育むファンフレンドズプログラムの実施。講演会等による里親制度の普及啓発の実施	5,438
15- 子ども・若者育成支援事業 ⑥	ひきこもり等困難を有する子ども・若者への相談支援の充実や、青少年育成指導員による校区内パトロール、子どもの居場所づくり（子ども食堂）の推進など、子ども・若者支援のための総合的な取り組みを推進	51,003
15- 生活困窮者自立支援制度に係る子どもの学習支援事業 ⑥	生活困窮家庭の中学生に対し、安心して過ごせる居場所において学習支援を実施。市内公共施設1か所で教員経験者のもと、毎週土曜日の午後には自習教室を開催。平成29年2月より、南部地域において、2か所目の教室を開設	6,146
15- ひとり親家庭等自立支援事業 ⑦ 業	職業訓練等を受けるための費用に対する給付金事業や、ヘルパー派遣事業（日常生活支援事業）など、ひとり親家庭等の自立を支援する取り組みを推進。高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を実施。また、ファミリー・サポート・センターの利用料金を一部補助することで利用促進及び周知	74,400

（主観的指標の推移）	【満足度】 安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合				【重要度】 子どもたちが健やかに育つための施策が重要と思う市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27		R1(H31)		H27		R1(H31)	
	%	37.9	→	44.5	42.9	%	72.9	→	73.1

（客観的指標の推移）	15-① 乳幼児健康診査の受診率					15-② 保育所等利用待機児童数						
	指標の説明	1歳6か月児健康診査受診児の人数／全1歳6か月児の人数				指標の説明	希望施設に入所できない児童数					
												
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	%	95.7	96.1	96.2	95.1	97.0	人	243	283	299	320	0
	15-② 留守家庭児童会室待機児童数					15-③ 放課後等デイサービス利用者数						
	指標の説明	留守家庭児童会入室の待機児童数				指標の説明	学校通学中の障害児を対象に放課後や長期休暇中に生活力向上の訓練を行う放課後等デイサービスの実利用者数（一月あたり）					
												
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
人	0	0	0	0	0	人	427	605	683	739	539	
15-③ 児童発達支援利用者数					15-④ 地域子育て支援拠点事業利用者数							
指標の説明	就学前の障害児を対象に日常生活の基本的な動作や集団生活への適応の訓練を行う児童発達支援の実利用者数（一月あたり）				指標の説明	子育て世帯が交流できる場を確保する地域の子育て支援拠点事業の利用者数						
												
単位	実績				目標	単位	実績				目標	
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
人	130	138	116	109	165	人	76,428	83,650	82,698	78,430	81,200	

15-⑦ 児童虐待に関する相談件数					15-⑤ 児童虐待に関する相談窓口を知っている市民の割合					
指標の説明		子ども総合相談センターにおける児童虐待に関する相談件数			指標の説明		(市民意識調査により把握)			
単位	実績				めざすべき方向	単位	実績			目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27		R1(H31)	R1(H31)
件	17,359	19,305	19,018	24,341	↗	%	38.4	→	39.6	50
15-⑥ ひきこもり等に関する相談件数					15-⑥ ひきこもり等に関する相談窓口を知っている市民の割合					
指標の説明		「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」におけるひきこもり・若者無業者(ニート)に関する相談件数			指標の説明		(市民意識調査により把握)			
単位	実績				めざすべき方向	単位	実績			目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27		R1(H31)	R1(H31)
件	1,430	1,548	2,072	2,466	↗	%	23.1	→	23.4	50
15-⑦ ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数(累計)										
指標の説明		ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の受給者のうち就職した人数(累計)								
単位	実績				目標					
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)					
人	24	30	39	50	84					

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度と比較して6.6ポイント上昇しており、目標値を達成しています。一方、重要度についても平成27年度と比較して、0.2ポイント上昇しています。

・【子どもの心身の健やかな育ちの支援】として、乳幼児健康診査事業や子ども医療費助成事業などに取り組みました。施策指標「乳幼児健康診査の受診率」については、平成28年度に目標値を達成したため、新たに目標値を設定し、引き続き取り組みを進めています（※当初目標値96.0%）。

・【子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりの推進】として、待機児童対策推進事業や放課後児童対策事業などに取り組みました。施策指標「保育所等利用待機児童数」については、目標値と逆方向に推移しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。また、「留守家庭児童会室待機児童数」については、既に目標値を達成しています。

・【障害児等が健やかに育つことができる環境づくりの推進】として、新児童発達支援センター整備事業や放課後等デイサービス事業などに取り組みました。施策指標「児童発達支援利用者数」については、平成28年度以降目標値と逆方向に推移しており、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。また、「放課後等デイサービス利用者数」については、平成28年度に目標値を達成しています。

・【地域の子育て支援の推進】として、地域子育て相談・支援事業や枚方子どもいきいき広場事業などに取り組みました。施策指標「地域子育て支援拠点事業利用者数」については、平成28年度に目標値を達成していますが、それ以降下落傾向にあり、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【児童虐待等の問題に対する取り組みの推進】として、児童家庭相談体制の強化および児童虐待防止推進事業などに取り組みました。施策指標「児童虐待に関する相談件数」については増加傾向にあり、相談窓口の認知度を高めるという、現時点でのめざすべき方向に沿った推移をしています。一方、「児童虐待に関する相談窓口を知っている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して1.2ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。

・【子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりの推進】として、子ども・若者育成支援事業や生活困窮者自立支援制度に係る子どもの学習支援事業などに取り組みました。施策指標「ひきこもり等に関する相談件数」については増加傾向にあり、相談窓口の認知度を高めるという、現時点でのめざすべき方向に沿った推移をしています。一方、「ひきこもり等に関する相談窓口を知っている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.3ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。

・【ひとり親家庭の自立に向けた取り組みの推進】として、ひとり親家庭等自立支援事業などに取り組みました。施策指標「ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数」については、平成27年度以降増加傾向にあるものの、目標値の達成には至っておらず、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値と逆方向に推移した指標もあるものの、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、引き続き満足度を維持しながら、取り組みを推進する必要があります。

今後は、小中学校の余裕教室を活用した「待機児童用保育室」の整備を進めるなど、新たな手法で入所枠の拡大を図るほか、子ども医療費への支援策の充実について検討を進めるとともに、様々な手法で保育士人材を確保し、保育の質の向上を図ります。「市立ひらかた子ども発達支援センター」においては早期療育体制を充実するとともに、障害児相談支援や保育所等訪問支援などの地域支援機能をさらに強化します。放課後事業については効果的・効率的な運営を図るため、総合型放課後事業として民間活力を活用しながら取り組みを進めます。

総括評価シート

基本目標	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	所管部 市民安全部 子ども青少年部 総合教育部 学校教育部 社会教育部
施策目標	16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
4つの重点的に進める施策との関係	2 安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる	
取り組みの方向	<p>16-① 義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。</p> <p>16-② 充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の育成を図ります。</p> <p>16-③ 学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。</p> <p>16-④ 学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。</p> <p>16-⑤ 子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりを進めます。</p> <p>16-⑥ 安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した学校施設の更新や改修、学校規模等の適正化を図るなど、教育環境の向上を図ります。</p> <p>16-⑦ 障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。</p>	

施策の推進に要したすべての費用

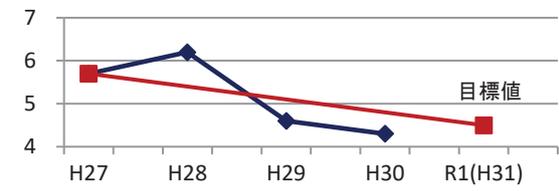
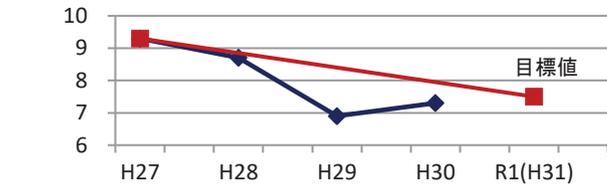
約50億1943.1万円

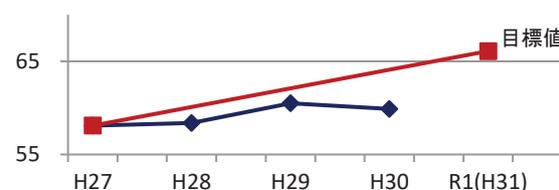
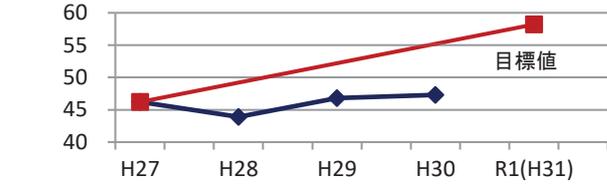
実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
16-① 小中一貫教育推進事業	各中学校区がそれぞれの現状や課題に応じながら、特色を活かした小中一貫教育を推進するため、「小中一貫教育推進コーディネーター」を配置し、その円滑な職務遂行のため、非常勤講師等を配置。さらに、小学校においては、本市独自の少人数学級編制や一部教科担任制等、児童の発達段階に応じた指導体制の充実を推進するため、常勤講師等を配置	963,809
16-① 読書活動推進事業	児童・生徒の読書活動を推進し、授業において課題解決や探究活動に取り組む力を育むため、市内の中学校区に学校司書を配置し、市立図書館と連携し、児童・生徒がより利用しやすい学校図書館となるよう配架の変更や開館時間の延長等環境整備を推進	121,894
16-① 英語教育推進事業	児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、全中学校に外国人英語教育指導助手(NET)を、全小学校に日本人英語教育指導助手(JTE)を配置。英語学習の意欲を高める取り組み(モチベーションアップ・プロジェクト)や英語外部検定試験、枚方英語村等を実施	384,019
16-① 小中学校教育用ICT機器等整備事業	児童・生徒の情報活用能力の育成やアクティブラーニングの視点にたった新たな学びを推進するため、小学校30校、中学校2校にタブレット型パソコンを整備	275,093
16-① 未来学習研究事業	平成31年4月から中学校1校を推進校に設定し、1人1台のタブレット型コンピュータを活用した未来学習研究事業を実施するため、タブレット型コンピュータ960台を購入するとともに、検証に向け必要なICT機器の調達を実施	54,446
16-① 学力向上推進事業(放課後自習教室事業)	児童・生徒の学習機会の充実を図るため、退職教員や大学生等を児童・生徒の学習支援を行う「やる気リーダー」として配置し、自学自習力支援システムを活用した放課後自習教室を実施	142,127

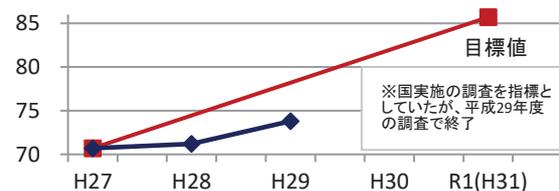
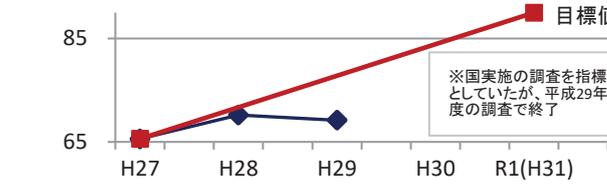
16- 枚方市立中学校部活動指導 ① 協力者派遣事業	専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を各中学校へ派遣することで、部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の負担軽減を推進	47,510
16- ② 教職員育成事業	教職員の資質・指導力の一層の向上を図るため、市独自の研修カリキュラムのもと、経験年数や職務に応じて行うものや、高い指導力の育成を図るものなど多種多様な教職員研修を実施。また、指導主事や教育推進プランナー等が学校へ訪問し研究授業などでの指導助言等を実施	18,269
16- ③ 子どもの健康増進事業	市立全小中学校において、食に関する指導の全体計画を作成するとともに、学校給食を活用した指導等、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進。また、体力向上推進プランを作成し、授業や部活動等を通じて体力づくりの促進を推進	112,035
16- 【再掲】 ③ 枚方市立中学校部活動指導 協力者派遣事業	専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を各中学校へ派遣することで、部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の負担軽減を推進	47,510
16- 野外活動センター活性化事 ③ 業	市内小中学校のニーズを把握して「学校キャンプ支援事業」を実施。また、平成28年度に実施設計の上、平成29、30年度の2か年で野外活動センターの進入路舗装工事を実施	67,751
16- 【再掲】 ③ 枚方子どもいきいき広場事 業	小学校休業日の土曜日などに児童健全育成事業（子どもいきいき広場）を実施する地域団体等に対する支援・助成の実施	95,424
16- ④ 生徒指導充実事業	各学校において、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、児童・生徒に対して学期に1回以上のいじめアンケート及び教育相談を実施。「ひらかた学校支援チーム」が定期的に学校訪問し、児童・生徒等の状況等を把握するとともに、解決困難な事案等に対して専門的な視点から対応について適宜助言を実施。また、小中学校における生徒指導主事、生徒指導主事が生徒指導の業務に機動的に対応できるよう、常勤講師等を配置	195,352
16- ④ 不登校等対策事業	不登校児童・生徒に対し、それぞれの要因や背景等を踏まえながら適切に対応するため、各小中学校へチーフ・スクールソーシャルワーカー等を配置・派遣し、ケース会議を実施するなど、不登校の児童・生徒やその保護者を支援	92,599
16- コミュニティ・スクール推 ⑤ 進事業	枚方市教育振興基本計画の基本方策6「地域とともにある学校づくりの推進」のため、枚方市におけるコミュニティ・スクールを設置し、地域全体で教育に取り組む体制を構築。学校運営協議会委員等に対する研修会等を実施	455
16- ⑤ 学校安全監視事業	子どもの安全を確保するため、小学校全45校の校門に、監視カメラ等の機器を設置するとともに、登校や下校の時間帯に地域ボランティア等を配置し、安全監視を実施。地域全体で子どもの安全を確保する意識を高めるため、市のホームページ等でPR活動を実施。	94,744
16- ⑤ 通学路等安全対策事業	児童・生徒の登下校の安全確保を図り、防犯・防災意識を向上するため、警察等の関係機関と連携しながら、交通指導員等の配置等通学路の安全対策を進めるとともに、学校園において交通安全教室等の安全教育を実施。全学校園でメール配信システムを活用し、不審者情報を関係者へ提供	92,966

16- 【再掲】 ⑤ 防犯環境整備事業	防犯灯の新設・LED化に対して補助を実施し、防犯環境の整備を推進。街頭犯罪の未然防止と犯罪発生時の迅速な対応等を目的として、防犯カメラの設置、運用を実施	414,188
16- ⑥ 学校施設更新整備事業	市立小中学校施設の老朽化に対応し、計画的な整備を図るため、枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（前期）H27～32年度）に基づき、順次、学校施設の更新（改築又は長寿命化改修）を実施	928,289
16- ⑥ 枚方小学校少人数教室等整備事業	枚方小学校において、将来設計で平成30年度から過密校になることが予測されていたため、教室棟の増築や下駄箱設置用の屋根の増築等の整備工事を実施し、平成30年4月より供用開始	133,844
16- ⑥ 津田南小学校少人数教室等整備事業	津田南小学校において、児童数の増加によりH29年度から教室が不足すると予測されたことから、多目的教室（少人数教室）・コンピュータ教室の普通教室への改修工事を実施し、平成30年1月より供用開始	19,932
16- ⑥ 学校規模等適正化推進事業	市立小中学校の教育環境の整備・向上と学校教育の充実を図るため、将来の児童生徒数を踏まえた適正な学校配置等のあり方について検討し、学校統合等により学校規模等の適正化を推進。「枚方市学校規模等適正化基本方針」を改定し、学校統合に向けて理解と協力を得るため、説明会や協議等を実施	0
16- ⑥ 香里小学校施設整備に伴う学校給食調理場改修事業	香里小学校単独調理場の諸課題を解決し、学校給食を安定的に提供できるようにするため、香里小学校の施設整備とともに老朽化した香里小学校単独調理場の長寿命化改修を推進	4,882
16- ⑥ 単独調理場の活用による第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	老朽化し、危機管理上の大きな課題を有している第三学校給食共同調理場に換えて、事業費や工期を縮減し効率的・効果的に実施するために、長寿命改修等の手法を用いて、代替施設となる蹉跎西小学校等、既存単独調理場6箇所の改築・改修を行い、小規模の共同調理場（親子方式含む）の整備を推進	153,485
16- ⑥ 小学校給食単独調理場整備事業	学校給食衛生管理基準（文部科学省告示第64号）に基づき、給食調理場施設のドライシステム化が求められていることから、既存の菅原小学校給食調理場のドライシステム導入に必要な用地を取得	15,998
16- ⑥ 学校給食充実事業	安全で安心な学校給食を効率的・効果的に提供するため、小学校給食に加え、H28年4月から選択制のランチボックス方式による中学校給食を実施。また、中学校給食においては、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を実施	0
16- ⑦ 支援教育充実事業	障害のある児童・生徒への支援教育の充実と全小中学校における支援教育コーディネーターの活動の充実を図るため、非常勤講師を配置するとともに、支援教育に関する専門家等を学校園へ派遣し、教職員への指導・助言等を実施。また、学校看護師・介助員の配置や支援教育に係る環境の整備等を実施	542,810

(主観的指標の推移)	【満足度】 子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	【重要度】 子どもたちの生きる力を育む教育を充実するための施策が重要だと思う市民の割合					
	単位	実績	目標	単位	実績	-	
		H27		R1(H31)	R1(H31)		-
	%	35.3	→	39.4	40.3		-
(客観的指標の推移)	【満足度】 子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じている市民の割合						
	単位	実績	目標				
		H27		R1(H31)	R1(H31)		
	%	43.8	→	46.8	48.8		

(主観的指標の推移)	16-① 「学校の授業時間以外での学習を全くしていない」と回答した児童・生徒の割合 (小学校)	16-① 「学校の授業時間以外での学習を全くしていない」と回答した児童・生徒の割合 (中学校)								
	指標の説明 (全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)	指標の説明 (全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)								
										
	単位	実績	目標	単位	実績	目標				
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	R1(H31)				
%	5.7	6.2	4.6	4.3	4.5	9.3	8.7	6.9	7.3	7.5

(客観的指標の推移)	16-① 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合 (小学校)	16-① 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合 (中学校)								
	指標の説明 (全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)	指標の説明 (全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)								
										
	単位	実績	目標	単位	実績	目標				
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	R1(H31)				
%	58.1	58.4	60.5	59.9	66.1	46.2	43.9	46.8	47.3	58.2

(客観的指標の推移)	16-① 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている児童・生徒の割合 (小学校)	16-① 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている児童・生徒の割合 (中学校)								
	指標の説明 (全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)	指標の説明 (全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)								
										
	単位	実績	目標	単位	実績	目標				
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	R1(H31)				
%	70.7	71.2	73.8	-	85.7	65.6	70.2	69.2	-	90.0

16-② 受講した研修内容を授業等に活用している教職員の割合					
指標の説明		研修を受講した教職員が各学校園において会議等で伝達したり授業等で実践した割合			
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	87.4	91.6	93.9	95.1	100.0

16-② 教員が、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、児童・生徒に伝えるなど積極的に評価している割合 (小学校)					
指標の説明		(全国学力学習状況調査「学校質問紙調査」により把握)			
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	97.8	100.0	100.0	97.8	100.0

16-② 教員が、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、児童・生徒に伝えるなど積極的に評価している割合 (中学校)					
指標の説明		(全国学力学習状況調査「学校質問紙調査」により把握)			
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	94.8	100.0	100.0	94.8	100.0

16-③ 自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合 (小学校)					
指標の説明		(全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)			
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	74.6	74.0	76.1	84.1	77.8

16-③ 自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合 (中学校)					
指標の説明		(全国学力学習状況調査「児童生徒質問紙調査」により把握)			
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	63.6	64.7	67.6	77.4	70.6

16-④ いじめの認知件数 (小学校)					
指標の説明		アンケートや児童生徒からの申告等によるいじめの認知件数			
単位	実績				めざすべき方向
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	289	240	1,198	645	↗↘

16-④ いじめの認知件数 (中学校)					
指標の説明		アンケートや児童生徒からの申告等によるいじめの認知件数			
単位	実績				めざすべき方向
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	117	107	113	144	↗↘

16-④ 不登校児童・生徒の割合 (小学校)					
指標の説明	不登校児童・生徒数/全児童・生徒数				
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	0.36	0.49	0.47	0.62	0.13

16-④ 不登校児童・生徒の割合 (中学校)					
指標の説明	不登校児童・生徒数/全児童・生徒数				
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	3.49	3.38	3.72	4.23	2.28

16-⑥ 学校施設整備計画に基づく整備率					
指標の説明	学校施設整備計画第1次実施計画(前期)に基づく整備済棟数/計画における整備予定棟数				
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	-	-	-	100.0	100

16-⑥ 中学校給食の喫食率					
指標の説明	市内19中学校の学校給食の喫食率				
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	-	25.7	32.2	32.0	50.0

16-⑦ 支援教育に関する専門的な知識・技能を持つ専門家の派遣回数					
指標の説明	支援教育に関する専門的な知識・技能を持つ専門家を学校園に派遣した回数				
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
回	418	406	433	453	380

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して4.1ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。また、「子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じている市民の割合」についても、平成27年度の値と比較して3.0ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。重要度については、平成27年度と比較して1.1ポイント上昇しています。

・【子どもの確かな学力の定着】として、読書活動推進事業や学力向上推進事業(放課後自習教室事業)などに取り組みました。施策指標「学校の授業時間以外での学習を全くしていないと回答した児童・生徒の割合」については、小学校・中学校ともに目標値を達成しています。一方、「学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合」については、平成29年度の値と比較して、中学校では0.5ポイント上昇しているものの、小学校は0.6ポイント減少しており、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【高い指導力と意欲を持つ教職員の育成】として、教職員育成事業などに取り組みました。施策指標「受講した研修内容を授業等に活用している教職員の割合」については、目標値に向かって推移しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【健やかな身体を育成する取り組みの推進】として、子どもの健康増進事業や野外活動センター活性化事業などに取り組みました。施策指標「自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合」については、小学校・中学校ともに平成30年度に目標値を達成しています。

・【いじめの未然防止や早期発見・不登校の子どもへの支援】として、生徒指導充実事業や不登校等対策事業などに取り組みました。施策指標「いじめの認知件数」については、平成29年度の値と比較して小学校では減少し、中学校では増加しています。引き続きいじめの解消に向けた取り組みを進める必要があります。また、「不登校児童・生徒の割合」については、策定時の値(小学校児童0.23%、中学校生徒3.30%)と比較して小学校・中学校ともに目標値とは逆方向に推移しており、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【子どもが安全に安心して学べる環境づくりの推進】として、学校安全監視事業や通学路等安全対策事業などに取り組みました。

・【教育環境の向上】として、学校施設更新整備事業や学校給食充実事業などに取り組みました。施策指標「学校施設整備計画に基づく整備率」については、平成30年度に目標値を達成しています。また、「中学校給食の喫食率」については、平成28年度の値と比較して6.3ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実】として、支援教育充実事業などに取り組みました。施策指標「支援教育に関する専門的な知識・技能を持つ専門家の派遣回数」については、平成27年度に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値と逆方向に推移した指標はあるものの、概ね目標値に向かって推移していることから、施策全体として見れば成果はあったと考えられます。主観的指標の推移についても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、取り組みを推進する必要があります。

今後は、中学生全員へタブレットPCを導入するとともに、プログラミング教育や外国語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。小学校では、教科担任制や英語教育を推進するため、専科教員を拡充します。また、いじめ問題については、これまでの取り組みに加えて、より迅速な状況把握と適切な対応が行えるよう、SNSの活用や弁護士、臨床心理士などを含めた体制の整備を図ります。

総括評価シート

基本目標	一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	所管部 市駅周辺等活性化推進部 産業文化部 都市整備部 社会教育部
施策目標	17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	<p>17-① あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。</p> <p>17-② 市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。</p> <p>17-③ まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として総合文化施設を整備し、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます。</p> <p>17-④ まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心・理解を深める取り組みを進めます。</p> <p>17-⑤ 誰もが気軽にスポーツに親しみ、年齢や興味または関心に応じたスポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりを進めます。</p>	

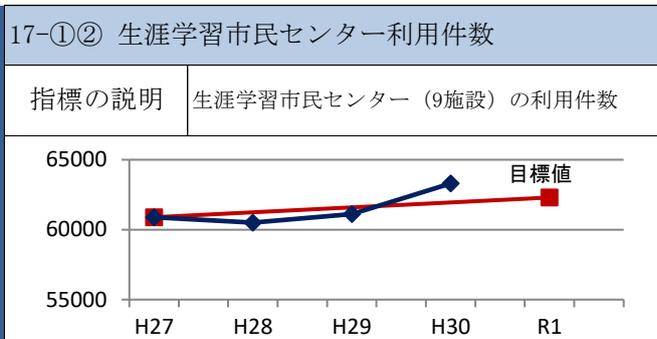
施策の推進に要したすべての費用

約 1 1 9 億 2 1 0 4 . 4 万円

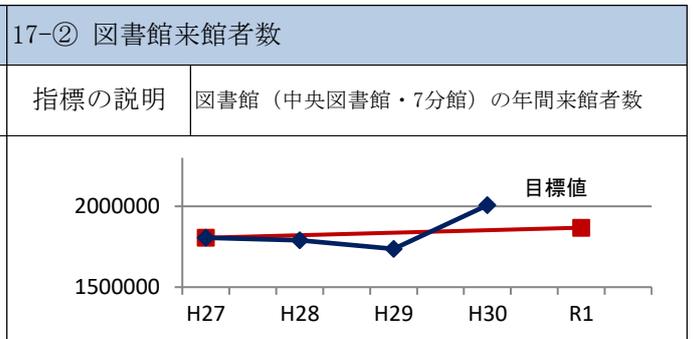
実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
17-① 生涯学習支援事業	市民の生涯学習を支援し、同世代のつながりや世代間交流の促進につなげるため、生涯学習市民センター等において、生涯学習活動に係る情報の収集や提供、指定管理者による自主企画事業の展開、人材育成や交流促進等、生涯学習活動の支援を実施	49,459
17-② 香里ヶ丘図書館建替え事業	「香里ヶ丘図書館建替え基本計画」を策定し、新香里ヶ丘図書と新香里ヶ丘中央公園との機能連携を図るため、民間のノウハウを生かして基本設計・実施設計を実施。建替えに向け、旧図書館を解体し、新図書館建築工事の契約を締結。香里ヶ丘図書館休館後、代替サービススポットの開設や自動車文庫による代替サービスを実施	333,259
17-② 図書館機能充実事業	市民が利用しやすい図書館運営を図るため、図書館コンピュータシステムを更新し、中央図書館・分館・分室のオンライン化を実施。効率的な蔵書管理や、検索サービス・予約サービス等を充実するため、スマートフォン表示での蔵書の予約サービスを開始。学校間や市立図書館との蔵書の有効活用を図るため、システム内に小中学校の学校図書館の蔵書データの登録を実施	150,057
17-② 子どもに本を届ける事業	子どもの読書環境の充実を図るため、寄附金の受付を開始した他、指定寄附金や古紙売却益による積立金より購入した図書を市内各小学校等へ配布を実施	19,188
17-② 生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業	生涯学習市民センター・図書館複合施設の管理運営について、民間ノウハウを活用しながら市民サービス向上と効率的・効果的な管理運営を図るため指定管理者制度を導入。また、モニタリングやアンケート等を実施し、事業の進捗状況や課題等の把握・検証を実施	1,044,010
17-③ 総合文化施設整備事業	優れた文化芸術の鑑賞機会と市民の文化芸術の発表機会を提供し、集客とにぎわいを創出する新たな文化芸術拠点として総合文化施設を整備するため、「(仮称)枚方市総合文化芸術センターの施設運営について(基本方針)」を策定するとともに、平成30年10月から建設工事を開始	8,712,980

17- ④ 若手芸術家支援事業	次世代を担う芸術家を支援するため、備品の購入や個展等の発表場所の提供等、市民の文化芸術活動を促進。運用基準をルール化するため、美術施設運営委員協議会へ諮り、事業実施基準を作成。若手芸術家による油彩画展を開催	770
17- ④ 子どもの文化芸術の体験を促進する事業	子どもの文化芸術に関する創作活動を促し、柔軟な発想や豊かな心を育むことを目的に、市内の18歳以下の子どもを対象に育成事業を行う団体を支援するため、事業経費に対する補助等を実施	582
17- ⑤ 【再掲】総合スポーツセンター駐車場拡張事業	総合スポーツセンター駐車場の容量不足の解消を図るため、事業用地を買戻し、第2駐車場の整備工事を実施。第1・第2駐車場の有料化に向け、関係条例の改正を実施。駐車場管理運営業務を指定管理業務に含めて指定管理者を指定	1,418,349
17- ⑤ 【再掲】枚方市スポーツ推進事業	スポーツ推進に向けた取り組みの基本的な方向性を示す「枚方市スポーツ推進計画」を策定。スポーツ推進審議会で点検・評価を実施しながら、目標達成に向けて関係部署と連携を図り事業を実施	6,853
17- ⑤ 【再掲】各種スポーツ大会・レクリエーション開催事業	市民の健康増進・体力向上を図り、スポーツ活動の普及・促進に取り組むため、各種競技大会、スポーツイベントや各種スポーツ教室を実施	117,791
17- ⑤ 【再掲】野外活動センター活性化事業	市内小中学校のニーズを把握して「学校キャンプ支援事業」を実施。また、平成28年度に実施設計の上、平成29、30年度の2か年で野外活動センターの進入路舗装工事を実施	67,751

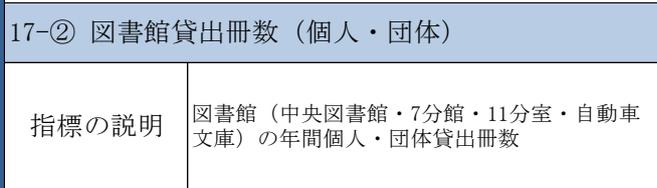
(主観的指標の推移)	【満足度】 生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合				【重要度】 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるための施策が重要だと思える市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績		
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)
	%	28.5	→	29.6	31.5	%	54.5	→	56.5
	【満足度】 文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合								
	単位	実績			目標				
		H27		R1(H31)	R1(H31)				
	%	17.3	→	26.6	20.3				
	【満足度】 気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合								
単位	実績			目標					
	H27		R1(H31)	R1(H31)					
%	28.7	→	31.6	31.7					



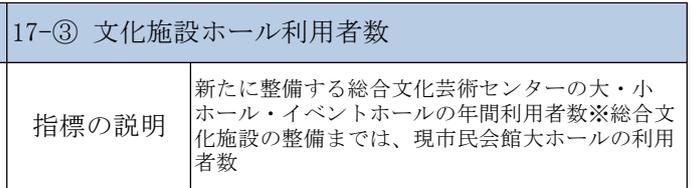
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	60,889	60,505	61,120	63,304	62,300



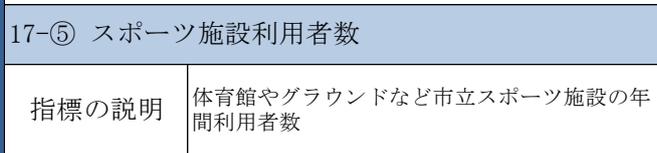
単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	1,805,647	1,790,909	1,736,771	2,006,900	1,867,779



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
冊	3,716,643	3,504,263	3,527,835	3,483,340	3,960,126



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	144,136	151,882	178,423	34,608	168,222



単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	1,112,388	1,110,678	1,086,956	1,107,374	1,179,000

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して1.1ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。また「文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して9.3ポイント上昇しており、目標値を達成しています。また「気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して2.9ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。重要度についても、平成27年度と比較して2ポイント上昇しています。

・【市民同士等がつながりを育める環境づくりの推進】として、生涯学習支援事業などに取り組みました。施策指標「生涯学習市民センター利用件数」については、平成30年度に目標値を達成しています。

・【豊かな心を育む市民の生涯学習支援】として、図書館機能充実事業や生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業などに取り組みました。施策指標「図書館来館者数」については、平成30年度に目標値を達成しています。施策指標「図書館貸出冊数(個人・団体)」については、目標値と逆方向に推移しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

・【多くの市民が文化芸術活動を行える環境づくりの推進】として、総合文化施設整備事業などに取り組みました。施策指標「文化施設ホール利用者数」については、平成29年度に目標値を達成したものの、平成30年度は大阪北部地震の影響で利用者数が下落しました。

・【文化芸術に対する市民の関心・理解を深める取り組みの推進】として、若手芸術家支援事業や子どもの文化芸術の体験を促進する事業などに取り組みました。

・【スポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりの推進】として、枚方市スポーツ推進事業や各種スポーツ大会・レクリエーション開催事業などに取り組みました。施策指標「スポーツ施設利用者数」については、平成29年度から平成30年度にかけて上昇しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

課題や今後の対応

5つの客観的指標のうち、2つについては既に目標値を達成しました。1つについては、平成30年度は災害の影響で目標値を下回っていますが、平成29年度に目標値を達成しています。残り2つについては、目標値と逆方向に推移した指標があるものの、策定時の値と比較して上昇したものもあり、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、取り組みを推進する必要があります。今後は、令和3年度にオープンする総合文化芸術センターについて、子どもたちをはじめ多くの市民が、多彩な演者による魅力的な事業に触れる機会を充実させ、文化芸術活動の発表の場となるよう、賑わいにあふれた拠点づくりを進めるとともに、令和2年8月にリニューアルオープン予定の香里ヶ丘図書館について、隣接する香里ヶ丘中央公園みどりの広場と一体的な整備を進め、指定管理者制度のもと、アウトドアライブラリーや自然保護観察会・花育活動を開催するなどして、さらなる魅力向上を図ります。

総括評価シート

基本目標	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	所管部 市駅周辺等活性化推進部 産業文化部 土木部
施策目標	18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	
4つの重点的に進める施策との関係	4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる	
取り組みの方向	<p>18- 利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設①をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。</p> <p>18- 枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となる②よう、さまざまなイベントの開催など賑わいづくりを創出します。</p>	

施策の推進に要したすべての費用	約5760.5万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
18- 枚方市駅周辺再整備ビジョン ① 推進事業	枚方市駅周辺再整備ビジョンの具体化に向け、大阪府住宅供給公社枚方団地等を含む③街区について市街地再開発準備組合の設立支援及び本再開発事業の都市計画決定に向けた手続きを推進した他、都市再生緊急整備地域に向けた準備の推進、枚方市駅周辺再整備基本計画及び枚方市新庁舎整備基本構想の素案を作成。また、枚方市駅周辺の交通基盤整備に向けた取り組みとして、道路空間再配分を見据えた社会実験を実施した他、各関係機関協議等、歩行者動線の確保に向けた取り組みを実施。	57,605
18- ② 枚方市駅周辺賑わい創出事業	岡東中央公園で開催される各種イベント等に対して、枚方市駅周辺のにぎわい創出を目的として、備品の貸し出しや広報による情報発信等の支援を実施。事業の利用促進を目的とした、「にぎわい空間創出事業市民イベント支援要領」の改正を実施	0

(主観的指標の推移)	【満足度】 枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	【重要度】 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地をつくるための施策が重要だと思う市民の割合																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th colspan="3">実績</th> <th>目標</th> <th>単位</th> <th colspan="3">実績</th> <th>-</th> </tr> <tr> <td></td> <th>H27</th> <td></td> <th>R1(H31)</th> <th>R1(H31)</th> <td></td> <th>H27</th> <td></td> <th>R1(H31)</th> <td>-</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>22.0</td> <td>→</td> <td>42.6</td> <td>27.0</td> <td>%</td> <td>55.0</td> <td>→</td> <td>54.4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	単位	実績			目標	単位	実績			-		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-	%	22.0	→	42.6	27.0	%	55.0	→	54.4	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th colspan="3">実績</th> <th>-</th> </tr> <tr> <td></td> <th>H27</th> <td></td> <th>R1(H31)</th> <td>-</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>55.0</td> <td>→</td> <td>54.4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	単位	実績			-		H27		R1(H31)	-	%	55.0	→	54.4	-
	単位	実績			目標	単位	実績			-																																					
	H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-																																						
%	22.0	→	42.6	27.0	%	55.0	→	54.4	-																																						
単位	実績			-																																											
	H27		R1(H31)	-																																											
%	55.0	→	54.4	-																																											

(客観的指標の推移)	18-① 枚方市駅利用者の市域人口に対する割合【社会指標】	18-② 枚方市駅周辺の広場におけるイベント参加者数																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標の説明</th> <th>枚方市駅の乗降客数(日あたり) / 市域人口</th> <th>指標の説明</th> <th>枚方市駅周辺の岡東中央公園や岡本町公園で実施されたイベントの参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> </td> <td colspan="2"> </td> </tr> </tbody> </table>	指標の説明	枚方市駅の乗降客数(日あたり) / 市域人口	指標の説明	枚方市駅周辺の岡東中央公園や岡本町公園で実施されたイベントの参加者数					<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th colspan="4">実績</th> <th>めざすべき方向</th> <th>単位</th> <th colspan="4">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td></td> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1(H31)</th> <td></td> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1(H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>23.0</td> <td>22.7</td> <td>23.2</td> <td>算定中</td> <td>↗</td> <td>人</td> <td>167,620</td> <td>199,300</td> <td>185,300</td> <td>195,400</td> <td>200,000</td> </tr> </tbody> </table>	単位	実績				めざすべき方向	単位	実績				目標		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	%	23.0	22.7	23.2	算定中	↗	人	167,620	199,300	185,300	195,400	200,000
	指標の説明	枚方市駅の乗降客数(日あたり) / 市域人口	指標の説明	枚方市駅周辺の岡東中央公園や岡本町公園で実施されたイベントの参加者数																																										
単位	実績				めざすべき方向	単位	実績				目標																																			
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)																																			
%	23.0	22.7	23.2	算定中	↗	人	167,620	199,300	185,300	195,400	200,000																																			

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して20.6ポイント上昇しており、目標値を達成しています。一方、重要度については、平成27年度と比較して0.6ポイント下落しています。

・【枚方市駅周辺の再整備の推進】として、枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業などに取り組みました。施策指標「枚方市駅利用者の市域人口に対する割合」については、平成28年度以降めざすべき方向に沿った推移をしています。

・【枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出】として、枚方市駅周辺賑わい創出事業などに取り組みました。施策指標「枚方市駅周辺の広場におけるイベント参加者数」については、平成27年度に目標値を達成したため、新たに目標値を設定し、引き続き取り組みを進めています（※当初目標値145,000人）。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、目標値に向かって推移しています。また、社会指標についても、めざすべき方向に向かって推移していることから、施策として一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇している一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みを行っていく必要があります。

施策評価員からは、「中心市街地のにぎわいは、商業施設の進出や活発なイベントなど、民間の活動による影響が大きい。行政としてその活力が生かせるようバックアップを行い、市民が誇りに思える中心市街地にしていきたい」との意見をいただいております。今後は、国・府をはじめ事業者など様々な関係者との連携、協力により、枚方市駅周辺再整備基本計画等を策定するとともに、枚方市駅北口駅前広場から府住宅供給公社枚方団地、京阪電気鉄道株式会社枚方事務所を含むエリアである③街区の事業着手に向けて公民連携のもと取り組みます。

総括評価シート

基本目標	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	所 管 部	総合政策部 産業文化部 社会教育部
施策目標	19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
4つの重点的に進める 施策との関係	4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる		
取り組みの方向	19-① 歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。 19-② 本市が有する歴史文化遺産や淀川、東部地域の自然などの貴重な観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流機会の創出を図ります。 19-③ 大学の知的資源をまちづくりに生かすため、「学園都市ひらかた推進協議会」などによる大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携による取り組みを進めます。 19-④ 学生の活力を生かしたまちづくりを進めるため、教育などさまざまな分野で、学生のまちづくりへの参画を図ります。		

施策の推進に要したすべての費用	約4億2885.4万円
-----------------	-------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
19- 特別史跡百済寺跡再整備事業 ① 業	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後40年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を推進	243,210
19- ① 楠葉台場跡保存事業	市内の貴重な歴史文化遺産を後世に残し、市民の郷土愛を醸成するため、日本で唯一残る河川台場である「楠葉台場跡」について、史跡の適切な保存と活用を実施。「楠葉台場跡」をテーマとした文化財連続講座を実施	37,583
19- ① 文化財保存活用促進事業	市民の共有財産である文化財のさらなる保存と活用を図るため、文化財保存活用基金を設置した他、枚方市基金条例の一部改正を実施	30,000
19- ② 観光まちづくり推進事業	観光振興に向けた基礎データの収集・分析のため、訪問客実態調査等を実施。観光冊子の発行や地域情報サイトへの記事掲載等で、本市の魅力を発信した他、ページビューによる分析を実施。外国人旅行者をターゲットとした枚方市内の宿泊施設から商店街への誘導策について検討。クラウドファンディングによる魅力創出を支援	7,421
19- ② 観光資源発信事業	市が有する観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流を促進するため、枚方宿などで市の花「菊」を発信する菊フェスティバルを実施するとともに、百済寺跡やふとん太鼓などをテーマとしたイベントにより枚方市駅周辺に賑わいを創出する枚方フェスティバル協議会への支援を推進。また、ひらかた観光ステーション等を拠点とした市内の観光・物産・イベント等の情報発信を実施	41,809
19- ② 【再掲】 野外活動センター活性化事業	野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育むため、「学校キャンプ支援事業」等の自然学習や活動プログラムを拡充した他、進入路の塗装工事を実施する等、利用の促進を実施	67,751
19- ③ 市内大学連携・交流事業	大学の知的資源や学生の活力をまちづくりに生かすため、市内5大学と枚方市で構成する「学園都市ひらかた推進協議会」の取り組みとして、市内の小中学生を対象にした大学での学習体験や、特色ある各大学の専門知識などを生かした生涯学習講座を市民に提供。また、市内大学と地域との交流を促進し、教育等の分野で学生と連携した取り組みの推進	540

19- ③ 産学公連携事業	知的資源である大学や市内企業等と連携し、技術革新や新産業の創出を目指して、本市とひらかた地域産業クラスター研究会、北大阪商工会議所、学園都市ひらかた推進協議会等の共催により、産学公連携フォーラムを開催	0
19- 【再掲】 ④ 市内大学連携・交流事業	大学の知的資源や学生の活力をまちづくりに生かすため、市内5大学と枚方市で構成する「学園都市ひらかた推進協議会」の取り組みとして、市内の小学生を対象にした大学での学習体験や、特色ある各大学の専門知識などを生かした生涯学習講座を市民に提供。また、市内大学と地域との交流を促進し、教育等の分野で学生と連携した取り組みの推進	540

（主観的指標の推移）	【満足度】 市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	【重要度】 地域資源を生かし、人々の交流を盛んにするための施策が重要だと思う市民の割合							
	単位	実績	目標	単位	実績	-			
		H27		R1(H31)		H27		R1(H31)	-
	%	20.8	→	21.2	23.8	%	45.8	→	44.6

（客観的指標の推移）	19-① 旧田中家鋳物民俗資料館等と学校教育との連携行事参加者数	19-② 観光ステーション利用者数										
	指標の説明	旧田中家鋳物民俗資料館及び枚方宿鍵屋資料館の市内小学校の団体入館者数及び資料館職員が市内小学校に出向いて行う出前講座の受講者数	指標の説明	市内の観光情報の発信や、枚方のオリジナルグッズを扱うひらかた観光ステーションにおける購入者数								
	単位	実績	目標	単位	実績	目標						
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
	人	4,656	3,726	4,472	4,994	5,150	人	27,900	26,300	27,000	25,640	35,000
	19-③ 市と大学との連携事業に参加した市民の人数	19-④ 市と大学との連携事業に参加した学生数										
	指標の説明	ひらかた市民大学・子ども大学探検隊に参加した市民の人数	指標の説明	イベントの開催など市と市内大学との連携事業に参加した学生数								
単位	実績	目標	単位	実績	目標							
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		
人	334	383	255	482	410	人	1,775	1,659	1,738	1,906	4,700	

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.4ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については、平成27年度と比較して1.2ポイント下落しています。

・【歴史文化遺産を活用したまちづくりの推進】として、特別史跡百済寺跡再整備事業や文化財保存活用促進事業などに取り組みました。施策指標「旧田中家鋳物民俗資料館等と学校教育との連携行事参加者数」については、平成28年度以降目標値に向かって推移しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【地域内外の交流機会の創出】として、観光まちづくり推進事業や観光資源発信事業などに取り組みました。施策指標「観光ステーション利用者数」については、平成28年度から平成29年度にかけて上昇しているものの、平成30年度に下落しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

・【産学公の連携による取り組みの推進】として、市内大学連携・交流事業や産学公連携事業などに取り組みました。施策指標「市と大学との連携事業に参加した市民の人数」については、平成30年度に目標値を達成しています。施策指標「市と大学との連携事業に参加した学生数」については、平成28年度以降目標値に向かって推移しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【学生のまちづくりへの参画】として、市内大学連携・交流事業などに取り組みました。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、目標値と逆方向に推移した指標はあるものの、既に目標値を達成した指標や、策定時の値と比較して上昇している指標もあり、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇している一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みが必要です。

施策評価員からは、「既存観光資源は継続して推進するものとし、視点をさらに広げて、ショッピングツーリズムや医療ツーリズム、遊園地活用などの民間事業者を巻き込んだ施策の可能性を調査してはどうか」、また「学生のまちづくりへの参画を推進するためには、中学校、高校在学中にまちづくりに参画する機会を提供することで、関心のある学生を育てていくという観点が必要である」との意見をいただいております。今後は、五六市や淀川舟運、天野川の七夕伝説などの貴重な地域資源をさらに活用するとともに、枚方船着場から枚方宿、枚方市駅周辺地域を面でとらえ、国や他自治体と連携した取り組みや、さらには民間のビジネス展開を主とする取り組みを通じて、地域の活性化を図ります。また、大学の持つ専門性や学生の活力をまちづくり等に生かすことを目的に、市内5大学で構成している「学園都市ひらかた推進協議会」の取り組みとして実施している「中高生を対象とした大学体験事業」について、さらなる参加者増に向けた取り組みを進めます。

総括評価シート

基本目標	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	所管部 産業文化部 福祉部
施策目標	20 いきいきと働くことのできるまち	
4つの重点的に進める施策との関係	4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる	
取り組みの方向	20- 就職困難者に対する就労支援をはじめ、地域の実情に応じた新たな雇用機会の創出など、雇用対策の充実に取り組みます。	

施策の推進に要したすべての費用	約8490.7万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
20- ① 雇用対策・就労支援事業	市内の雇用・就労環境の改善を図り、市内産業の活性化につなげるため、ハローワーク枚方をはじめ、大阪府及び近隣市等と連携し、企業就職面接会やイベントを開催した他、就労につながるスキルを身につけるための就労支援講座を開催。また、就労支援コーディネーターによる就労相談等の支援を実施	27,324
20- ① 市内企業若者雇用推進事業	市内中小企業の若者人材確保及び雇用促進を図るため、企業向け及び求職者向けに各種支援セミナーや研修等を実施した他、市内企業のPRを目的としたプロモーションビデオを制作し、合同企業面接会等で放映を実施する等、求職前段階から就職、就職後の定着支援まで一貫した産業人材の育成確保支援を実施	17,181
20- ① 生活保護受給者等就労支援事業	生活保護受給者や生活困窮者の社会的・経済的な自立を促すため、庁舎内に設置された「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」と連携しながら、カウンセリングから採用に向けたアドバイス、適切な求人情報の提供等、就労に向けた支援を実施	40,166
20- ① 生活困窮者自立支援制度に係る家計改善支援事業	自立相談支援センターにて、ファイナンシャルプランナー等家計管理の専門知識を有する家計相談支援員を配置し、家計管理の方法について助言・指導を実施	236

(主観的指標の推移)	【満足度】					【重要度】				
	市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合					いきいきと働くことができるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績			-
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-
%	18.3	→	20.7	23.3	%	62.4	→	59.1	-	

(客観的指標の推移)	20-① 地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数					20-① 就労支援対象者（生活保護受給者・生活困窮者）のうち就労に結びついた人数					
	指標の説明 地域就労支援センター相談者及び合同企業就職面接会参加者のうち実際に就労に結びついた人数					指標の説明 生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数 ※生活困窮者への就労支援はH27年度から実施。 また、「就労支援ひらかた」はH27年4月から開設					
	単位	実績				目標	単位	実績			
人	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	人	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	46	76	63	66	109		126	133	151	125	220

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して2.4ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については、平成27年度と比較して3.3ポイント下落しています。

・【雇用対策の充実】として、雇用対策・就労支援事業や生活保護受給者等就労支援事業などに取り組みました。施策指標「地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数」については、平成28年度から平成29年度にかけて下落しているものの、平成30年度に上昇しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。施策指標「就労支援対象者(生活保護受給者・生活困窮者)のうち就労に結びついた人数」については、策定時の値(131人)を下回っており、引き続き取り組みを進める必要があります。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、策定時の値を下回っています。主観的指標の推移については、満足度については平成27年度と比較して上昇しているものの、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みを行っていく必要があります。

施策評価員からは「業種によっては人手不足が言われている中で、求職者を掘り越すことは難しいのではないかとと思うが、地道に取り組んでいただきたい。また、本施策から就労に結び付いた方のフォローアップや満足度調査などから参考になる意見を引き出し、枚方市で働くことのPRにつなげてほしいのではないか」との意見をいただいております。今後は、中高年齢者の雇用創出に向け、関係機関との連携強化に努めるとともに、若年人材へのアプローチ方法や、中小企業で働く魅力の発信について、新たな手法を検討します。

総括評価シート

基本目標	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	所管部 産業文化部
施策目標	21 地域産業が活発に展開されるまち	
4つの重点的に進める施策との関係	4 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる	
取り組みの方向	21- 企業誘致を促進するほか、企業団地などを中心に製造業の集積を図るなど、市内産業の活性化を図ります。 ① 21- 中小企業の競争力強化のため、経営基盤の強化を図るとともに、産業技術や製品などを広く発信することで、市内産業の振興を図ります。 ② 21- 創業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりの充実を図ります。 ③ 21- 市内の企業・個人等が特徴ある地域資源などを活用した新たな事業展開に取り組める環境づくりを進めます。 ④ 21- 身近な地域で買い物ができる利便性の向上や、地域活力の向上を図るため、主体的に取り組む商店街の活性化を図ります。 ⑤	

施策の推進に要したすべての費用	約2億1866.7万円
-----------------	-------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
21- ① 地域産業基盤強化事業	市内企業の経営基盤の強化及び産業集積を図るため、産業集積地域における新規立地や設備投資を行う製造業への補助として、産業基盤強化奨励金の交付を実施	5,750
21- ① 住工共生環境対策支援事業	工場と住宅が近接し、企業と近隣住民との相隣関係において問題が発生した場合に、企業の操業環境の維持と住環境の保全に寄与するため、企業が生活環境を保全する設備を新規導入又は改修した場合に、その経費の一部を補助する制度を創設し、周知を実施	0
21- ② 中小企業経営安定化支援事業	市内中小企業の経営安定化を図るため、地域活性化支援センターにおいて事業者等に向けたセミナーを開催した他、事業者支援を目的とした情報発信を実施。専任相談員による経営・創業等の相談事業等を実施。また、小規模事業者を対象とした「枚方市小企業事業資金融資制度」利用者への信用保証料補給を実施	125,828
21- ③ 創業支援事業	市内で創業しやすい環境の充実を図り、地域活性化支援センターにおいて、創業に関するセミナーや創業相談、インキュベートルームの貸出し、創業後の事務所などの賃貸料の助成等まで一貫した創業支援を実施	5,848
21- 【再掲】 ④ 観光まちづくり推進事業	観光振興に向けた基礎データの収集・分析のため、訪問客実態調査等を実施。観光冊子の発行や地域情報サイトへの記事掲載等で、本市の魅力を発信した他、ページビューによる分析を実施。外国人旅行者をターゲットとした枚方市内の宿泊施設から商店街への誘導策について検討。クラウドファンディングによる魅力創出を支援	7,421
21- ④ 名物開発・発信事業	共通の資源が存在する交野市や北大阪商工会議所、民間事業者などと連携し、両市をPRする取り組みとして、賑わい創出事業や、枚方・交野市内の事業者の酒商品開発に向けたマッチングなどを実施。また、両市の地域資源を活用した新たな名物開発の取り組みを実施	2,397
21- ④ 枚方市産業活性化支援事業	地域資源を活用した事業等、新規性・継続性に優れたニュービジネスの取り組みを支援するため、審査を経て事業選定を実施。市内中小企業を対象に、展示会への出展支援を実施	17,575

21- 枚方市商店街等活性化促進 ⑤ 事業	商店街の活性化を図るため、にぎわいの創出や魅力づくりに主体的に取り組む商店街へ補助金を交付し、支援を実施。補助金の完了報告時の書類審査等で制度の効果検証や見直しの検討を実施。既存の補助対象事業の内容及び新規の補助対象事業の検討を実施	53,848
--------------------------	--	--------

(主観的指標の推移)	【満足度】 【再掲】 市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合					【重要度】 地域産業を活発に展開するための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績			-
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-
	%	18.3	→	20.7	23.3	%	57.4	→	55.2	-

21-① 地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数（累計）						21-② 地域活性化支援センターホームページ等のアクセス数					
指標の説明		地域産業基盤強化奨励金制度の認定を受けて、市内の産業集積地域において製造業事業者が新規立地や設備投資を行った件数（累計）				指標の説明		市内産業を発信する「地域活性化支援センターホームページ」及び「ものづくり企業支援総合サイト」のアクセス数			
単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	16	16	18	18	24	件	542,561	690,468	759,537	1,184,318	1,200,000

21-③ 市の創業支援を受けて創業した件数						21-④ 市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数					
指標の説明		地域活性化支援センターにおける創業支援や地域資源を活用した新規事業支援により創業した件数				指標の説明		市内企業が市の支援を受けて各種展示会に出展し販路拡大に取り組んだ件数			
単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
件	18	17	24	12	31	件	10	11	15	14	20

21-⑤ 商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数						21-①～⑥ 市内民営事業所数【社会指標】					
指標の説明		商店街が市の支援制度を活用して活性化に取り組んだ件数				指標の説明		市内の全民営事業所数（経済センサス-基礎調査、経済センサス-活動調査より）			
単位	実績				目標	単位	実績				めざすべき方向
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		策定時	H28	H29	H30	R1(H31)
件	36	37	39	37	34	事業所	10696	10,049	-	-	↗

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合」については、平成27年度と比較して2.4ポイント上昇しているものの、目標値達成には至りませんでした。一方、重要度については、平成27年度と比較して2.2ポイント下落しています。

・【市内産業の活性化】として、地域産業基盤強化事業や住工共生環境対策支援事業などに取り組みました。施策指標「地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数」については、策定時の値(17件)と比較して4件上昇しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【市内産業の振興】として、中小企業経営安定化支援事業などに取り組みました。施策指標「地域活性化支援センターホームページ等のアクセス数」については、平成27年度に目標値を達成したため、新たに目標値を設定し、引き続き取り組みを進めています(※当初目標値465,400件)。

・【市内で独立創業できる環境づくりの充実】として、創業支援事業などに取り組みました。施策指標「市の創業支援を受けて創業した件数」については、平成30年度に目標値と逆方向に推移しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

・【新たな事業展開に取り組める環境づくりの推進】として、名物開発・発信事業や枚方市産業活性化支援事業などに取り組みました。施策指標「市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数」については、平成28年度から平成29年度にかけて上昇しているものの、平成30年度に下落しており、目標値の達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。

・【主体的に取り組む商店街の活性化】として、枚方市商店街等活性化促進事業などに取り組みました。施策指標「商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値と逆方向に推移した指標はあるものの、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して上昇している一方で、重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みが必要です。

施策評価員からは「社会の状況に影響を受け、変化していく企業の活動を踏まえながら引き続き取り組みを推進していただきたい」との意見をいただいております。今後は、市内に所在するものづくり企業や大阪工業大学等の教育機関、金融機関等と連携し、地域の課題解決に向けた技術開発研究や企業の新たな分野への進出、金融機関による支援など、地域経済の活性化策を検討するとともに、創業環境の充実に向け、民間主体のビジネス拠点活動との連携について検討します。

総括評価シート

基本目標	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	所 管 部 産業文化部
施策目標	22 農を守り、生かすまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	22- より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の ① 普及・拡大を図ります。 22- 「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広 ② い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。	

施策の推進に要したすべての費用	約 4 0 6 4 . 8 万円
-----------------	------------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
22- ① 地産地消推進事業	学校給食にエコレンゲ米や野菜など地元農産物20品目を供給し、地産地消を促進。また、農業者団体(市内直販団体)による自家生産の農産物を市民へ直接対面販売する「ふれあい朝市」の開催を支援。生涯学習市民センターでプチマルシェを試行実施	12,957
22- ① エコ農産物普及促進事業	「レンゲ米」の種子購入者に対して、購入費用の補助を実施。また、「大阪エコ農産物認証制度」の普及拡大を図るとともに、「大阪エコ農産物」の販売会を年2回開催	2,730
22- ① 農業被害対策事業	大阪府猟友会との業務委託契約により、有害鳥獣の捕獲を実施。平成29年はイノシシ19頭(435kg)、平成30年度はイノシシ17頭(385kg)を捕獲し、農地の保全や農作物等に係る被害が減少	700
22- ② 新規就農者育成事業	就農初期における農業経営安定化支援として、認定新規就農者が行う設備投資等に対して補助金を交付や就農後のサポート支援、農地貸借に対する奨励金を交付。また、新たな担い手の育成につなげるため、体験型農園で野菜作り講座を試行実施	15,574
22- ② 農業体験拡充事業	「農」とふれあい、農業への理解を促進するため、小学生が植え付けから収穫、農産物の調理・加工、試食までを体験する食農体験学習の支援を実施。また、農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫体験できる「ふれあいツアー」を開催	8,687

(主観的指標の推移)	【満足度】 農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じている市民の割合	【重要度】 農を守り、生かすための施策が重要と思う市民の割合							
	単位	実績	目標	単位	実績	目標			
		H27	R1(H31)	R1(H31)	H27	R1(H31)	-		
	%	21.6	→	23.6	24.6	%	51.4	→	51.8

(客観的指標の推移)	22-① エコ農産物認証申請栽培面積	22-① 市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数									
	指標の説明	農薬の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物認証を申請して、認証された面積	指標の説明	枚方市駅周辺をはじめとした市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数							
	単位	実績	目標	単位	実績	目標					
アール	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	R1(H31)					
	5,596.9	5,777.8	5,821.8	5,673.05	6,900	回	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
							743	849	864	741	740

(客観的指標の推移)	22-② 「都市農業ひらかた道場」研修修了生のうち就農につながった人数					22-② 農業ふれあい体験者数						
	指標の説明		都市農業ひらかた道場研修生のうち就農につながった人数(市外就農者・雇用就農者含む)			指標の説明		地元農家が育てた野菜などを収穫する農業ふれあいツアーの体験者数				
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	人	2	0	0	0	15	人	5,315	4,814	3,616	2,125	5,500
22-② 食農体験学習実施校数												
指標の説明		地元農家の指導により植付から収穫までを連続的に体験する食農体験学習を実施した小学校数										
単位	実績				目標							
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)							
校	20	17	14	14	21							

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して2.0ポイント上昇していますが、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度についても平成27年度と比較して0.4ポイント上昇しています。

・【地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大の推進】として、地産地消推進事業やエコ農産物普及促進事業などに取り組みました。施策指標「市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数」については、目標値を達成しています。一方、「エコ農産物認証申請栽培面積」については、策定時の値(5,908.2アール)と比較して235.15アール減少しており、目標値の達成は厳しい状況です。

・【幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を推進】として、新規就農者育成事業や農業体験拡充事業に取り組みました。施策指標「農業ふれあい体験者数」及び「食農体験学習実施校数」については、農家の高齢化等により受け入れ農家が減少傾向にあり、目標値の達成は厳しい状況です。

課題や今後の対応

5つの客観的指標のうち、1つについては既に目標値を達成しているものの、残り4つについては、目標値と逆方向に推移していることから、必要に応じて事業の再構築を行う必要があります。

また、主観的指標の推移を見ると、満足度及び重要度共に平成27年度と比較して上昇していることから、必要に応じて取り組みの充実を図りながら、効率的な事業の執行を図る必要があります。

施策評価員から「農家の高齢化問題について考えていくべきである。就農につながった人たちにその役割を担っていただけるような取り組みが必要である」との意見をいただいております。今後は、新たな農業の担い手の育成、販路の拡大、特産物の創出、6次産業化などに取り組みます。また、農業と福祉双方の課題解決にメリットがある「農福連携」の取り組みについて研究します。

総括評価シート

基本目標	自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	所管部 環境部 土木部
施策目標	23 豊かな自然環境を大切にするまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	23- 里山などの豊かな自然空間を保全・継承していくため、自然と親しみ、自然の大切さを発信するとともに、森林ボランティア育成などに取り組みます。 ① 23- 市街地に残された貴重な農地や樹林地の保全に取り組みます。 ②	

施策の推進に要したすべての費用

約1219.5万円

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
23-① 森林ボランティア育成事業	里山講座や森林スペシャリスト育成講座を実施。参加者に里山保全の知識や技術を習得してもらい、里山ボランティア活動団体への参加を促進	2,341
23-① 里山保全推進事業	第二京阪道路以東の東部地域の里山を、市民全体の貴重な財産として保全継承していくため、平成28年度策定の第2次里山保全基本計画に基づき、市民や地権者等との連携促進や、里山保全に関する取り組みを実施	1,732
23-② 自然保護啓発事業	自然観察会や自然環境を考える講演会を開催し、自然保護の啓発を実施。また、平成29年度から30年度にかけて第6回目の自然環境調査を実施。調査には、環境保全に対する理解と関心を高めることを目的に、市民参加型の調査手法を採択	8,122

(主観的指標の推移)	【満足度】 里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合				【重要度】 豊かな自然環境を大切にするための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績		
		H27		R1(H31)			R1(H31)	H27	
%	40.2	→	32.8	43.2	%	60.9	→	62.2	-

(客観的指標の推移)	23-① 森林ボランティア育成講座修了者数(累計)					23-① 里山保全活動団体の活動日数					
	指標の説明	森林ボランティア育成講座の受講者のうち、規定の日数に出席し、修了証を取得した人数(累計)				指標の説明	東部地域で活動する里山ボランティア活動団体の年間活動日数(累計)				
単位	実績				目標	単位	実績				目標
人	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	日	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	265	276	287	306	346		2,243	2,511	2,779	3,032	3,296

（客観的指標の推移）	23-② 緑地面積					23-① 東部地域の緑被率					
	指標の説明		都市公園やそれに準じる施設、緑地保全地域などの法律や条例などで土地利用を管理して確保する緑地など、将来にわたって確保される可能性の高い担保性のある緑地の面積			指標の説明		第二京阪道路以東の地域における緑で被われた土地の面積の割合			
	単位	実績				目標	単位	実績			
ha	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	1,512	1,511	1,512	1,509	1,521		77.9	77.9	77.9	77.9	77.9

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して7.4ポイント下落しています。一方、重要度については平成27年度と比較して、1.3ポイント上昇しています。

・【自然と親しみ、自然の大切さを発信するとともに、森林ボランティア育成などに取り組みの推進】として森林ボランティア育成事業や里山保全推進事業などに取り組みました。施策指標「森林ボランティア育成講座終了者数」については、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【貴重な農地や樹林地の保全の取り組みの推進】として、自然保護啓発事業などに取り組みました。施策指標「緑地面積」については、策定時の値(1,516ha)と比較して7ha減少しており、引き続き取り組みを進める必要があります。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、目標値と逆方向に推移した指標があるものの、既に目標値を達成した指標や、策定時の値を上回っている指標もあり、施策全体として見れば一定の成果があったと考えられます。一方、主観的指標の推移については、満足度が平成27年度と比較して下落しており、重要度については平成27年度と比較して上昇していることから、その要因を分析し、市民の満足度を高めるための取り組みを行っていく必要があります。

今後は、里山講座のさらなるPRや催しを実施することで、森林ボランティア育成講座の受講者を増やし、修了者数のさらなる増加を目指すとともに、自然観察会などのフィールド活動を取り入れるなど、里山の利活用を促進し、市民の関心を高めます。また、自然環境保護に関するイベント開催のポスター掲示やチラシの配布にあたっては、大阪府や市内企業と連携することにより、イベント開催の周知範囲を広げることで、市民が自然環境に触れ合う機会のさらなる増加を目指します。

総括評価シート

基本目標	自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	所管部 市駅周辺等 活性化推進 部 土木部
施策目標	24 まちなかのみどりを育てるまち	
4つの重点的に進める 施策との関係		
取り組みの方向	24- 市民が日常生活の中で、自然とふれあい親しめる場を確保するため、まちなかのみどりや、子育て世帯など幅広い世代の人々にとって憩いの場となる公園、河川敷などの緑地空間を守り、創出します。 ①	

施策の推進に要したすべての費用	約13億8399.9万円
-----------------	--------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
24- ① プレーパーク推進事業	子育て環境の充実と地域の活性化を図るため、子どもたちが創造や工夫により自ら遊び場を作る「子どもの冒険遊び場」として、香里ヶ丘地区の桑ヶ谷の緑地において市民活動団体と協働して、木竹を利用した木登りや竹細工、ツリーテラスづくりなどを実施	0
24- ① 市道緑化推進事業	まちなかの緑地空間を創出するため、市道における街路樹の整備や適正な維持管理を実施	0
24- ① 公園整備事業	市民が日常生活の中で自然と親しめる場を確保することや、桜の名所づくりなどに取り組むため、まちなかの公園整備を推進。星ヶ丘公園や東部公園等の整備を実施。	1,299,014
24- ① 香里ヶ丘中央公園改修事業	香里団地センター地区の拠点にふさわしい機能を確保し、地域の更なる賑わいを図るため、図書館の建て替えと合わせ、利用者ニーズにあった施設機能を確保するため、本公園の改修工事を実施	49,229
24- ① みどりのプラットホーム設置・運営事業	まちなか緑化の推進や公園・緑地の利活用につながる取り組みの実施、及びみどりに関する相談やコーディネートを担う市民コミュニティとして「みどりのプラットホーム」を設置するため、メンバー募集に始まり、メンバー自らによる小さな実験の企画・立案等を通じて自立運営に向けたノウハウの習得等を実施	6,195
24- ① 緑化推進事業	緑化フェスティバルの開催や花いっぱい運動等の実施に加え、まちなか緑化をより一層推進するため、花と緑のまちづくり基金を活用し、市民等による民有地緑化やまちなかの花壇整備等に対する支援を実施	29,561

（主観的指標の推移）	【満足度】 普段の生活の中でみどりとふれあえると感じている市民の割合				【重要度】 まちなかのみどりを育てるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27		R1(H31)		H27		R1(H31)	-
	%	48.4	→	48.3	51.4	%	63.6	→	65.8

(客観的指標の推移)	24-① 街路樹延長距離					24-① 桜の植樹本数 (累計)						
	指標の説明		市道の緑化済道路延長距離			指標の説明		市内における桜の植樹本数 (累計)				
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	m	34,283	34,283	34,240	34,240	35,700	本	4,477	4,477	4,477	4,477	4,555
	24-① 【再掲】 緑地面積					24-① まちなかの緑被率						
	指標の説明		都市公園やそれに準じる施設、緑地保全地域などの法律や条例などで土地利用を管理して確保する緑地など、将来にわたって確保される可能性の高い担保性のある緑地の面積			指標の説明		第二京阪道路以西の地域における緑で被われた土地の面積の割合				
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
ha	1,512	1,511	1,512	1,509	1,521	%	29.7	29.7	29.7	29.7	29.7	

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「普段の生活の中でみどりとふれあえると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.1ポイント下落しており、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については平成27年度と比較して、2.2ポイント上昇しています。

・【憩いの場となる公園、河川敷などの緑地空間を守り、創出】として、市道緑化事業や公園整備事業などに取り組みました。施策指標「街路樹延長距離」については、幹線道路の整備がないため、街路延長が伸びておらず、目標値の達成は厳しい状況です。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、平成27年度と比較して横ばい若しくは下落しています。主観的指標の推移を見ても、満足度については平成27年度と比較して下落している一方で、重要度については平成27年度と比較して上昇していることから、その要因を分析し、市民の満足度を高めるために、重点的な取り組みを行っていく必要があります。

今後は、多様な主体との連携を推進し、さらに活性化させるとともに、みどりに触れ合う機会の創出や場の提供に向けて、緑化推進に関するイベントやプレーパークの継続的な実施の他、香里ヶ丘中央公園の改修などの公園整備、市道の緑化推進に取り組めます。

総括評価シート

基本目標	自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	所管部 環境部
施策目標	25- ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	25- ごみの発生抑制を最優先に、4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）①を推進します。 25- 穂谷川清掃工場第3プラントの老朽化に伴い、新たなごみ処理施設の整備を進めます②。	

施策の推進に要したすべての費用	約10億3858.5万円
-----------------	--------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
25-① ごみ減量化対策事業	ごみの発生抑制を図るため、市民・事業者・行政による4Rの取り組みを推進。各学校園にて環境学習の実施や駅前・店頭等で啓発キャンペーンを実施。ごみ減量フェアの開催や講演会、出前講座を行い、ごみ減量やリサイクルに関する情報を発信	5,034
25-① ごみ資源化事業	ごみの焼却量削減や資源の有効活用を図るため、ペットボトルや空き缶、小型家電等のごみの資源化を推進。ひらかた夢工房で市民ボランティアによる講習会・教室・発表会を開催し、リサイクル活動を支援	794,882
25-① ごみ置場適正管理推進事業	カラスによるごみの散乱被害防止のため、カラス対策マニュアルを作成。より効果の高い箱型のカラス対策ネットの普及・促進を図るため、購入費用の一部を支援する補助制度を実施	4,143
25-② 新ごみ処理施設整備事業	将来のごみ需要予測を踏まえた効率的・効果的なごみ処理を行えるよう、京田辺市との広域連携により、新たなごみ処理施設を整備するため、枚方京田辺環境施設組合を設立し、地質調査実施後、環境影響調査を実施	234,526

(主観的指標の推移)	【満足度】 ごみ減量や資源循環が進んでいると感じている市民の割合					【重要度】 ごみを減らし、資源の循環を進めるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績			目標	単位	実績			-
		H27		R1(H31)	R1(H31)		H27		R1(H31)	-
%	45.5	→	46.8	48.5	%	67.9	→	70.9	-	

(客観的指標の推移)	25-① 市民1人当たりのごみの排出量					25-① ごみの資源化率					
	指標の説明	ごみの排出量(1日当たり) / 人口				指標の説明	資源化できたごみの量 / ごみの総排出量				
	単位	実績				目標	単位	実績			
g	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	%	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	853	846	828	827	840		21.2	20.4	20.2	19.8	22.6

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「ごみ減量や資源循環が進んでいると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して1.3ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度についても3.0ポイント上昇しています。

・【4Rの推進】として、ごみ減量対策事業やごみ資源化事業などに取り組みました。施策指標「市民1人当たりのごみの排出量」については既に目標値を達成しています。一方、「ごみの資源化率」については、目標値と逆方向に推移しており、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【新たなごみ処理施設の整備】として、新ごみ処理施設整備事業に取り組みました。施策指標「新たなごみ処理施設整備の進捗状況」については、建設工事着手に向けて取り組みを進めています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、目標値と逆方向に推移した指標と、既に目標値を達成した指標があります。主観的指標の推移については、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、必要に応じて取り組みの充実を図りながら、効率的な事業の執行を図る必要があります。

施策評価員からは「市民一人あたりのごみ排出量が減少していることは評価すべき。個人、事業者ともに意識づけが重要だと思うので、引き続き積極的に推進していただきたい」との意見をいただいております。今後は、国連で採択されたSDGsの目標達成に向けて、「プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言」を行うなどの取り組みを進めるとともに、事業系ごみ手数料の見直し、適正化に向けた取り組みや、枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。

総括評価シート

基本目標	自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	所 管 部 環境部 上下水道事 業部
施策目標	26 安全で良好な生活環境が確保されたまち	
4つの重点的に進める 施策との関係		
取り組みの方向	26- 大気・土壌汚染等の公害の未然防止を図るとともに、産業廃棄物などの発生抑制や適 ① 正処理の推進に取り組みます。 26- 市民の生活や産業活動を支えるため、安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給 ② します。 26- 河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進すると ③ もに、生活排水等の適正処理を進めます。	

施策の推進に要したすべての費用	約117億3191.7万円
-----------------	---------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
26- 大気汚染等環境監視・指導 ① 事業	公害の未然防止を図るため、窒素酸化物・微小粒子状物質(PM2.5)・浮遊粒子状物質等の大気汚染物質の測定、市内河川の水質調査、騒音・振動調査等を実施するとともに、公害関係法令などに基づき工場・事業場への指導等を実施	101,168
26- 産業廃棄物適正処理推進事 ① 業	産業廃棄物の適正な処理のため、排出事業者に対し、各種届出の受理や指導を行うとともに、産業廃棄物処理業等の許可、指導を実施。また、PCB廃棄物について、保管事業者等に立入調査や指導を実施するとともに、掘り出し調査を実施	1,572
26- 【再掲】 ② 水道施設更新・耐震化事業	水道水を安定的に供給するため、経年劣化が進む中宮浄水場について施設の更新事業に着手。また、災害発生時の市内各地の応急給水に対応するため、受・配水施設への緊急遮断弁の設置及び耐震化を推進	2,641,574
26- 【再掲】 ② 水道管路更新・耐震化事業	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新・耐震化や鉛製給水管の取替え等を実施。水道施設・管路の更新及び耐震化を効果的・効果的に推進するために、「枚方市水道施設整備基本計画」を策定	5,494,403
26- 公共下水道(汚水)整備事 ③ 業	快適な生活環境を支え、水質汚濁を防止するため、公共下水道(汚水)の整備・改良を推進	3,066,440
26- 淀川衛生工場し尿処理施設 ③ 整備事業	効率的・効果的なし尿処理を進めるため、淀川衛生工場において、処理方法・処理施設が簡素な希釈放流方式に見直し、「なわて水みらいセンター」への希釈放流を行うための整備を実施。平成29年12月18日より希釈放流を開始	426,760

（主観的指標の推移）	【満足度】 安全で良好な生活環境が確保されていると感じている市民の割合				【重要度】 安全で良好な生活環境を確保するための施策が重要だと思う市民の割合				
	実績		目標	実績		実績		-	
	単位	H27	R1(H31)	単位	H27	R1(H31)	-		
%	42.5	→	36.8	45.5	%	72.5	→	73.4	-

26-① 環境基準（水質）の達成状況					26-① 産業廃棄物の不適正処理に関する通報に対する処理完了率						
指標の説明		環境監視による水質（BOD）の環境基準達成度			指標の説明		産業廃棄物の不適正処理に関する通報のうち、処理が完了した件数／通報件数				
単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	66.7	100	100	100	100	%	89.3	93.3	88.2	91.0	100
26-② 耐震性能を有する水道管路の割合					26-① 環境基準（大気）の達成状況						
指標の説明		耐震性能を有する水道管路延長／全水道管路延長			指標の説明		環境監視による大気環境基準達成度				
単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	21.0	22.3	23.9	24.9	24.2	%	89.3	89.3	89.3	89.3	100.0
26-① 環境基準（騒音）の達成状況					26-③ 公共下水道（汚水）の人口普及率						
指標の説明		環境監視による騒音の環境基準達成度			指標の説明		公共下水道整備人口／行政人口				
単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	96.9	97.8	97.9	97.9	100.0	%	95.6	96.1	96.6	96.7	97.1
26-③ 生活排水の適正処理率											
指標の説明		生活排水の処理人口（公共下水道接続人口＋合併処理浄化槽処理人口等）／行政人口									
単位	実績				目標						
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)						
%	96.9	97.3	97.5	97.8	97.1						

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「安全で良好な生活環境が確保されていると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して5.7ポイント下落しており、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については平成27年度と比較して0.9ポイント上昇しています。

・【大気・土壌汚染等の公害の未然防止や産業廃棄物などの発生抑制や適正処理の推進】として、大気汚染等環境監視・指導事業や産業廃棄物適正処理推進事業などに取り組みました。施策指標「環境基準(水質)の達成状況」については、既に目標値を達成しています。また、「産業廃棄物の不適正処理に関する通報に対する処理完了率」については策定時の値(86.7%)と比較して4.3ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【公共下水道の整備の促進と生活排水等の適正処理】として、公共下水道(汚水)整備事業や淀川衛生工場し尿処理施設整備事業などに取り組みました。施策指標「公共下水道(汚水)の人口普及率」については、策定時の値(95.1%)と比較して1.6ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。一方、「生活排水の適正処理率」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

7つの客観的指標のうち、3つについては既に目標値を達成しました。残り4つのうち、1つは策定時の値と変わらないものの、3つは策定時の値と比較して上昇しており、施策の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移については、満足度は平成27年度と比較して下落している一方で、重要度は平成27年度と比較して上昇していることから、その要因を分析し、市民の満足度を高めるために、重点的な取り組みを行っていく必要があります。

今後は、大気・騒音等の環境基準の達成に向けて引き続き取り組むとともに、産業廃棄物の適正処理に向けて、啓発や市内パトロールによる監視、監視カメラの適正配置、適正処理の指導など、効果的な取り組みを継続して実施します。また、計画的に公共下水道の整備を進めます。

総括評価シート

基本目標	自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	所管部 環境部 土木部
施策目標	27 地球温暖化対策に取り組むまち	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	27- ① 再生可能エネルギーの利用拡大を進めます。 27- 市民や事業者、行政などあらゆる主体が連携・協力しながら、環境教育・学習を推進 ② するとともに、省エネルギーの取り組みを進めます。	

施策の推進に要したすべての費用	約1億361.4万円
-----------------	------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
27- 再生可能エネルギー導入等 ① 推進事業	低炭素社会の実現に向けて、新設や既存の公共施設への太陽光発電システムなどの導入や、市の太陽光発電システムなどを活用した再生可能エネルギーの普及啓発を推進	63,165
27- ② 環境教育・学習推進事業	市民・市民団体・事業者・行政が連携・協力し、省エネルギーの推進に取り組むため、子どもを対象にした環境出前授業の実施や、市民・事業者を対象とした環境講座の実施など、それぞれのライフステージ・社会的役割に応じた多様な環境教育・学習機会の充実を推進	2,411
27- ② 道路照明灯LED化事業	消費電力の削減による環境負荷の軽減を図るため、道路照明灯のリース方式によるLED化を実施	38,038

(主観的指標の推移)	【満足度】 地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じている市民の割合	【重要度】 地球温暖化対策に取り組むための施策が重要だと思う市民の割合							
	単位	実績	目標	単位	実績	-			
		H27	R1(H31)	R1(H31)	H27	R1(H31)	-		
	%	16.2	→	26.0	19.2	%	53.3	→	56.8

(客観的指標の推移)	27-① 公共建築物における太陽光発電量	27-② 市民1人当たりの市内の二酸化炭素排出量									
	指標の説明	公共建築物における太陽光発電の総出力	指標の説明	市内の二酸化炭素排出量/人口							
	単位	実績	目標	単位	実績	目標					
kw	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
	1124.6	1124.6	1150.1	1150.1	1179	t-CO2	6.2	算定中	算定中	算定中	4.3

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して9.8ポイント上昇しており、目標値を達成しています。また、重要度についても、平成27年度と比較して3.5ポイント上昇しています。

・【再生可能エネルギーの利用拡大の推進】として、再生可能エネルギー導入等推進事業などに取り組みました。施策指標「公共建築物における太陽光発電量」については、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【教育環境・学習と省エネルギーの推進】として、環境教育・学習推進事業や道路照明灯LED化事業などに取り組みました。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値には達していませんが、目標値に向かった推移をしており、施策として成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、取り組みを推進する必要があります。

今後は、再生可能エネルギーの普及促進を図るため、公共施設の新設や更新の際に、引き続き太陽光発電システム等の導入を進めるとともに、小中学生や幼児だけでなく、高校生や大学生にも環境学習の機会を提供すべく、積極的な周知を行っていきます。

総括評価シート

基本目標	自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	所 管 部 環境部 都市整備部 土木部
施策目標	28 美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	
4つの重点的に進める 施策との関係		
取り組みの方向	<p>28- きれいなまちをつくるため、一人ひとりがポイ捨てなどのマナーに反する行為をなくすとともに、地域の道路・公園などの美化活動を促進するなど、まちの美化に向けた取り組みを進めます。</p> <p>28- 美しく快適なまち並みの形成に向けて、里山の景観や枚方宿地区などの歴史的景観②をはじめ、住宅地の景観など地域の特性に応じた魅力あふれる景観づくりを進めます。</p>	

施策の推進に要したすべての費用	約2995.6万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
28-① まち美化啓発事業	まちの美化推進及び快適な生活環境の確保を目的に、路上喫煙などの迷惑行為防止の啓発や関係条例の周知を、広報、HP等を活用して行うとともに、各種啓発看板を適宜配布することで、市民の美化意識の向上を実施	2,457
28-① 公共場所のアダプトプログラム事業	まちの環境美化を進めるため、アダプトプログラムの参加団体に対し、清掃用具や花苗の提供及びごみの収集、処理を実施。また、参加団体の拡大に向けた取り組みとして、広報ひらかたやエフエムひらかたを活用し、事業の周知を実施	12,014
28-② 良好なまちなみ形成事業	歴史的な街並み景観の保全のため街道沿いに残された貴重な町家の保全や、歴史的な修景に配慮した一般の建物についても、所有者等と調整を行い助成金の交付を実施	15,485

(主観的指標の推移)	【満足度】 まちの美化が進んでいると感じている市民の割合	【重要度】 美しく魅力あるまち並みを育むための施策が重要だと思う市民の割合							
	単位	実績	目標	単位	実績	-			
		H27	R1(H31)	R1(H31)	H27	R1(H31)	-		
	%	38.9	→	39.6	41.9	%	62.2	→	62.4

(客観的指標の推移)	28-① 継続して環境美化活動を行う市民団体数	28-② 修景補助を受けた建物の件数(累計)									
	指標の説明	公共場所(駅前・道路・公園等)の美化活動を行う市民活動団体(アダプトプログラム登録団体)数	指標の説明	歴史的景観保全地区において市からの修景補助を受けた建物修景件数(累計)							
	単位	実績	目標	単位	実績	目標					
団体	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
	210	221	247	249	249	件	37	41	43	45	46

(客観的指標の推移)	28-② 景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）					
	指標の説明	建築等に関する計画を進める際に、景観アドバイザーより助言を受けた件数（累計）				
	単位	実績				目標
	件	H27	H28	H29	H30	R1(H31)

単位	実績				目標
件	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	12	16	18	19	48

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「まちの美化が進んでいると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.7ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度については、平成27年度と比較して0.2ポイント上昇しています。

・【まちの美化に向けた取り組みの推進】として、まち美化啓発事業や公共場所のアダプトプログラム事業などに取り組みました。施策指標「継続して環境美化活動を行う市民団体数」については、既に目標値を達成しています。

・【地域の特性に応じた魅力あふれる景観づくり】として、良好なまちなみ形成事業などに取り組みました。施策指標「修景補助を受けた建物の件数」については、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。また、「景観アドバイザーより助言を受けた件数」については、策定時の値(8件)と比較して11件増加しているものの、目標値の達成は厳しい状況です。

課題や今後の対応

客観的指標の推移によると、目標値の達成が厳しい指標はあるものの、施策全体として見れば一定の成果はあったと考えられます。また、主観的指標の推移を見ても、満足度、重要度のいずれも平成27年度と比較して上昇していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、取り組みを推進する必要があります。

今後は、民間事業者に対する協力要請や、枚方市駅の電光掲示板など新たな手法による啓発により、まちの美化に向けた取り組みを推進するとともに、大学生に向けたアダプトプログラム制度のPRにより登録団体の増加を図ります。また、景観アドバイザー制度が活用されるよう積極的に推奨し、美しく快適なまちなみの形成に向けた取り組みを進めます。

総括評価シート

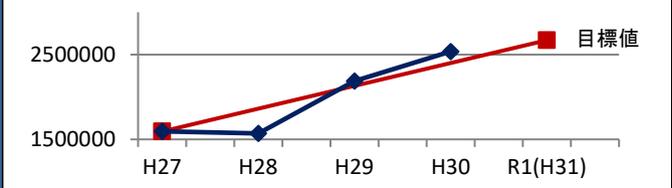
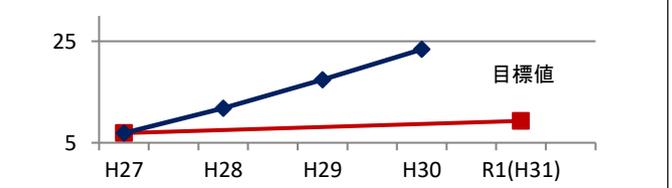
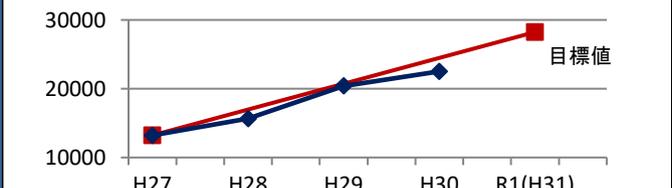
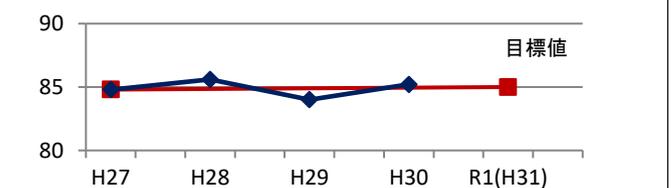
基本目標	市民等がまちづくりに参画しやすい環境づくりの推進	所 管 部 市長公室 総合政策部 総務部 選挙管理員 会事務局
施策目標	29 市民との情報の共有化を進めます	
4つの重点的に進める 施策との関係	1 市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる	
取り組みの方向	29-① 市民、市民団体、事業者、行政が、ともに地域課題などを共有しながらまちづくりを進めるため、市政や地域の情報を積極的に提供するとともに人を呼び込むような市の魅力を市内外へ広く発信するなど、情報発信力の強化を図ります。 29-② 情報通信技術を活用しながら、電子自治体の取り組みを推進し、行政サービスの向上を図ります。 29-③ 市民からの意見を広く聴取し、取り組みの成果や課題などを市民と共有し、連携・協力を図りながら、まちづくりを進めます。	

施策の推進に要したすべての費用	約5億7473.4万円
-----------------	-------------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
29-① 予算編成過程等の公表	市政や地域の情報を積極的に提供することを目的とし、実行計画や予算、市長への提言等について、審議状況や内容を公表。また、広報アドバイザーの活動や戦略会議に係る情報等についても、必要に応じ、公表を実施	0
29-① 情報発信力強化事業	広報紙を大幅にリニューアルし、より市民に親しみを感じてもらえる紙面づくりに取り組むとともに、市ホームページについても全面リニューアルを行い、ツイッターやフェイスブックの活用とあわせ、積極的に市の魅力発信を実施。エフエムひらかたについては、地域密着番組の放送だけでなく、大阪府北部地震等の災害時には放送を継続して実施するなど、市民への適切な情報提供を実施	421,796
29-① シティプロモーション推進事業	シビックプライドの醸成及び市の魅力向上や定住促進、人口誘導を図るため、シティプロモーションの方向性をまとめた戦略(案)を作成。また、平成31年2月にはシティプロモーション推進プラットフォームを構築し、定住に関するテーマで全体会議を開催	8,320
29-② 電子自治体推進事業<オープンデータ利活用の促進等>	行政サービスの向上や行政事務の効率化を図るため、他市の取り組み事例の調査や、試用版アプリケーション等の活用による効果測定などを実施し、オープンデータの利活用を促進。また、タブレット端末を利用したペーパーレス会議システムを導入し、紙の使用量抑制や資料紛失等による情報漏洩のリスク低減を実施	28,753
29-② 【再掲】 公衆無線LAN環境整備事業	災害時における市民や来訪者の災害関連情報等の収集及び安否情報の発信手段を確保するため、市民交流センター、メセナひらかた会館、枚方公園青少年センター、サプリ村野の4拠点での公衆無線LANの運用を開始。大阪府北部地震等の災害時には、誰でも認証なしに使用できるよう、開放を実施	5,145
29-③ 広聴機能充実事業	市民からの意見を広く聴取し、施策運営に活用していくため、市政モニターに対するアンケート調査及びインターネットや携帯電話・スマートフォンを活用したアンケートを実施するなど、さまざまな広聴手法を活用した取り組みを推進。「市長への提言」については、オープンデータとしても公開を開始し、市民との情報共有を実施	1,077
29-③ コールセンター事業	市民サービスの向上及び業務の効率化を図るため、取り次ぎと軽易な問い合わせに対応するコールセンターを試行的に設置。設置後は、関係課と受託業者による定例会議で情報共有を図るとともに、運営体制の見直しを実施。試行の結果、市民からの意見等の分析、効果検証を経て報告書を作成し、これを基にサービスの拡充を踏まえた総合コールセンター開設に向けての契約を締結	108,249

29-③ 期日前投票所環境整備事業	投票機会の拡大と有権者の利便性及び投票率の向上を図ることを目的として、平成31年4月7日執行の大阪府知事選挙及び大阪府議会議員選挙から、新たに期日前投票所を9カ所に増設し、期日前投票所の混雑緩和を実施	1,394
-------------------	--	-------

(主観的指標の推移)	【満足度】 行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合				【重要度】 市民との情報の共有化を進めるための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27		R1(H31)		H27		R1(H31)	
	%	32.9	→	29.8	37.9	%	49.5	→	48.5
									-
(客観的指標の推移)	【満足度】 行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合								
	単位	実績		目標					
		H27		R1(H31)					
	%	9.8	→	13.8	14.8				

(客観的指標の推移)	29-① 市ホームページの年間ユーザー数					29-② 粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付率						
	指標の説明		市ホームページを年度内に1回以上利用したユーザー数			指標の説明		粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付件数 / 粗大ごみ戸別収集の予約受付件数				
												
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	件	1,593,167	1,570,245	2,189,080	2,536,919	2,670,000	%	6.9	11.8	17.4	23.4	9.3
	29-② 住民票等のコンビニ交付件数					29-③ 市政モニターの回答率						
	指標の説明		住民票・印鑑証明書・課税証明書・戸籍証明書のコンビニ交付件数			指標の説明		市政モニターを対象としたアンケートの回答数 / 市政モニター登録者数				
												
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)	
件	13,220	15,641	20,415	22,518	28,230	%	84.8	85.6	84.0	85.2	85.0	

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して3.1ポイント下落しており、目標値の達成には至りませんでした。また、「行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合」については、平成27年度と比較して4.0ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。一方、重要度については、平成27年度と比較して1.0ポイント下落しています。

・【情報発信力の強化】として、情報発信力強化事業やシティプロモーション推進事業などに取り組みました。施策指標「市ホームページの年間ユーザー数」については、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【電子自治体の取り組みを推進した行政サービスの向上】として、電子自治体推進事業などに取り組みました。施策指標「粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付率」については、既に目標値を達成しています。一方、「住民票等のコンビニ交付件数」については、目標値に向かって推移しているものの、達成には至っておらず、引き続き取り組みを進める必要があります。

・【市民と連携・協力を図るまちづくりの推進】として、広聴機能充実事業やコールセンター事業などに取り組みました。施策指標「市政モニターの回答率」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、いずれも目標値を達成するか、目標値に向かって推移していることから、施策の成果はあったと考えられます。

一方、主観的指標の推移を見ると、満足度については平成27年度と比較して上昇した指標と下落した指標があります。また、重要度については、平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の満足度及び重要度を高めるための取り組みが必要です。

施策評価員からは「行政情報へのアクセスのしやすさは、市民がまちづくりに参画するための基本的な要素であることから、市民目線に立って、積極的に情報の共有化を進めていくべきである」との意見をいただいております。今後も引き続き、職員の情報発信力を高めるため、庁内に向けた研修の実施や助言・支援を行うとともに、様々なソーシャルメディアを活用し、緊急情報や重要な市政ニュース、市の魅力など様々な情報を発信します。

総括評価シート

基本目標	市民等がまちづくりに参画しやすい環境づくりの推進	所管部 総合政策部 市民安全部
施策目標	30 市民による活発なまちづくり活動を支援します	
4つの重点的に進める施策との関係	1. 市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる	
取り組みの方向	30- 市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提 ① 供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	

施策の推進に要したすべての費用	約2億6542.5万円
-----------------	-------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
30- ① ひらかたポイント事業	健康、長寿、子育て（ひらかたカラダづくりトライアル、健康教室、高齢者運転免許証自主返納、離乳食幼児食講習会）に係る5つの市事業でのポイント付与と、約50の協力店舗でのひらかたカード利用環境を整備した上で、平成31年1月15日から運用を開始	45,924
30- 協働によるまちづくりの推進 ①	小学校区を基本にした市内4ブロック（東部・北部・中部・南部）ごとに、管理職を対象とした市職員を配置する「地域担当職員制度」を導入し、校区コミュニティ協議会との信頼関係を深めながら、地域課題の解決に向けた活動を実施。また、協働に対する理解を促進するため、市職員向けの研修等を実施	170
30- 校区コミュニティ活動補助 ① 金交付事業	地域が主体的に取り組むまちづくり活動を支援するため、地域の声や実情を踏まえ、校区コミュニティ活動補助金や地域づくりデザイン事業補助金を交付。また、校区コミュニティ活動補助金の見直しに向けた取り組みを推進	163,129
30- ① NPO活動応援事業	サプリ村野NPOセンターを拠点に、NPOや市民活動に関する情報収集・発信事業等を実施するとともに、NPOの設立や運営等に関する相談支援を実施。また、必要に応じ、NPO活動応援基金から補助金を交付するなど、NPOや市民活動団体の自主的な活動の支援を実施	56,202

（施策指標の推移）	【満足度】 市民によるまちづくり活動が活発であると感じている市民の割合				【重要度】 市民による活発なまちづくり活動を支援するための施策が重要だと思う市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27		R1(H31)		H27		R1(H31)	-
%	19.4	→	21.1	24.4	%	43.9	→	45.2	-

(客観的指標の推移) 施策指標の推移	30-① 自治会等加入世帯率					30-① 市内NPO、ボランティアの団体数						
	指標の説明		自治会等に加入している世帯数/全世帯数			指標の説明		ひらかた市民活動支援センター、サブリ村野NPOセンター及び枚方市ボランティアセンターの登録団体数				
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
		H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
	%	69.9	70.8	69.6	68.7	72.2	団体	383	445	389	538	397
30-① 特定非営利活動法人（NPO法人）の法人数												
指標の説明		特定非営利活動法人（NPO法人）の法人数										
単位	実績				目標							
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)							
法人	118	114	115	114	128							

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・主観的指標「市民によるまちづくり活動が活発であると感じている市民の割合」については、平成27年度の値と比較して1.7ポイント上昇しているものの、目標値の達成には至りませんでした。また、重要度についても、平成27年度と比較して1.3ポイント上昇しています。

・【市民などによるまちづくり活動活性化の支援】として、校区コミュニティ活動補助金交付事業やNPO活動応援事業などに取り組みました。施策指標「自治会等加入世帯率」については、平成28年度から平成30年度にかけて2.1ポイント下落しており、目標値達成に向けて引き続き取り組みを進める必要があります。一方、「市内NPO、ボランティアの団体数」については、既に目標値を達成しています。

課題や今後の対応

3つの客観的指標のうち、1つについては既に目標値を達成しました。残り2つについては、目標値とは逆方向に推移しています。また、主観的指標の推移を見ると、満足度及び重要度共に平成27年度と比較して上昇していることから、必要に応じて事業の充実を図りながら、効率的な事業の執行を図る必要があります。

今後は、地域の活性化を図る観点からより利用しやすい制度となるよう、枚方市コミュニティ連絡協議会の意見を聞きながら、引き続き校区コミュニティ活動補助金制度の再構築を進めるとともに、地域担当職員について、地域の実情の把握や地域との信頼関係の構築に引き続き取り組み、さらに地域からの求めに応じて、地域の活性化や安全安心のまちづくりに向けた取り組みへの支援についても行っていきます。また、ひらかたポイント制度のさらなる普及を図り、市が実施する様々な取り組みへの市民の参加を促していきます。

総括評価シート

基本目標	効率的・効果的な市政運営	所管部 総合政策部 総務部 財務部 土木部 都市整備部 上下水道事業部 総合教育部
施策目標	31 持続可能な行財政運営を進めます	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	<p>31-① 効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。</p> <p>31-② 選択と集中の視点を踏まえた効率的・効果的な予算編成と執行を行うとともに、更なる財源確保に取り組むことで、強固な財政基盤の確立をめざします。</p> <p>31-③ 老朽化した道路、橋梁、公園、上下水道などの都市基盤や学校園などの市有建築物について、管理コストの平準化を図りながら、計画的に改修・更新を進めます。</p> <p>31-④ 公共施設等について、少子高齢化・人口減少の進展や利用需要の動向を踏まえ、機能見直しや統廃合などにより、その有効活用や最適な配置を進めます。</p> <p>31-⑤ 限られた人的資源を有効に活用しながら、状況の変化により柔軟かつ適切に対応できるように、組織体制の充実を図ります</p> <p>31-⑥ 市で保有する個人情報データの適正な管理を図るとともに、システム障害による業務停止などを防ぐセキュリティ対策の強化を図ります。</p> <p>31-⑦ ささまざまな行政課題に対応し市民サービスの向上を図るため、目標の達成に向け意欲的に学び成長していく職員の育成を進めます。</p>	

施策の推進に要したすべての費用	約139億2326万円
-----------------	-------------

実行計画の事業実績(平成28～30年度)		事業費(千円)
31-① 行政改革推進事業	新行政改革実施プランに掲げる4つの改革の方向性にに基づき、行政改革の取り組みを進めるとともに、改革課題の着実な達成を図るため、進捗管理を実施。また、取り組み実績を取りまとめ、公表を実施	0
31-② 健全な財政運営推進事業	健全な財政状況の維持を目指し、長期財政収支の見通しを明らかにするため、年度ごとに「長期財政の見通し」の見直しを行うとともに、各年度決算に基づき、適宜、財務書類を作成	20,933
31-② ふるさと寄附金推進事業	本市への寄附額の増加を目的として、ふるさと寄附金が一定額以上の場合において本市の特色のある返礼品を用意することで本市の地域産業を広く周知するとともに、寄附額に応じた返礼品の発送及び返礼品の品目を拡充するなど、ふるさと寄附金の推進を実施	176,762
31-③ 【再掲】 枚方市道路長寿命化計画事業	枚方市公共施設マネジメント推進計画において策定が位置づけられた「枚方市道路長寿命化計画」について、内容の検討を進めるとともに、当該計画事業に係る道路構造物などの現地調査を実施。また、効率的・効果的で持続可能な道路の維持管理を促進するため、「舗装長寿命化修繕計画」を策定	16,030
31-③ 【再掲】 主要道路修繕事業	道路の効率的な維持管理を図るため、市内の幹線道路12路線（牧野長尾線等）を選定し、路面損傷等の調査を行い補修方法を検討し、計画的にリフレッシュ整備を実施	272,440
31-③ 【再掲】 橋梁の修繕・耐震化事業	災害発生時の被害軽減や施設の維持補修等に係る財政負担の平準化を図るため、市内126橋を対象とした橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕工事・耐震化を推進	198,886
31-③ 公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新事業	老朽化した公園施設について、管理コストの平準化を図りながら適性に保全するため、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に必要な箇所の改修、更新を推進	121,647
31-③ 【再掲】 水道施設更新・耐震化事業	水道水を安定的に供給するため、経年劣化が進む中宮浄水場について施設の更新事業に着手。また、災害発生時の市内各地の応急給水に対応するため、受・配水施設への緊急遮断弁の設置及び耐震化を推進	2,641,574

31- 【再掲】 ③ 水道管路更新・耐震化事業	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新・耐震化や鉛製給水管の取替え等を実施。水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に推進するために、「枚方市水道施設整備基本計画」を策定	5,494,403
31- 【再掲】 ③ 下水道施設維持管理事業	浸水被害対策等に備え、下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施するとともに、下水道長寿命化計画として、汚水管渠長寿命化工事を行い、ポンプ場遠方監視設備更新工事（雨水大ポンプ場）の長寿命化工事に着手。また、「枚方市下水道ストックマネジメント計画」を策定	2,140,320
31- 市有建築物計画保全事業 ③	市有建築物について、管理コストの平準化を図りながら適正に保全するため、市有建築物保全計画に基づき、必要施設の計画的な改修・更新工事を実施	2,602,524
31- 公共施設等総合管理事業 ④	平成29年3月に「枚方市公共施設マネジメント推進計画」を策定。また、平成28・29年度の「施設カルテ」の作成、公表を行うなど、施設の有効活用や最適な配置に向けた取り組みを実施	12,074
31- 組織体制充実事業 ⑤	社会経済状況や行政課題を踏まえ、より効率的で機能的な行政組織の構築を図ることを目的として、機構改革を実施。また、組織横断的に柔軟かつ機動的に行政課題への対応にあたる体制として「市制施行70周年記念式典実施本部」や「市駅周辺整備プロジェクトチーム」等の設置を行い、その権限や機能の充実を実施	0
31- 【再掲】 ⑥ 個人情報適正管理事業	個人情報の漏えい防止につなげるため、個人情報保護に関する職員の意識向上を目的とした啓発を行うとともに、個人情報保護条例に関する実務者研修など、各種研修を継続的に実施	0
31- 【再掲】 ⑥ 情報セキュリティ対策事業	国の方針に従い、業務用端末からインターネット環境を完全分離するセキュリティ対策の運用を開始。また、個人情報の漏えいやサイバー攻撃等の対策として、セキュリティ対策機器・ソフトウェア等の強化を進めるとともに、職員への研修や訓練を実施	189,960
31- 人材育成推進事業 ⑦	人材育成基本方針に基づき、必要な知識や技能を備えた自律型職員を育成するため、職場外研修（キャリアプランニング等）や、職場内研修（公務員倫理研修等）を実施。また、自己啓発に励む職員の活動支援として、自己啓発活動に係る講座受講の費用の一部補助等を実施	35,707

（主観的指標の推移）					【重要度】 持続可能な行財政運営を進めるための施策が重要だと思ふ市民の割合				
	単位	実績		目標	単位	実績		-	
		H27		R1(H31)		H27		R1(H31)	
	-	→	-	-	%	60.5	→	61.3	-

（客観的指標の推移）	31-① 人件費の割合				31-① 新行政改革実施プラン（平成28年度～平成31年度）の進捗率						
	指標の説明		歳出総額における人件費の割合（普通会計）		指標の説明		新行政改革実施プランに掲げる「取り組み課題」の達成項目数/「取り組み課題」の項目数				
	<p>目標値</p>				<p>目標値</p>						
	単位	実績				目標	単位	実績			
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
%	14.9	14.7	14.8	14.7	14.7	%	-	3.8	5.7	11.3	100

(客観的指標の推移)	31-⑥ 個人情報の漏えい防止等セキュリティに関する研修参加者数					31-⑦ 職場研修の実施回数					
	指標の説明		個人情報の漏えい防止等セキュリティに関する市役所職員対象の研修参加者数			指標の説明		市役所各部署における職場研修の年間実施回数			
	単位	実績				目標	単位	実績			
	H27	H28	H29	H30	R1(H31)		H27	H28	H29	H30	R1(H31)
人	1,162	789	935	673	1,288	回	610	700	629	441	1,030

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

- ・「持続可能な行財政運営を進めるための施策が重要だと思ふ市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.8ポイント上昇しています。
- ・【行政改革の取り組みの推進】として、行政改革推進事業などに取り組みました。施策指標「人件費の割合」については、既に目標値を達成しています。一方、「新行政改革実施プラン(平成28年度～平成31年度)の進捗率」については11.3%となっており、目標値の達成は厳しい状況です。
- ・【強固な財政基盤の確立】として、健全な財政運営推進事業やふるさと寄附金推進事業などに取り組みました。また、健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)については、目標値以下で推移しています。
- ・【老朽化した都市基盤の改修・更新】として、公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新事業や市有建築物計画保全事業などに取り組みました。
- ・【公共施設等の有効活用や最適な配置の推進】として、公共施設等総合管理事業などに取り組みました。
- ・【組織体制の充実】として、組織体制充実事業などに取り組みました。
- ・【セキュリティ対策の強化】として、情報セキュリティ対策事業などに取り組みました。施策指標「個人情報の漏えい防止等セキュリティに関する研修参加者数」については、平成28年度から平成29年度にかけて増加したものの、平成30年度に減少しており、目標値の達成は厳しい状況です。
- ・【意欲的に学び成長する職員の育成の推進】として、人材育成推進事業などに取り組みました。施策指標「職場研修の実施回数」については、平成28年度は増加したものの、平成29年度以降は減少しており、目標値の達成は厳しい状況です。

課題や今後の対応

4つの客観的指標のうち、1つについては既に目標値を達成しているものの、残り3つについては、目標値と逆方向に推移していることから、必要に応じて事業の再構築を行う必要があります。また、主観的指標の重要度については平成27年度と比較して上昇していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、事業の充実を図っていく必要があります。

今後は、新たな行財政改革プランを策定し、推進するとともに、行財政評価システムの再構築、事務事業等の定期的な見直しなどに取り組みます。また、指定管理者制度の積極的な導入、ごみ収集業務の民間委託拡大、市立保育所の民営化などの取り組みや職員数の適正化などにより、総人件費を5%削減します。

総括評価シート

基本目標	広域的な連携と地方分権の推進	所管部 総合政策部 産業文化部
施策目標	32 自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります	
4つの重点的に進める施策との関係		
取り組みの方向	32- 防災や医療、環境などの広域的な課題に対し、必要に応じて周辺自治体と連携・協力 ① することで、効率的・効果的な行政サービスの提供を図ります。 32- 地方の自由度を高め、地域の実情に即した魅力あるまちづくりに資する行政サービス ② を行うために、権限移譲や地方財源の充実などについて国等に働きかけていきます。	

施策の推進に要したすべての費用	約 239.7万円
-----------------	-----------

実行計画の事業実績(平成28~30年度)		事業費(千円)
32- ① 広域連携推進事業	北河内夜間救急センターの運営など近隣市町村との広域連携を推進するため、広域連携に係る課題の調査研究を目的とした北河内都市連絡会主催者会議に参加するとともに、大阪府主催の北河内地域ブロック会議に参加。また、枚方京田辺環境施設組合を設置し、当該組合による環境影響調査も実施	0
32- 【再掲】 ① 名物開発・発信事業	共通の資源が存在する交野市や北大阪商工会議所、民間事業者などと連携し、両市をPRする取り組みとして、賑わい創出事業や、枚方・交野市内の事業者の商品開発に向けたマッチングなどを実施。また、両市の地域資源を活用した新たな名物開発の取り組みを実施	2,397
32- ② 地方分権推進事業	指定都市市長会、中核市市長会、全国施行時特例市市長会等における「共同提言」において、地方制度改正・改革等を国に対し要請。また、新規権限委譲事務として、「精神障害者保健福祉手帳の交付」や「住宅宿泊事業法等関係行政事務」については委譲を受け、受付事務を開始。認定こども園の認可・認定等の権限については、法改正による法定移譲を実施	0

(主観的指標の推移)	【重要度】 自治体間の広域連携や地方分権を推進するための施策が重要だと思ふ市民の割合							
	単位	実績		目標	単位	実績		-
		H27		R1(H31)		H27		H31
	%	-	→	-	%	51.0	→	50.3

(客観的指標の推移)	32-① 複数の自治体との取り組み件数					32-② 大阪府からの権限移譲事務数(累計)						
	指標の説明	複数の自治体と共同で行っている取り組み件数				指標の説明	大阪府地方分権推進制度により、大阪府から権限移譲を受けた事務数(累計)					
	単位	実績				目標	単位	実績				目標
	件	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	件	H27	H28	H29	H30	R1(H31)

施策目標に対する主観的指標の推移と取り組みの方向における実績

・「自治体間の広域連携や地方分権を推進するための施策が重要だと思う市民の割合」については、平成27年度の値と比較して0.7ポイント下落しています。

・【効率的・効果的な行政サービスの提供】として、広域連携推進事業や地方分権推進事業などに取り組みました。施策指標「複数の自治体との取り組み件数」については、既に目標値を達成しています。また、「大阪府からの権限移譲事務数」についても、目標値を達成しています。

課題や今後の対応

客観的指標の推移については、いずれも目標値を達成していることから、施策として成果はあったと考えられる。一方、主観的指標の重要度については平成27年度と比較して下落していることから、効率的な事業の執行を図るとともに、より市民の重要度を高めるための取り組みを行っていく必要がある。

施策評価員からは「市の規模等を考えると、近隣市町との連携を進める上でも、枚方市がリーダーシップを発揮し、活性化へ導いてほしい。また、広域連携や権限移譲は、人員や財源を要することから、その必要性については精査したうえで推進すべきである」との意見をいただいております。今後も引き続き、大阪府や北河内の各市と情報交換や連絡調整を行い、新たな広域連携の可能性を検討していくとともに、メリット・デメリットの精査を行い、必要な事務について権限移譲を進めていけるよう取り組みを推進する。